

令和6年度

学校体育報告書

一児童生徒の体力向上を目指して一

令和7年3月

愛知県教育委員会

は　じ　め　に

今日、我が国では、経済や科学技術の飛躍的な発展により、生活が豊かで便利になっている。このような状況の中で、児童生徒の体力は、昭和 60 年ごろを境に走る力、投げる力、握力などにおいて、長期的に低下の一途をたどっており、今後は、さらなる低下が危惧されています。

本県の今年度の体力・運動能力調査の結果によりますと、小・中・高等学校男女の全項目のうちの、3 分の 1 程度の項目で昨年度を上回ったものの、全国との差は依然として大きく、今後も適切な対策を講じていく必要があります。

昨年度、県教育委員会では、中京大学の教授の協力を得て、令和 4 年度の新体力テストのデータを分析した結果、本県の児童生徒は、握力や上体起こしなどの筋力を測る項目が弱いことや、全力で体を動かす機会が不足していることがわかりました。また、本県では、「運動やスポーツが好き」、「運動が大切」、「体育の授業にいつも進んで参加している」と答えた割合が、小・中学生の男女ともに低く、これらの 3 つの項目は体力測定値が上位の県では、高いことが明らかになりました。

こうした結果を踏まえ、今年度から「あいちっ子・体力向上作戦」をキャッチフレーズとして、「タグラグビー」や「フラッグフットボール」などの、運動が苦手な児童生徒でも、楽しみながら思い切り体を動かすことができる種目を、体育授業に積極的に取り入れるよう奨励するとともに、児童生徒の主体性を伸ばす指導方法を学ぶ講習会などを実施してまいりました。県教育委員会としましては、今後も教育現場での体力づくりに粘り強く取り組み、積極的に運動に取り組む児童生徒の育成を図ってまいりたいと考えています。

本報告書では、体力・運動能力調査結果、特別支援学校の体力テスト結果だけでなく、体力づくり優良校において実践された体力向上への具体的な取組を紹介していますので、各校において、積極的に御活用いただきたいと思います。

末尾となりますが、本報告書の作成にあたり御協力いただきました各校の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

令和 7 年 3 月
愛知県教育委員会

目 次

I 児童生徒の体力・運動能力調査結果

1 調査の概要	2
2 集計の結果	
握力・上体起こし	5
長座体前屈・反復横とび	6
20mシャトルラン・持久走	7
50m走・立ち幅とび	8
ボール投げ（ソフトボール・ハンドボール）	9
令和6年度本県平均と令和5年度全国平均とのTスコアによる比較	10
3 平成17年度～令和6年度の体力テスト結果県平均の推移	14
4 10年前との比較	23
5 令和6年度本県と令和5年度全国との合計点平均値比較	25
6 結果のまとめ	26
※資料 1 本県令和6年度と本県令和5年度の平均値比較	28
2 本県令和6年度と全国令和5年度の平均値比較	28

II 特別支援学校児童生徒の体力テスト調査結果

1 調査の概要	30
2 集計の結果	32

III 体力づくり優良校実践報告

・ 名古屋市立上名古屋小学校	37
・ 名古屋市立正保小学校	39
・ 稲沢市立大里東小学校	41
・ 長久手市立東小学校	43
・ 安城市立明和小学校	45
・ 豊川市立御津北部小学校	47
・ 名古屋市立高杉中学校	49
・ 東浦町立東浦中学校	51
・ 西尾市立福地中学校	53
・ 新城市立八名中学校	55
・ 愛知県立熱田高等学校	57
・ 愛知県立一宮工科高等学校	59
・ 愛知県立半田商業高等学校	61

・ 愛知県立岡崎北高等学校	63
・ 愛知県立大府もちのき特別支援学校桃花校舎	65
・ 私立東海学園高等学校	67
○ 体力づくり優良校一覧	
（昭和53年度～令和6年度）	69
○ 学校体育研究委嘱校の研究主題一覧	
（小・中学校 昭和33年度～平成30年度）	74
（高等学校 昭和32年度～平成10年度）	77

I 児童生徒の体力・運動能力調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

体力テストを実施することにより、児童生徒の体力・運動能力の実態を明らかにするとともに指導及び行政上の資料とする。

(2) 調査の対象と人数

校種	性別	男			女			計		
	対象	A	B	A／B	A	B	A／B	A	B	A／B
		調査人数	総 数	(%)	調査人数	総 数	(%)	調査人数	総 数	(%)
小学校	6 歳	987	31,589	3.1	942	30,205	3.1	1,929	61,794	3.1
	7 歳	1,210	32,564	3.7	1,127	30,936	3.6	2,337	63,500	3.7
	8 歳	1,246	33,333	3.7	1,118	31,883	3.5	2,364	65,216	3.6
	9 歳	1,238	33,512	3.7	1,154	31,858	3.6	2,392	65,370	3.7
	10歳	1,269	33,758	3.8	1,195	32,173	3.7	2,464	65,931	3.7
	11歳	1,155	34,607	3.3	1,151	32,815	3.5	2,306	67,422	3.4
	計	7,105	199,363	3.6	6,687	189,870	3.5	13,792	389,233	3.5
中学校	12歳	1,318	34,781	3.8	1,284	33,408	3.8	2,602	68,189	3.8
	13歳	1,230	35,390	3.5	1,211	33,734	3.6	2,441	69,124	3.5
	14歳	1,181	35,448	3.3	1,197	33,706	3.6	2,378	69,154	3.4
	計	3,729	105,619	3.5	3,692	100,848	3.7	7,421	206,467	3.6
高等学校 (全日制)	15歳	17,879	30,438	58.7	16,114	29,724	54.2	33,993	60,162	56.5
	16歳	17,158	29,846	57.5	15,599	29,020	53.8	32,757	58,866	55.6
	17歳	16,746	28,875	58.0	15,345	28,573	53.7	32,091	57,448	55.9
	計	51,783	89,159	58.1	47,058	87,317	53.9	98,841	176,476	56.0
高等学校 (定時制)	15歳	677	882	76.8	541	741	73.0	1,218	1,623	75.0
	16歳	529	702	75.4	399	586	68.1	928	1,288	72.0
	17歳	482	645	74.7	327	476	68.7	809	1,121	72.2
	18歳	294	366	80.3	161	223	72.2	455	589	77.2
	計	1,982	2,595	76.4	1,428	2,026	70.5	3,410	4,621	73.8
総 数		64,599	396,736	16.3	58,865	380,061	15.5	123,464	776,797	15.9

※B総数は令和6年度愛知県学校基本調査による。

(3) 調査の実施期間

令和 6 年 5 月～ 7 月

(4) 調査の方法・内容・項目

ア 調査の対象は、公立の小学校 50 校、中学校 40 校を抽出し、各学校から性別、年齢別に無作為に小学校は各 20 名、中学校は各 25 名を選んだ。ただし、調査対象学年が対象数に満たない場合は、その人数を調査対象とする。（抽出校は P 4 に掲載）
なお、高等学校は平成 20 年度から全校を対象とした。

イ 調査項目

(ア) 小学校 1 年～ 3 年

- ① 50m 走 ② 立ち幅とび ③ ソフトボール投げ

(イ) 小学校 4 年

- ① 長座体前屈 ② 反復横とび ③ 50m 走 ④ 立ち幅とび
⑤ ソフトボール投げ

(ウ) 小学校 5・6 年

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20m シャトルラン ⑥ 50m 走 ⑦ 立ち幅とび
⑧ ソフトボール投げ

(エ) 中学校・高等学校

- ① 握力（右・左） ② 上体起こし ③ 長座体前屈 ④ 反復横とび
⑤ 20m シャトルラン 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m）
⑥ 50m 走 ⑦ 立ち幅とび ⑧ ハンドボール投げ

(5) 小学校、中学校、高等学校における抽出校一覧表

	小 学 校	中 学 校	高等学校
名古屋	春岡、東白壁、名北、稲生、 日吉、栄、川原、井戸田、 船方、千音寺、稲永、緑、上社	あずま、楠、汐路、一柳、 港北、大江、守山、東陵、 高針台、御幸山	県立高等学校、 豊橋市立豊橋高等学校
尾張	宮西、小信中島、稲沢東、 犬山南、門弟山、東山、高座、 三ツ渚、中央（豊明）、梨の木、 西枇杷島、豊山	奥、尾西第二、千代田、岩倉、 水野、柏原、岩崎、西（尾張旭）、 師勝、長久手	
海部	神守、佐屋、甚目寺東	弥富、蟹江	
知多	衣浦、常滑東、渡内、八幡	南知多、鬼崎、平洲、 中部（知多）	
西三河	竜美丘、中央（碧南）、小高原、 日高、野見、安城南部、鶴城、 来迎寺、吉浜、三吉、坂崎	北（岡崎）、南（碧南）、益富、 明祥、福地、知立南、高浜、 幸田	
東三河	岩田、福岡、御津南部、 形原北、田原中部	青陵、中部（豊川）、 中部（蒲郡）、東部（田原）	
新城設楽 支所 設楽教育 指導室	東郷西、田口、清嶺、名倉	千郷、設楽	

2 集計の結果

(N・・・標本数、M・・・平均値、S.D・・・標準偏差)

			握 力									上 体 起 こ し								
			県						国			県						国		
			令和 6 年度			令和 5 年度			令和 5 年度			令和 6 年度			令和 5 年度			令和 5 年度		
			N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D
男	小学校	6							1,090	9.2	2.21							1,115	11.5	5.41
		7							1,091	10.8	2.47							1,109	14.4	5.66
		8							1,097	12.5	2.92							1,123	15.8	5.82
		9							1,100	14.4	3.16							1,115	17.9	5.63
	10	1,250	15.6	3.94	721	15.8	4.10	1,098	16.7	3.69	1,250	18.1	6.10	721	18.8	6.06	1,110	19.9	5.53	
	11	1,129	19.0	5.11	723	19.7	9.04	1,095	19.9	4.79	1,125	21.2	6.12	723	21.7	6.09	1,112	22.1	5.36	
	中学校	12	1,341	23.2	6.31	730	23.3	6.45	1,345	24.3	6.15	1,341	23.1	5.80	730	23.0	6.17	1,363	23.5	5.44
		13	1,248	28.7	7.40	733	28.6	7.00	1,351	30.2	7.32	1,247	26.3	6.59	733	25.1	5.68	1,361	26.4	5.54
		14	1,194	33.1	7.38	730	33.8	6.83	1,359	34.8	7.56	1,195	28.0	6.19	730	27.3	5.93	1,389	29.0	5.69
	高等学校	15	17,848	36.4	7.23	18,433	36.4	7.13	1,225	37.0	7.23	17,799	28.0	6.07	18,386	27.9	5.87	1,244	28.4	5.64
		16	17,087	38.8	7.39	17,674	38.7	7.33	1,228	39.6	7.67	17,037	29.8	6.08	17,582	29.9	5.94	1,245	29.9	6.13
		(全) 17	16,671	40.2	7.56	17,086	40.2	7.53	1,228	40.8	7.19	16,594	31.0	5.96	17,009	31.1	6.11	1,246	30.9	6.03
		(定) 18	15	663	35.3	7.94	632	34.8	8.31	177	35.7	7.49	658	22.4	6.49	633	22.7	6.58	174	23.8
	16		517	37.0	7.88	510	36.9	7.56	181	37.4	7.82	503	23.3	6.61	503	23.4	6.74	175	25.1	6.25
	17		472	38.6	7.74	426	37.9	8.09	178	38.5	7.19	470	23.9	7.06	414	23.9	7.35	176	24.5	6.10
	18		290	39.6	8.16	359	39.3	8.50	160	38.8	7.91	290	23.7	7.09	357	23.5	6.73	158	24.9	5.79
女	小学校	6							1,089	8.6	1.97							1,109	11.1	5.16
		7							1,084	10.2	2.31							1,096	13.7	5.32
		8							1,092	11.9	2.71							1,110	15.2	5.21
		9							1,097	14.0	3.15							1,106	17.3	5.04
	10	1,171	15.4	3.92	723	15.8	3.93	1,103	16.6	3.72	1,171	17.5	5.73	723	17.9	5.79	1,105	18.9	4.79	
	11	1,125	18.8	4.63	720	18.6	4.35	1,101	19.4	4.18	1,125	19.4	5.67	720	19.5	5.37	1,112	19.9	5.11	
	中学校	12	1,301	20.7	4.51	727	21.0	4.57	1,349	21.9	4.60	1,302	19.6	5.71	727	19.8	5.58	1,367	20.8	5.55
		13	1,233	22.8	4.80	733	24.0	7.37	1,349	23.9	4.54	1,230	21.3	6.32	733	21.7	7.49	1,370	22.2	5.69
		14	1,221	24.4	4.70	728	24.7	4.65	1,358	25.2	4.63	1,221	22.3	6.11	729	22.3	5.92	1,383	23.5	5.91
	高等学校	15	16,772	25.0	4.77	16,998	25.3	4.79	1,223	25.2	4.62	16,718	21.7	6.02	16,958	22.3	5.86	1,239	22.3	5.89
		16	16,323	26.2	4.91	16,412	26.2	4.89	1,236	26.2	4.82	16,260	23.3	6.06	16,358	24.0	5.88	1,253	23.6	6.01
		(全) 17	15,919	26.7	4.94	15,929	26.6	4.93	1,226	26.7	5.00	15,848	24.4	6.04	15,844	24.7	5.97	1,250	24.4	6.35
		(定) 18	15	563	23.4	5.38	494	23.2	5.30	174	23.7	5.32	553	15.6	5.87	485	15.5	6.23	174	18.1
	16		425	23.9	5.15	386	24.3	5.32	167	24.9	4.89	416	15.2	6.64	376	16.7	6.48	166	18.5	5.84
	17		347	24.4	5.05	299	24.6	5.55	171	25.4	5.00	347	16.4	5.79	295	16.8	6.38	170	18.0	5.56
	18		175	25.8	5.78	186	25.4	5.08	151	25.9	5.15	173	17.0	6.19	173	18.6	6.56	154	18.9	6.14

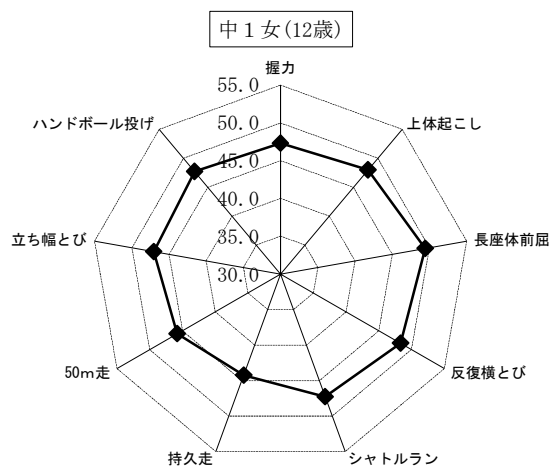
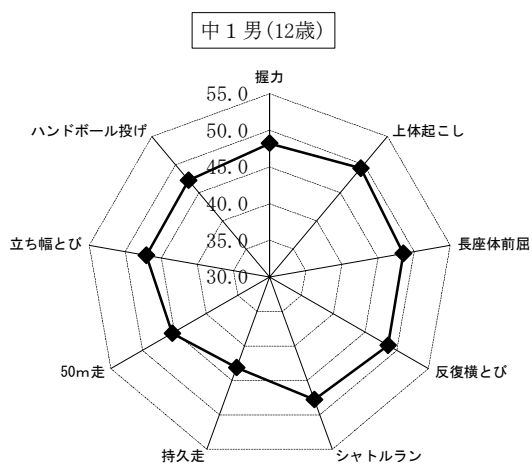
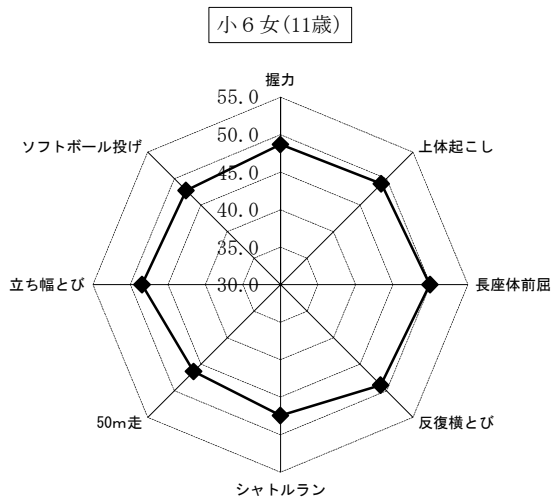
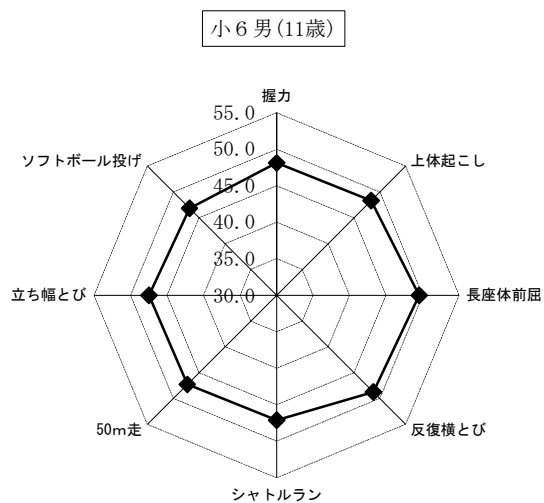
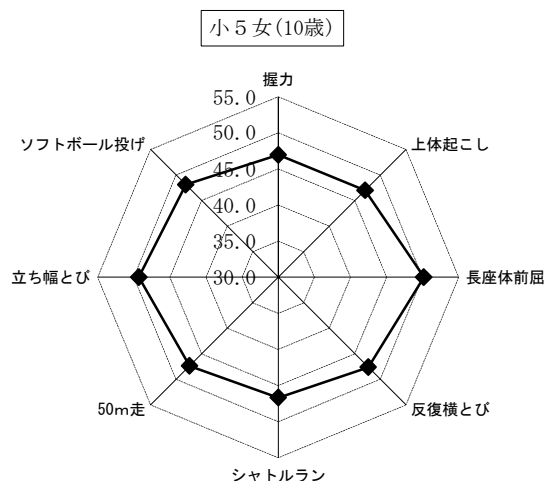
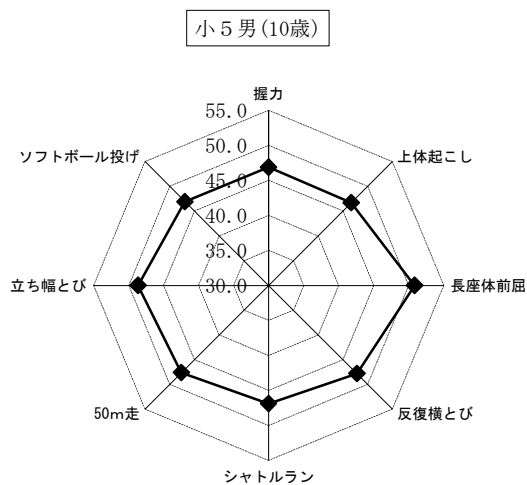
			長 座 体 前 屈						単位：c m			反 復 横 と び						単位：回		
			県						国			県						国		
			令和6年度			令和5年度			令和5年度			令和6年度			令和5年度			令和5年度		
			N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D
男	小学校	6							1,116	26.7	7.08							1,099	27.6	5.24
		7							1,110	28.1	6.99							1,100	31.1	6.36
		8							1,106	29.4	7.17							1,109	34.5	7.69
		9	1,179	31.5	7.65	721	31.4	7.95	1,120	31.6	7.27	1,182	36.8	8.27	722	36.2	7.64	1,109	38.5	7.41
		10	1,249	34.3	8.16	721	35.1	7.85	1,117	33.6	8.10	1,250	40.5	7.99	721	40.8	8.14	1,119	42.1	7.33
		11	1,145	35.8	8.84	723	37.5	8.50	1,112	36.2	8.54	1,142	44.7	7.54	723	45.4	7.14	1,112	45.6	7.18
	中学校	12	1,341	40.3	10.04	730	39.3	9.77	1,365	41.7	9.74	1,339	48.9	7.43	729	49.0	7.55	1,349	49.8	7.05
		13	1,247	44.4	11.02	733	44.2	10.34	1,373	45.2	10.50	1,245	52.7	8.22	733	52.6	7.83	1,364	53.0	7.53
		14	1,196	48.5	11.95	730	48.0	11.53	1,390	49.4	10.50	1,191	55.3	8.28	730	55.2	7.17	1,379	55.9	7.38
	高等学校	15	17,823	50.3	11.81	18,413	50.0	11.49	1,249	47.8	10.98	17,769	56.3	6.85	18,348	56.1	6.89	1,246	56.3	6.89
		16	17,070	53.1	11.82	17,629	52.7	11.91	1,246	50.7	11.12	16,995	58.0	6.94	17,522	57.7	6.91	1,249	57.9	7.13
		(全) 17	16,642	55.0	11.93	17,050	54.3	11.86	1,250	52.5	11.50	16,567	59.0	6.91	16,978	58.5	7.24	1,247	58.5	7.89
	(定)	15	660	41.5	12.13	630	42.8	12.20	180	42.1	12.08	655	46.9	9.66	627	46.7	9.91	170	48.6	8.43
		16	508	43.1	12.41	504	45.5	12.45	181	43.3	10.46	511	47.8	10.01	509	49.2	8.46	179	50.2	8.99
		17	471	45.9	12.76	421	44.4	12.83	180	44.7	11.36	466	49.7	8.80	414	49.7	9.95	179	50.3	7.89
		18	289	44.3	12.89	355	43.3	12.67	158	44.2	10.33	286	48.2	9.93	355	49.2	9.77	154	50.0	7.13
女	小学校	6							1,113	28.9	7.20							1,088	26.9	4.93
		7							1,093	30.8	7.27							1,085	30.1	5.59
		8							1,091	32.5	7.27							1,098	33.2	7.04
		9	1,082	34.6	7.82	722	34.7	8.25	1,120	35.2	7.95	1,082	34.6	7.68	723	34.2	7.42	1,109	36.8	7.05
		10	1,173	38.5	8.56	723	39.2	8.90	1,117	38.4	8.08	1,173	38.7	7.27	723	38.8	7.70	1,120	40.4	6.98
		11	1,147	40.9	9.12	720	41.3	9.54	1,117	40.9	9.30	1,146	42.0	6.81	720	41.8	6.25	1,110	42.7	6.48
	中学校	12	1,301	43.5	9.98	727	42.4	10.55	1,375	44.0	9.70	1,302	44.8	6.74	727	45.2	6.77	1,358	45.8	6.10
		13	1,233	46.3	11.01	733	45.2	12.10	1,371	46.5	10.15	1,229	46.3	7.84	733	46.0	7.37	1,366	47.1	6.29
		14	1,221	47.7	10.86	729	49.9	10.02	1,382	48.6	10.31	1,219	47.7	6.59	728	47.7	7.26	1,387	48.4	6.39
	高等学校	15	16,749	49.5	10.84	16,984	49.7	10.71	1,248	48.2	10.25	16,700	47.9	5.96	16,927	48.0	5.90	1,241	47.9	5.97
		16	16,300	51.4	10.99	16,390	51.4	10.52	1,259	49.5	10.37	16,203	48.9	6.14	16,318	48.7	6.10	1,255	48.6	6.15
		(全) 17	15,891	52.9	10.63	15,900	52.5	10.55	1,255	50.3	10.47	15,812	49.3	6.25	15,795	49.1	6.32	1,255	48.8	6.34
	(定)	15	557	40.8	11.39	492	41.7	10.63	176	41.5	10.13	554	39.3	8.27	482	39.3	8.24	174	41.7	6.66
		16	420	42.1	10.66	385	43.5	11.58	168	43.7	9.62	409	39.9	8.15	379	40.1	8.06	165	42.9	6.64
		17	348	43.7	11.69	293	43.1	11.03	174	43.9	10.18	339	40.5	6.95	286	40.8	7.67	172	42.2	6.34
		18	176	41.4	11.07	180	44.6	10.02	152	42.8	9.46	172	38.6	8.01	175	42.2	6.91	143	42.0	6.90

			20mシャトルラン									単位：回			持 久 走 (男子…1500m、女子…1000m)												単位：秒		
			県						国			県						国											
			令和 6 年度			令和 5 年度			令和 5 年度			令和 6 年度			令和 5 年度			令和 5 年度											
			N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D									
男	小学校	6							1,095	19.0	9.81																		
		7							1,108	28.0	13.67																		
		8							1,121	35.4	17.10																		
		9							1,125	43.9	19.11																		
		10	1,248	43.7	20.17	720	46.6	21.35	1,126	50.4	21.65																		
		11	1,124	52.9	21.51	723	57.2	23.27	1,118	59.5	22.76																		
	中学校	12	455	63.5	22.77	175	65.9	22.62	1,104	68.9	24.19	850	469.0	103.28	555	456.7	89.23	289	426.4	62.15									
		13	481	79.4	24.86	196	76.6	24.64	1,120	82.6	23.51	735	417.1	102.80	557	416.7	77.05	297	388.5	52.91									
		14	488	83.1	24.99	198	87.4	24.88	1,126	90.4	24.14	678	399.9	73.40	555	397.9	63.48	286	379.3	53.43									
	高等学校	15	12,219	80.1	22.62	11,573	81.1	22.54	899	82.0	23.93	5,190	402.0	64.88	6,415	397.9	60.16	346	387.6	53.71									
		16	11,135	87.3	24.34	10,811	87.7	24.02	927	89.9	25.80	5,681	392.5	65.74	6,589	385.8	59.25	329	367.5	52.12									
		(全) 17	10,832	87.2	24.82	10,156	87.3	24.75	903	88.7	26.82	5,552	389.2	67.01	6,636	385.2	63.17	353	369.9	53.42									
	(定)	15	470	54.8	24.48	426	52.3	23.06	167	54.8	25.55	165	507.0	124.77	176	543.2	159.57	9	426.7	69.61									
		16	356	57.6	24.83	329	56.7	24.55	171	61.9	26.78	133	509.3	131.37	159	487.9	98.11	12	403.0	59.48									
		17	326	56.7	25.67	277	54.7	24.44	167	56.7	22.05	128	495.9	114.97	121	561.5	197.41	13	413.2	56.87									
		18	196	49.3	24.11	254	52.6	23.36	151	55.3	24.43	79	549.3	196.12	79	490.4	135.83	9	444.7	78.36									
	女	小学校	6							1,086	15.7	6.55																	
			7							1,093	20.9	9.44																	
8			1,110							27.4	12.21																		
9			1,121							33.1	14.83																		
10			1,171	34.8	15.06	723	36.1	15.91	1,122	40.2	16.39																		
11			1,123	39.8	16.76	718	41.8	17.12	1,113	44.4	17.93																		
中学校		12	434	43.1	16.64	199	42.9	17.78	1,100	48.4	19.20	832	327.1	63.66	551	325.4	51.89	282	304.6	39.23									
		13	485	48.7	18.19	175	47.4	17.05	1,126	53.7	20.36	729	308.9	80.41	558	312.2	49.67	271	292.6	41.54									
		14	494	48.4	17.98	198	50.2	19.21	1,129	53.8	19.37	699	303.7	66.02	552	309.3	50.45	272	289.1	38.95									
高等学校		15	11,457	46.0	15.74	10,706	47.6	16.18	895	47.7	17.49	4,928	320.5	44.66	5,885	313.4	42.32	340	308.2	42.41									
		16	10,738	49.0	17.63	10,014	50.3	17.50	911	49.5	19.12	5,220	314.9	68.76	6,060	309.9	47.63	346	299.0	39.14									
		(全) 17	10,407	48.9	17.94	9,522	49.4	18.11	891	49.2	19.15	5,157	314.5	49.86	6,045	308.5	46.06	359	295.3	42.73									
(定)		15	397	24.9	12.46	350	25.2	17.86	163	28.9	12.83	126	446.6	93.09	97	449.9	117.87	13	321.8	34.99									
		16	314	26.2	13.86	240	25.5	13.39	156	30.8	15.86	79	443.6	106.36	93	408.6	105.99	14	337.8	42.01									
		17	231	25.8	13.13	196	27.4	13.37	165	29.0	14.03	79	415.5	94.74	68	420.8	124.15	9	340.3	53.74									
		18	128	23.3	11.24	133	29.1	13.90	143	27.5	13.76	30	494.0	172.13	28	393.3	83.63	7	362.1	51.15									

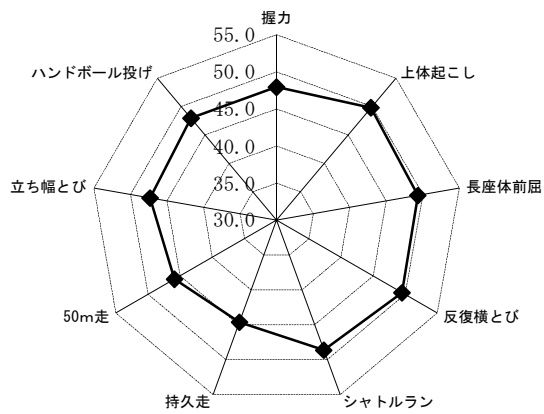
			50m 走						単位：秒			立 ち 幅 と び						単位：c m		
			県						国			県						国		
			令和6年度			令和5年度			令和5年度			令和6年度			令和5年度			令和5年度		
			N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D
男	小学校	6	983	11.6	1.36	721	11.6	1.16	1,090	11.4	1.00	961	112.1	19.29	721	113.9	17.41	1,123	117.4	18.15
		7	1,208	11.0	1.36	723	10.8	1.42	1,098	10.6	0.83	1,208	122.7	21.22	723	125.4	18.33	1,124	127.4	18.44
		8	1,242	10.3	1.10	723	10.2	1.84	1,102	10.1	0.86	1,243	133.0	19.16	723	136.2	19.08	1,112	135.7	19.33
		9	1,235	9.9	1.01	722	9.9	1.18	1,119	9.7	0.87	1,235	144.1	22.27	721	143.8	20.94	1,120	144.5	19.11
		10	1,271	9.6	1.03	720	9.5	1.03	1,122	9.3	0.91	1,270	151.8	22.02	720	153.3	22.46	1,118	154.6	20.94
		11	1,145	9.1	1.07	723	8.9	0.93	1,126	8.9	0.90	1,145	161.0	25.91	723	166.6	22.87	1,127	166.7	22.75
	中学校	12	1,340	8.8	1.02	730	8.7	1.10	1,351	8.4	0.75	1,340	177.7	26.80	729	181.2	27.49	1,365	185.0	24.95
		13	1,242	8.1	1.27	733	8.0	0.90	1,363	7.8	0.66	1,246	196.4	28.02	733	199.7	27.23	1,360	203.1	25.13
		14	1,191	7.7	0.80	730	7.6	0.68	1,390	7.5	0.62	1,197	209.9	27.73	730	214.2	25.52	1,376	216.9	23.69
	高等学校	15	17,658	7.6	0.99	18,308	7.6	0.67	1,235	7.4	0.59	17,768	215.0	26.18	18,363	215.4	25.65	1,229	219.4	23.80
		16	16,930	7.4	0.99	17,465	7.4	0.67	1,248	7.3	0.58	16,986	222.1	25.97	17,531	222.1	25.43	1,245	225.5	24.82
		(全) 17	16,525	7.3	0.64	16,910	7.3	0.68	1,242	7.2	0.68	16,581	226.3	26.10	16,978	226.5	26.08	1,245	229.3	24.07
	(定) 高等学校	15	645	8.2	1.29	611	8.2	1.60	167	7.9	0.70	653	197.1	34.51	625	195.9	35.45	169	206.2	27.04
		16	494	8.1	2.02	492	8.0	1.16	169	7.7	0.77	502	205.6	30.56	496	204.4	33.37	176	210.0	26.03
		17	455	8.0	1.15	410	8.1	1.35	169	7.7	0.68	465	209.3	31.09	408	204.6	32.73	176	211.6	25.73
		18	284	8.4	1.87	332	8.0	1.37	150	7.8	0.59	284	202.8	39.02	350	205.6	33.50	153	210.7	28.13
女	小学校	6	941	12.0	1.33	725	12.0	1.19	1,095	11.8	0.99	919	105.6	18.31	725	107.1	17.09	1,121	108.5	17.60
		7	1,125	11.3	1.27	722	11.1	1.07	1,078	11.0	0.85	1,125	117.8	17.67	723	117.7	18.34	1,114	117.8	17.74
		8	1,118	10.6	1.03	720	10.6	0.97	1,108	10.5	0.87	1,117	127.7	18.04	720	127.9	18.50	1,110	127.8	18.20
		9	1,148	10.2	0.93	723	10.2	1.02	1,125	10.0	0.81	1,149	136.9	18.95	723	136.5	19.52	1,119	137.5	19.16
		10	1,194	9.8	0.95	723	9.7	0.93	1,123	9.6	0.82	1,190	145.9	19.90	723	146.8	21.24	1,120	147.4	20.61
		11	1,146	9.5	1.07	718	9.3	0.83	1,126	9.2	0.77	1,144	152.0	22.00	718	154.6	20.91	1,125	155.3	21.19
	中学校	12	1,294	9.3	0.97	727	9.2	0.83	1,361	9.0	0.75	1,300	161.0	24.18	727	165.3	20.77	1,355	167.5	22.01
		13	1,218	9.0	0.87	733	9.1	0.88	1,378	8.8	0.73	1,231	164.4	29.33	733	168.2	23.87	1,366	172.5	22.42
		14	1,214	9.0	0.94	728	8.9	1.08	1,387	8.7	0.76	1,221	169.2	26.26	729	172.9	24.92	1,372	174.4	23.33
	高等学校	15	16,605	9.1	1.42	16,887	9.1	0.84	1,227	8.9	0.77	16,697	167.1	23.32	16,942	168.5	23.23	1,234	171.7	23.08
		16	16,139	9.0	0.93	16,241	9.0	0.86	1,243	8.8	0.81	16,190	170.2	23.33	16,310	170.3	23.12	1,263	173.2	23.51
		(全) 17	15,736	9.0	1.13	15,710	9.0	0.87	1,240	8.8	0.89	15,808	171.8	23.15	15,800	171.2	23.53	1,257	174.3	23.90
	(定) 高等学校	15	536	10.0	1.30	455	9.9	1.26	161	9.4	0.77	550	148.2	26.72	476	146.9	26.90	173	155.4	22.05
		16	403	10.2	1.58	351	10.1	1.50	151	9.4	0.86	412	146.9	29.07	377	145.9	26.79	165	157.8	23.00
		17	321	10.1	1.36	267	10.1	1.56	154	9.5	0.89	344	146.3	31.89	292	149.4	27.61	174	155.4	23.33
		18	159	10.4	1.48	165	10.2	1.88	133	9.7	0.96	173	145.5	26.13	176	151.5	27.12	150	153.0	23.96

			ボール投げ(小…ソフトボール、中・高…ハンドボール)						単位：m		
			県						国		
			令和6年度			令和5年度			令和5年度		
			N	M	S・D	N	M	S・D	N	M	S・D
男	小学校	6	964	8.0	8.02	721	7.9	3.42	1,118	8.4	3.31
		7	1,197	10.5	4.76	723	10.8	4.64	1,117	11.8	4.54
		8	1,244	13.3	5.80	723	14.5	6.11	1,120	14.9	5.98
		9	1,235	16.9	7.28	722	16.9	6.62	1,123	18.5	6.96
		10	1,271	19.3	7.95	721	20.5	8.57	1,127	21.9	8.36
		11	1,137	22.9	9.41	723	24.3	9.38	1,126	25.8	9.37
	中学校	12	1,335	16.9	5.34	730	16.7	5.30	1,375	18.3	5.30
		13	1,247	20.2	6.32	733	20.0	5.88	1,373	21.4	5.92
		14	1,193	22.6	6.67	730	22.0	5.93	1,386	24.2	6.14
	高等学校	15	17,730	23.4	6.34	18,368	23.7	6.22	1,252	23.9	5.94
		16	17,001	25.4	6.75	17,584	25.5	6.61	1,251	25.1	6.40
		(全) 17	16,613	26.6	6.91	16,996	26.6	6.85	1,252	26.3	6.74
	高等学校	15	653	20.5	6.18	617	21.5	6.70	179	21.0	6.40
		16	498	22.0	6.67	487	21.9	6.33	183	22.3	6.57
		17	461	22.8	6.42	414	23.2	6.70	180	22.3	6.26
		(定) 18	288	23.8	6.60	349	23.5	5.95	159	22.6	6.27
女	小学校	6	919	5.9	8.08	725	5.4	2.12	1,113	5.8	1.91
		7	1,125	7.2	2.97	723	7.3	2.68	1,101	7.6	2.50
		8	1,118	9.3	3.74	719	9.2	3.35	1,100	9.4	3.08
		9	1,152	11.1	4.47	723	10.8	3.90	1,114	11.8	3.87
		10	1,193	12.9	4.78	723	13.0	4.68	1,112	13.8	4.62
		11	1,136	14.6	5.60	720	14.8	5.51	1,119	15.8	5.37
	中学校	12	1,299	10.8	3.48	727	10.9	3.62	1,376	11.7	3.90
		13	1,230	12.1	4.27	733	12.3	4.00	1,374	13.2	4.22
		14	1,220	13.1	4.58	728	13.4	4.19	1,390	14.1	4.63
	高等学校	15	16,686	13.3	4.10	16,958	13.8	4.21	1,244	13.6	4.30
		16	16,232	14.4	4.44	16,305	14.6	4.57	1,257	14.1	4.38
		(全) 17	15,846	14.9	4.56	15,834	15.0	4.56	1,250	14.6	4.42
	高等学校	15	555	11.2	4.70	470	11.4	3.67	177	11.5	4.08
		16	412	11.3	3.86	361	11.9	4.41	169	12.1	3.44
		17	333	11.4	3.84	283	12.1	4.03	174	11.7	3.70
		(定) 18	166	11.9	4.09	177	13.0	4.29	153	12.2	3.85

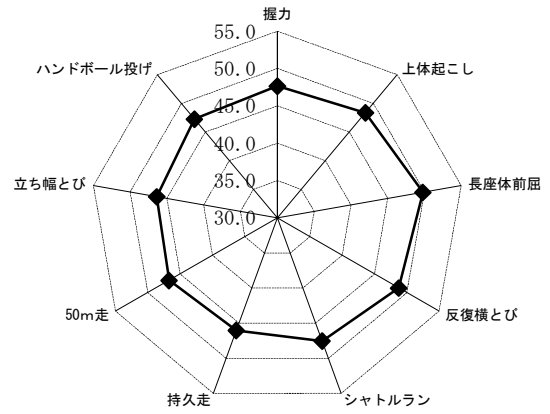
＜令和6年度本県平均と令和5年度全国平均とのTスコアによる比較（グラフ）＞



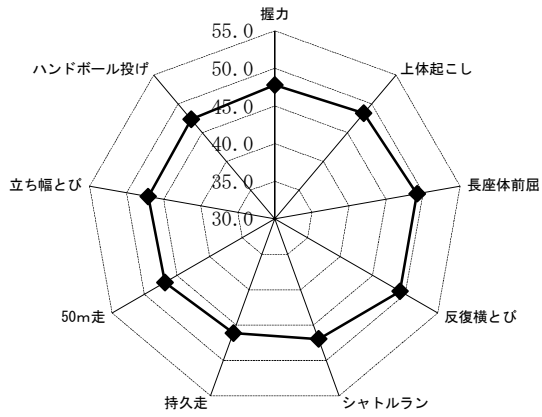
中 2 男 (13歳)



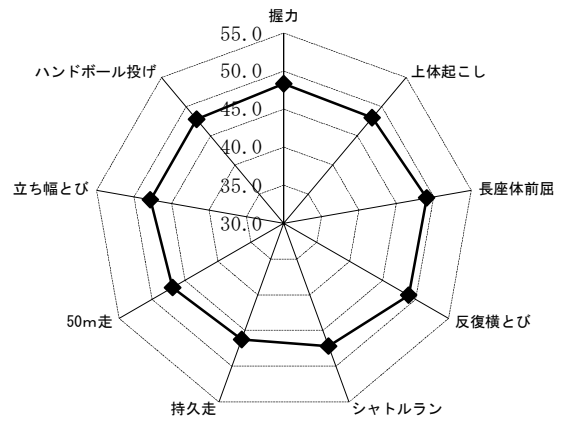
中 2 女 (13歳)



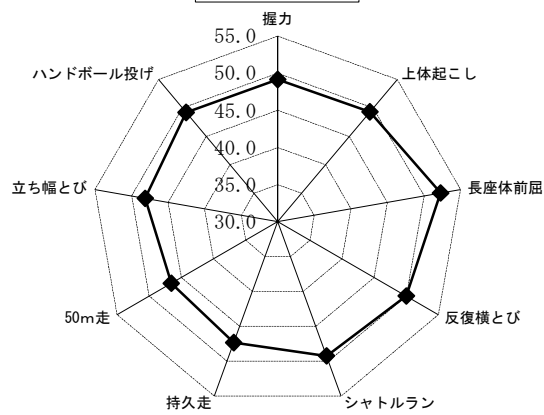
中 3 男 (14歳)



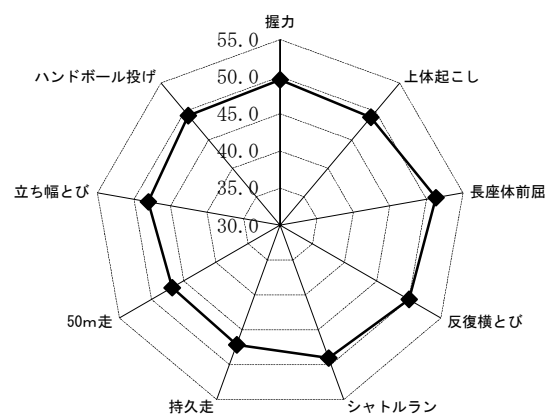
中 3 女 (14歳)



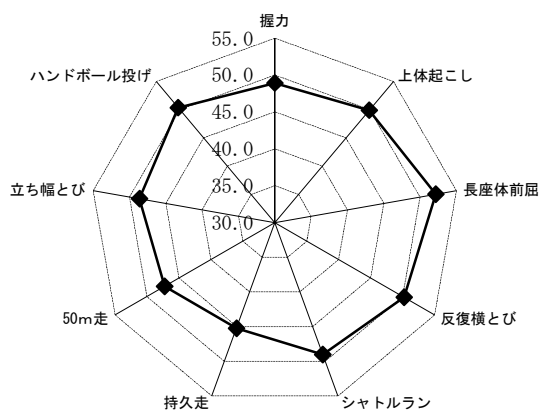
全高 1 男 (15歳)



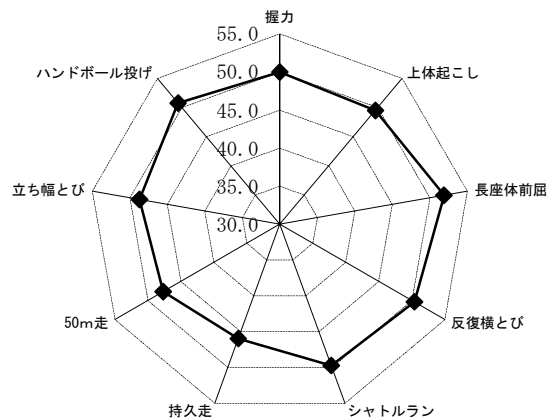
全高 1 女 (15歳)



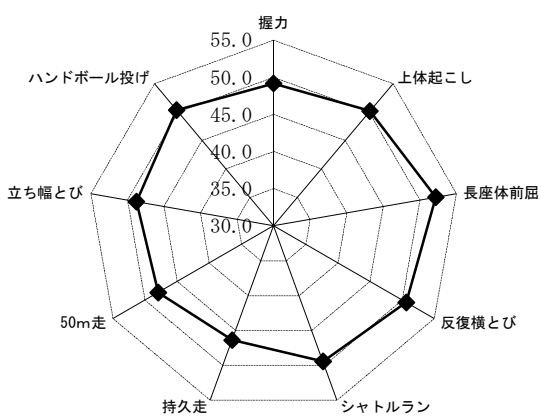
全高2男(16歳)



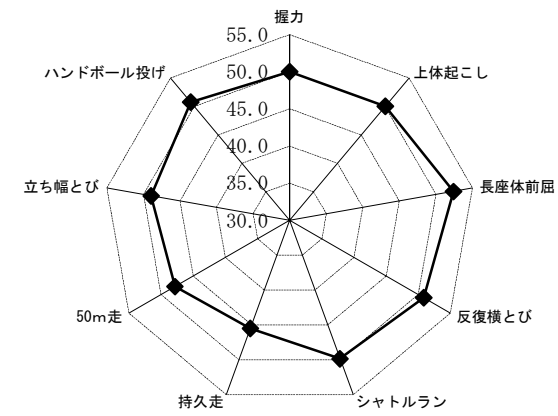
全高2女(16歳)



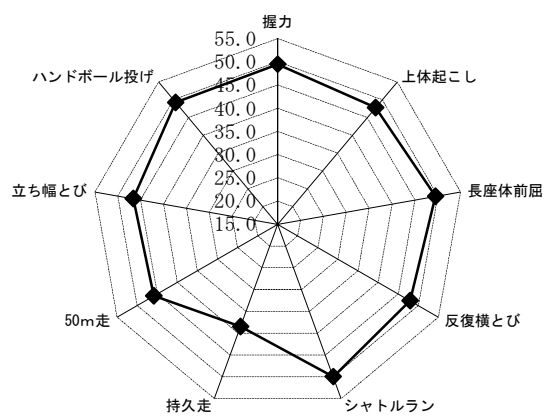
全高3男(17歳)



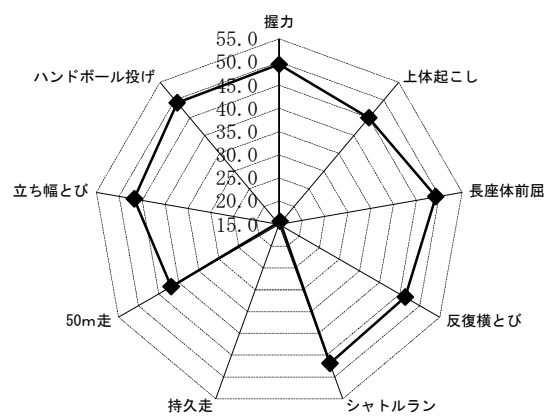
全高3女(17歳)



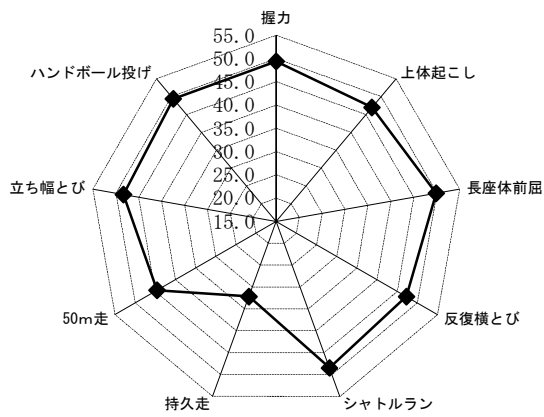
定高1男(15歳)



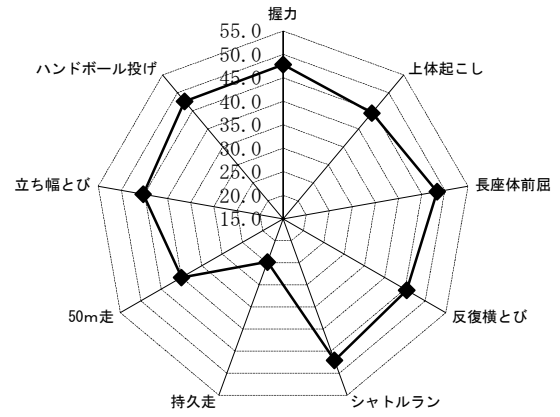
定高1女(15歳)



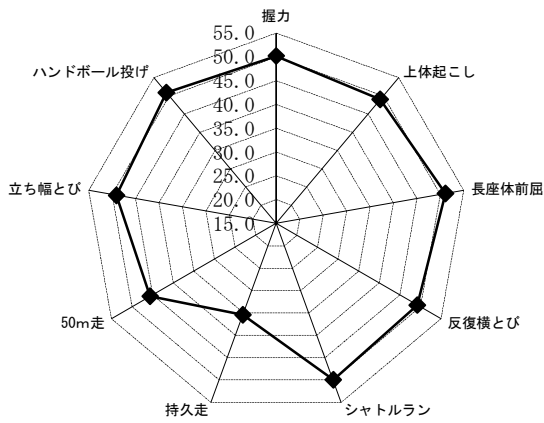
定高2男(16歳)



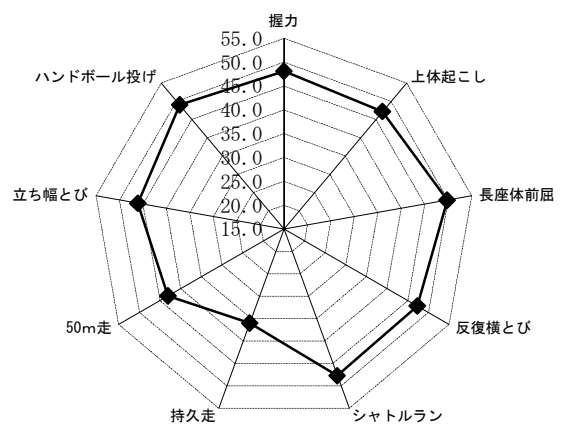
定高2女(16歳)



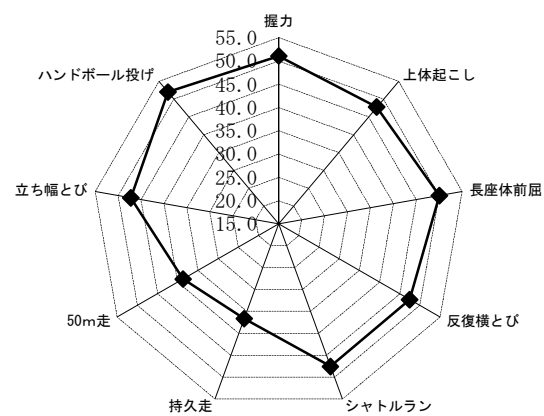
定高3男(17歳)



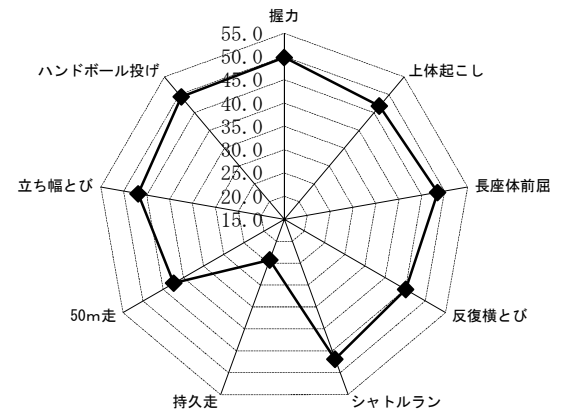
定高3女(17歳)



定高4男(18歳)

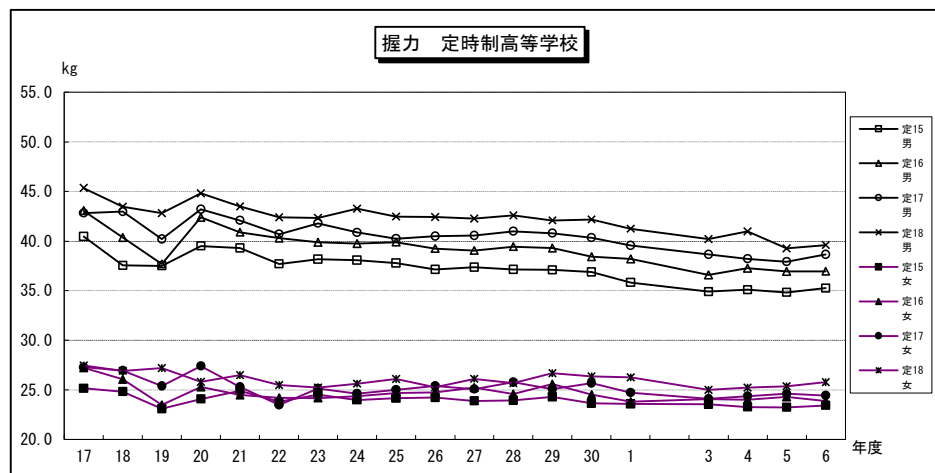
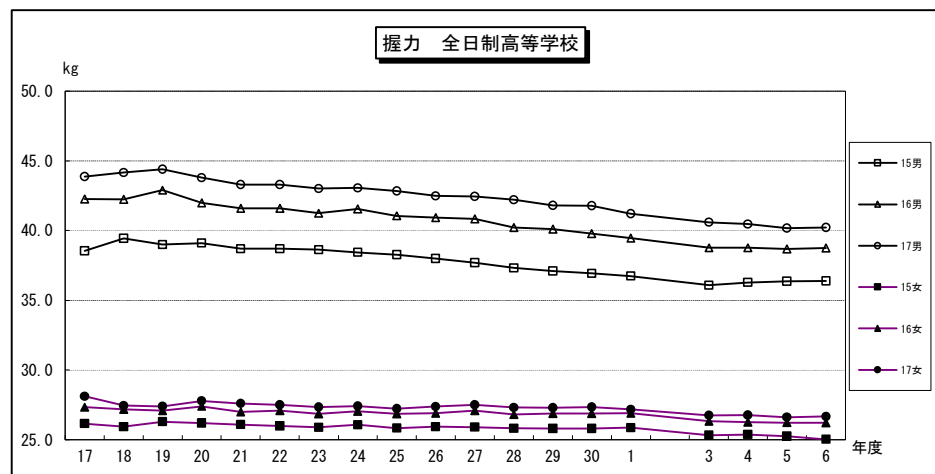
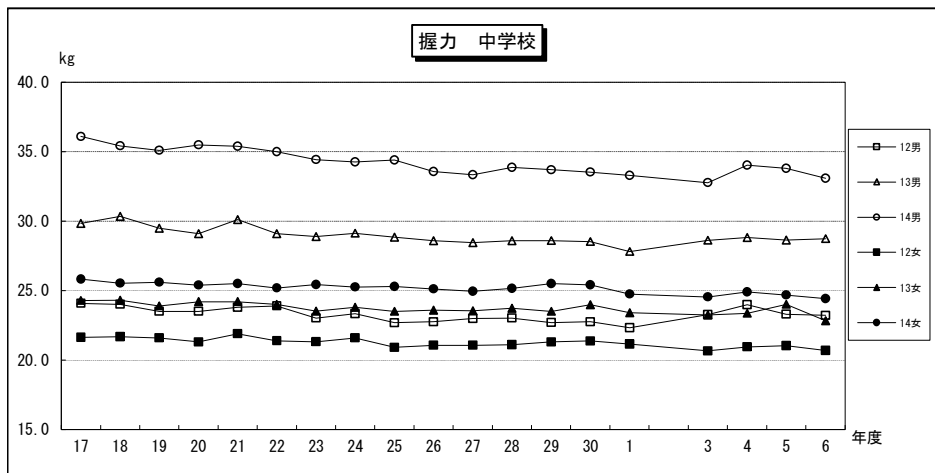
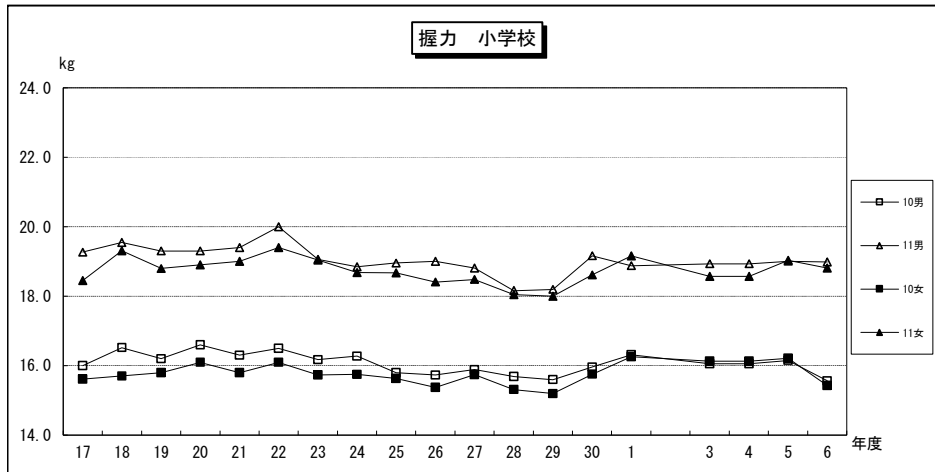


定高4女(18歳)

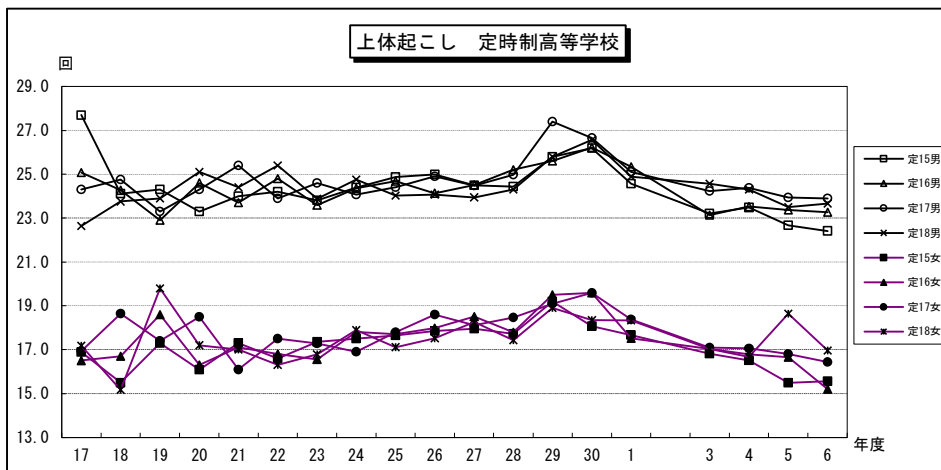
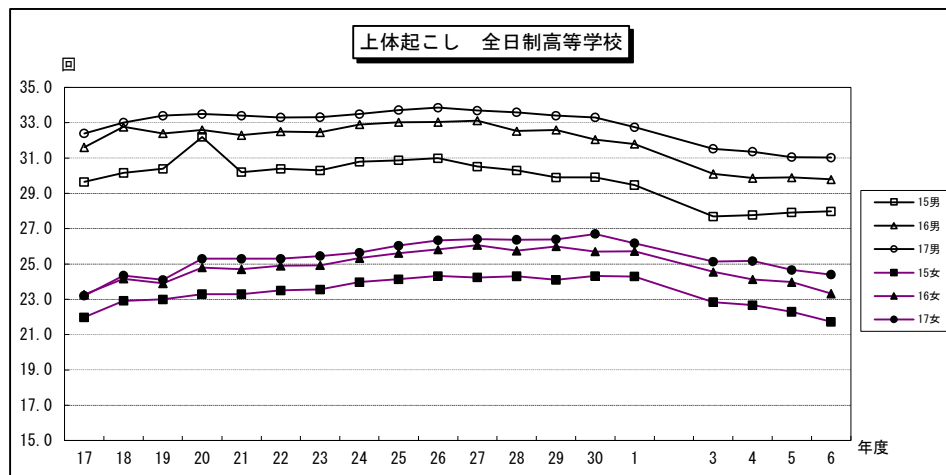
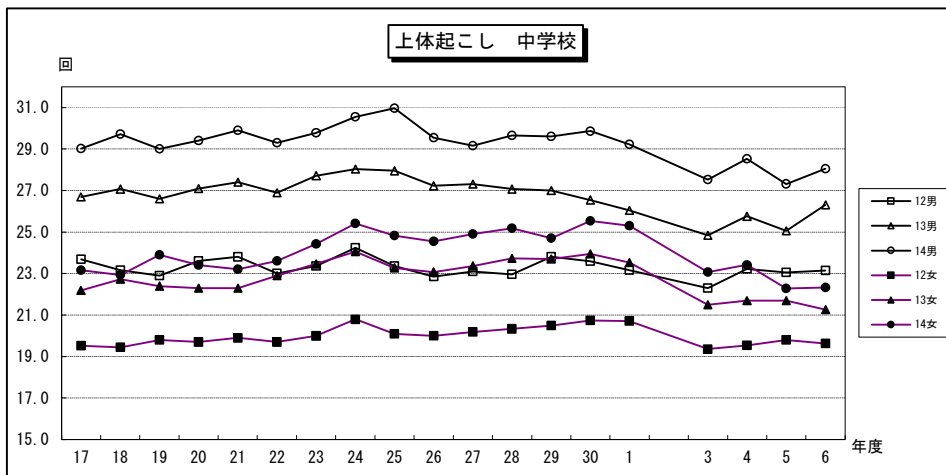
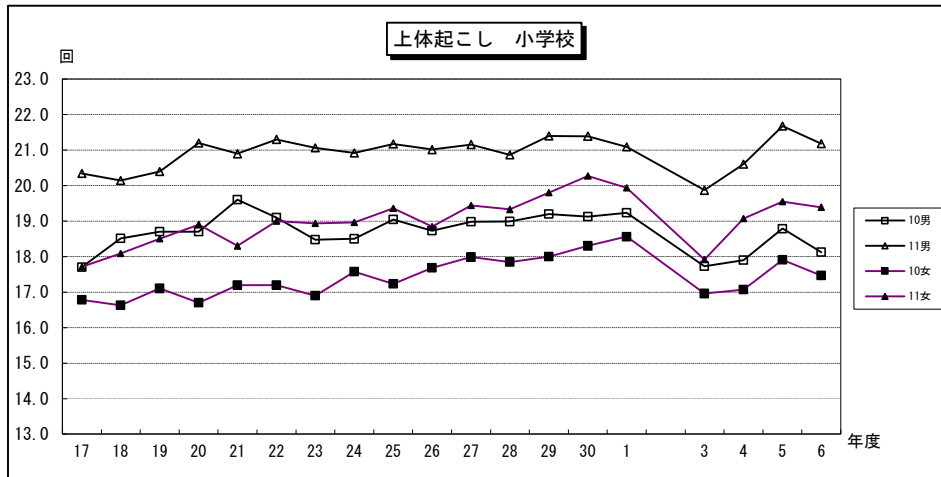


3 平成17年度～令和6年度の体力テスト結果県平均の推移

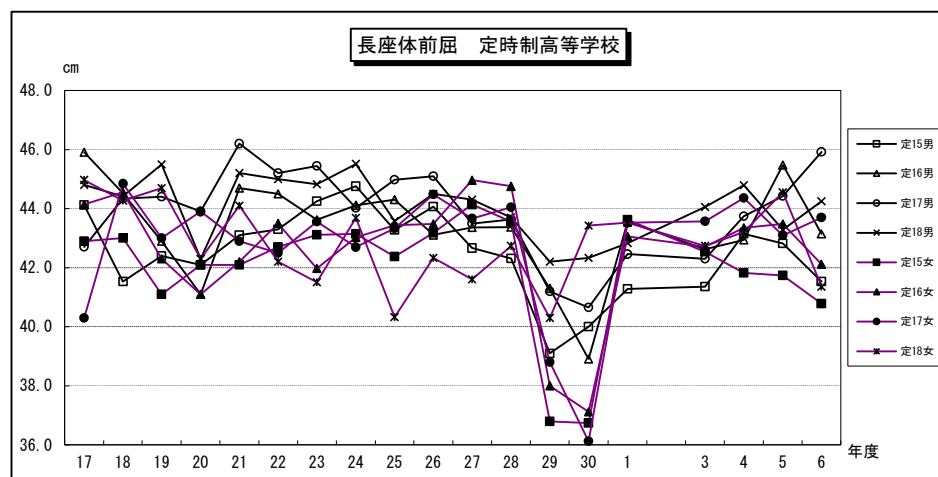
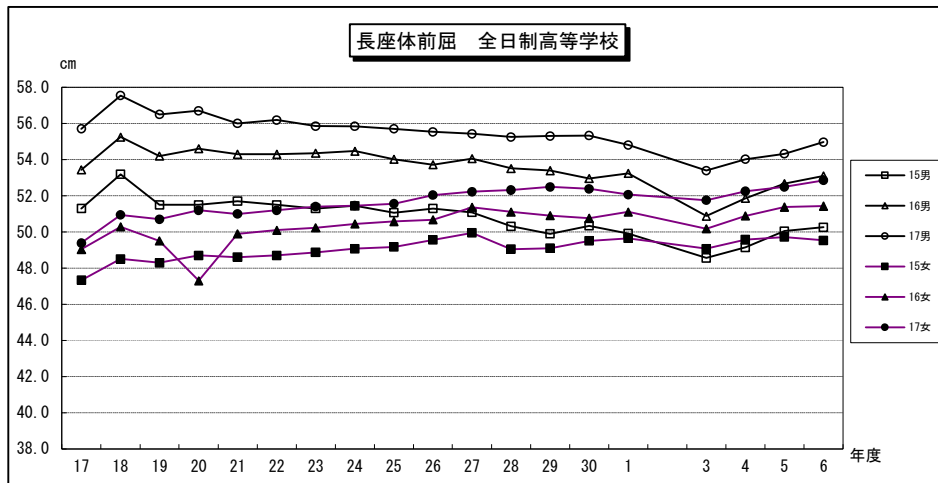
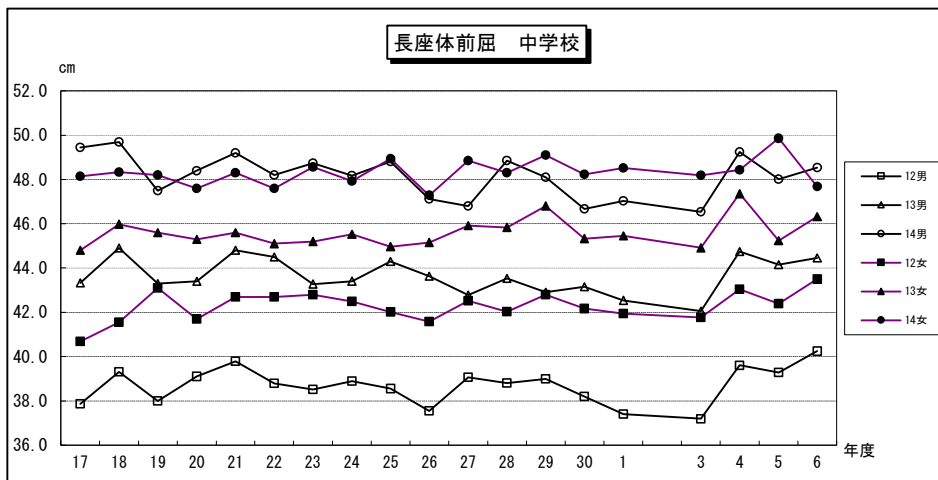
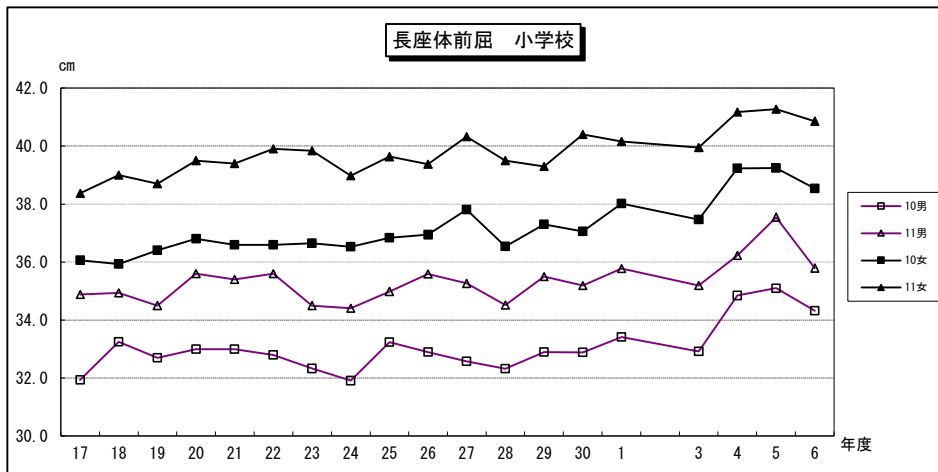
【握力】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



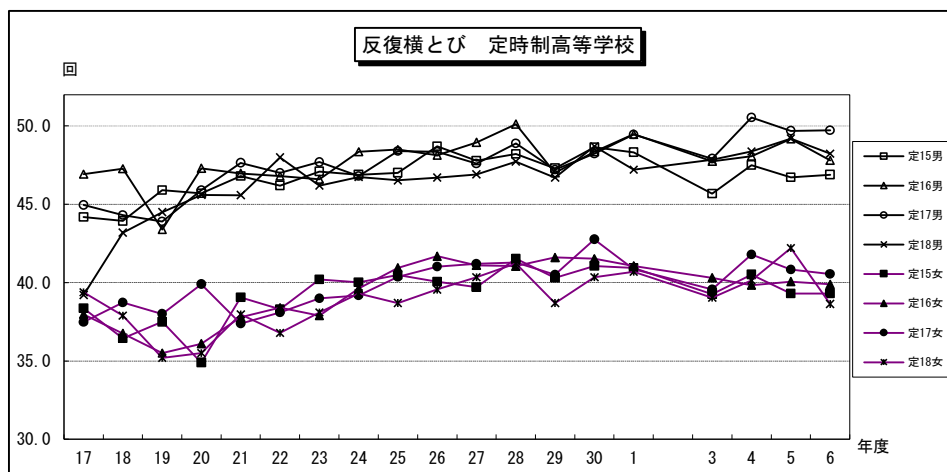
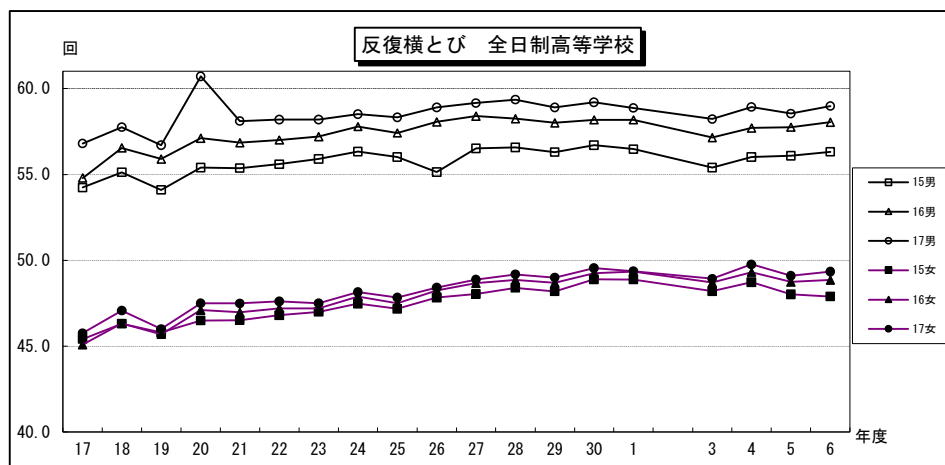
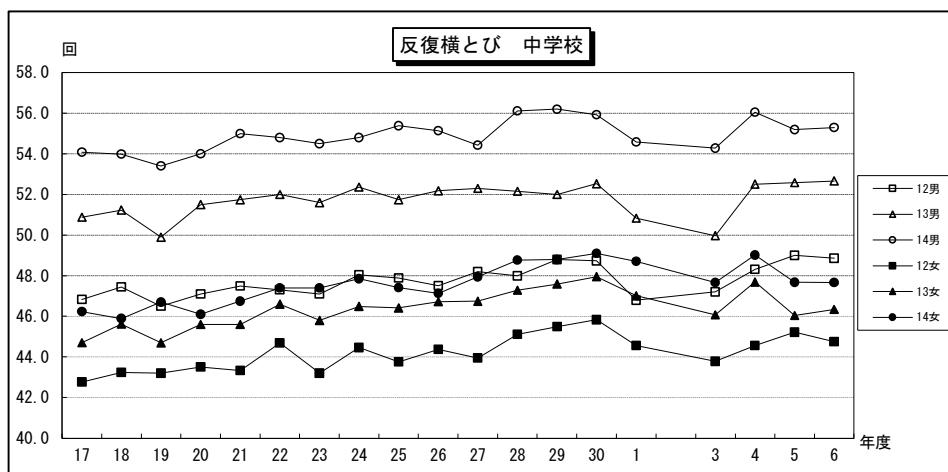
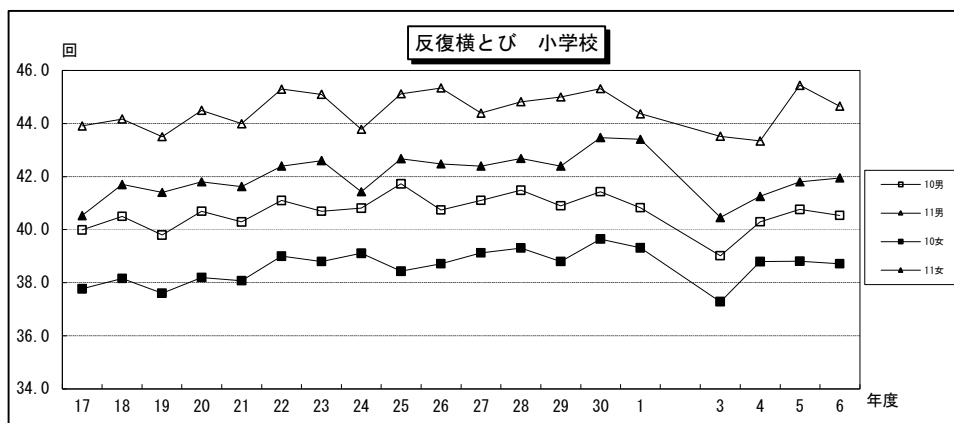
【上体起こし】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



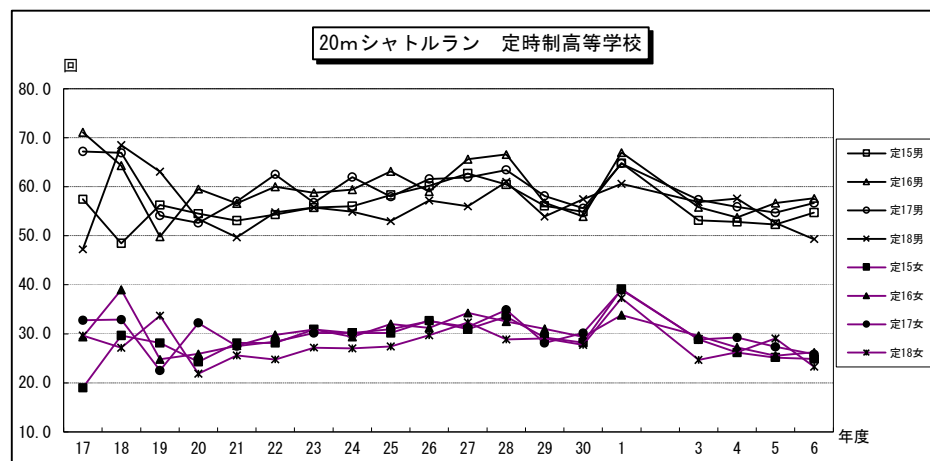
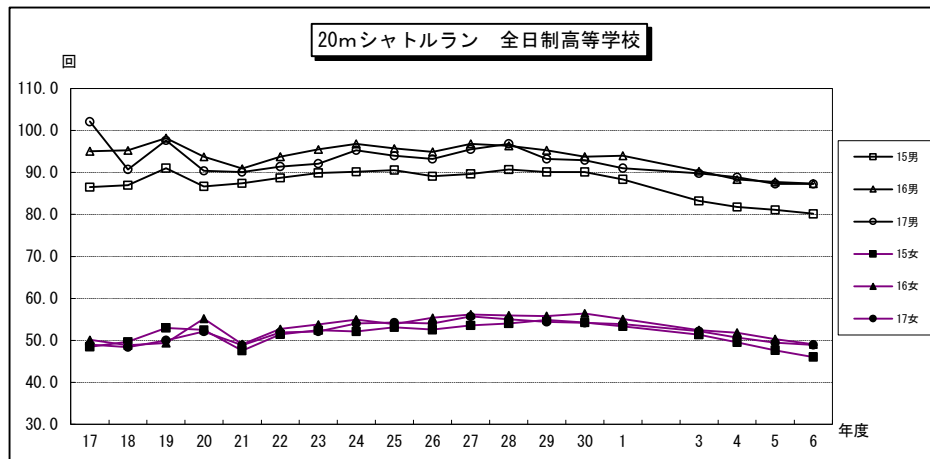
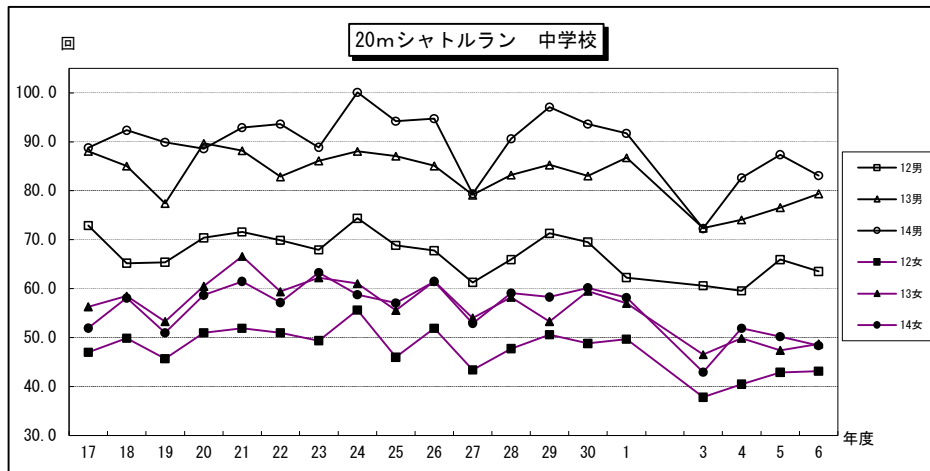
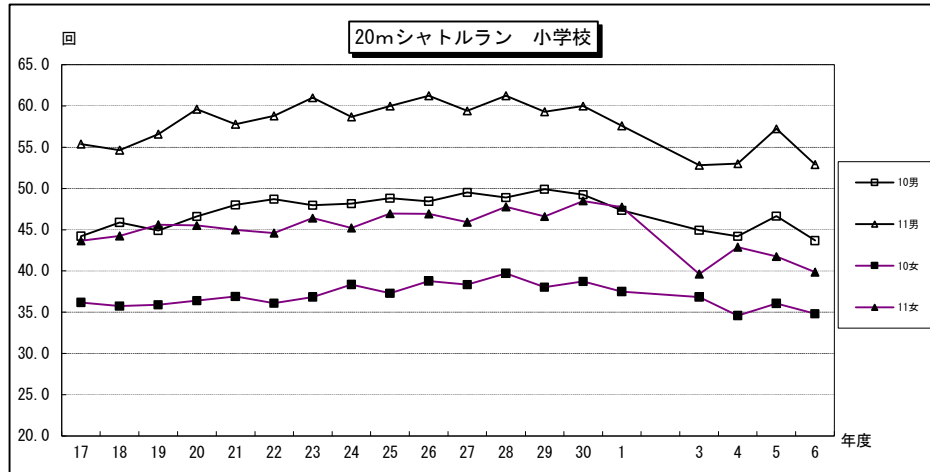
【長座体前屈】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



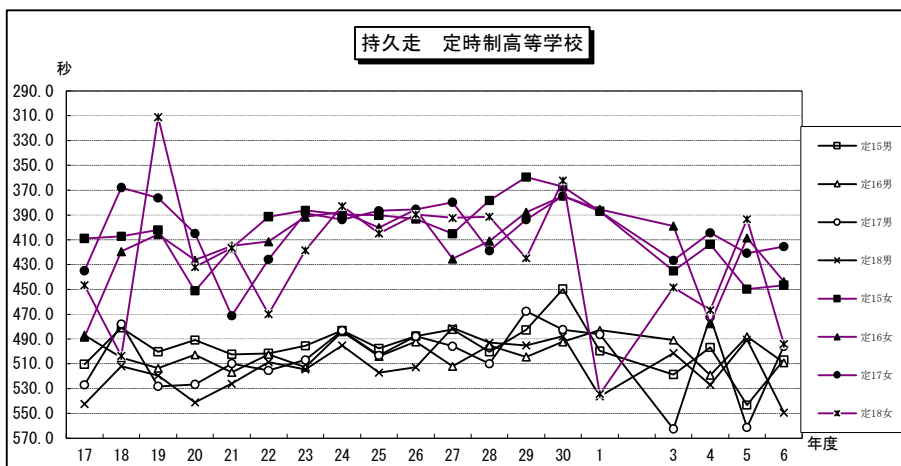
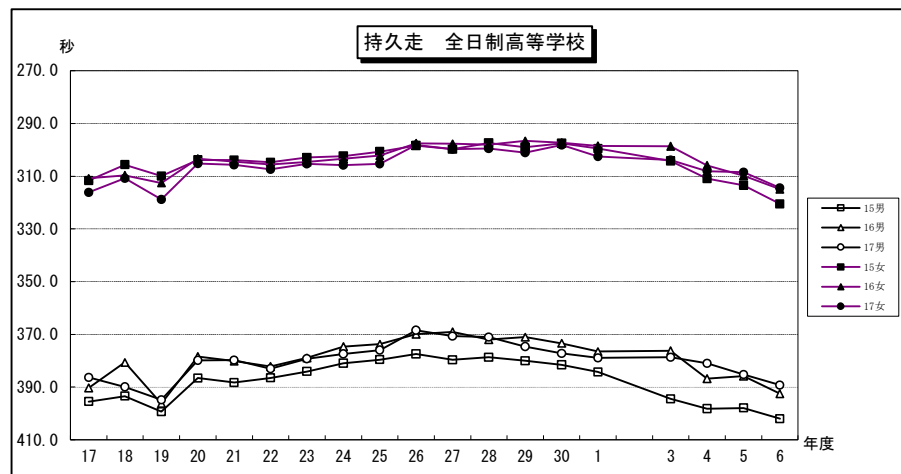
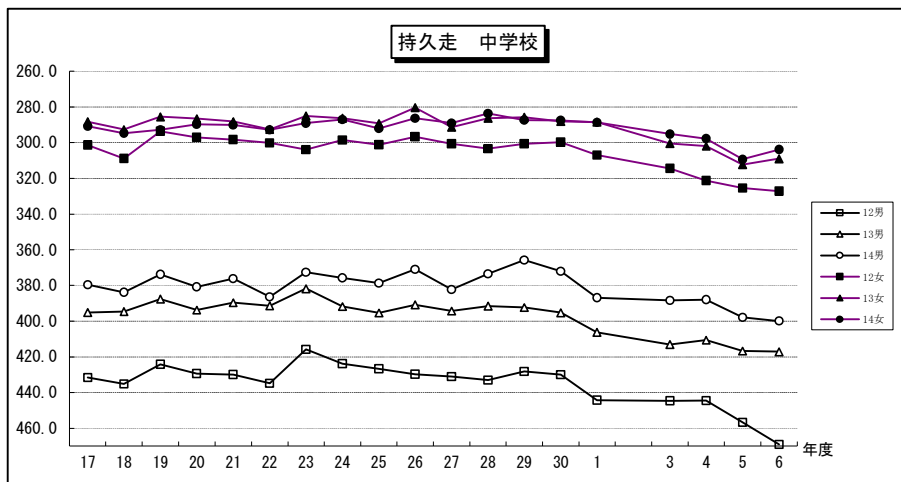
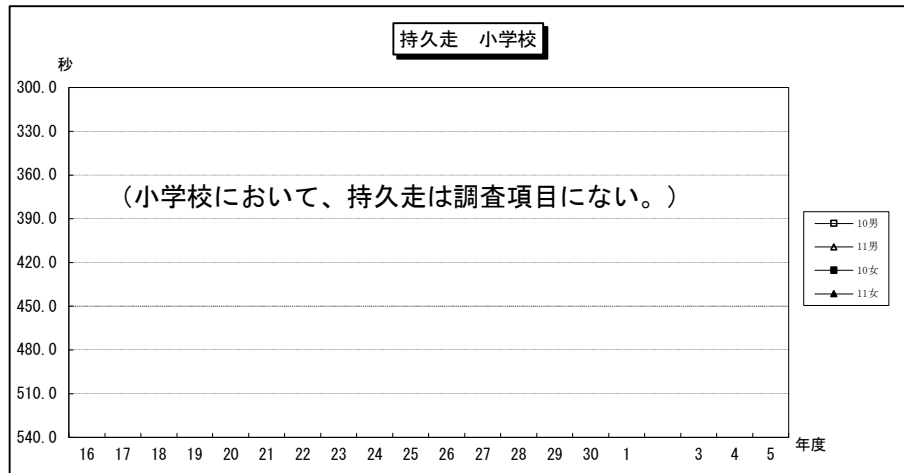
【反復横とび】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



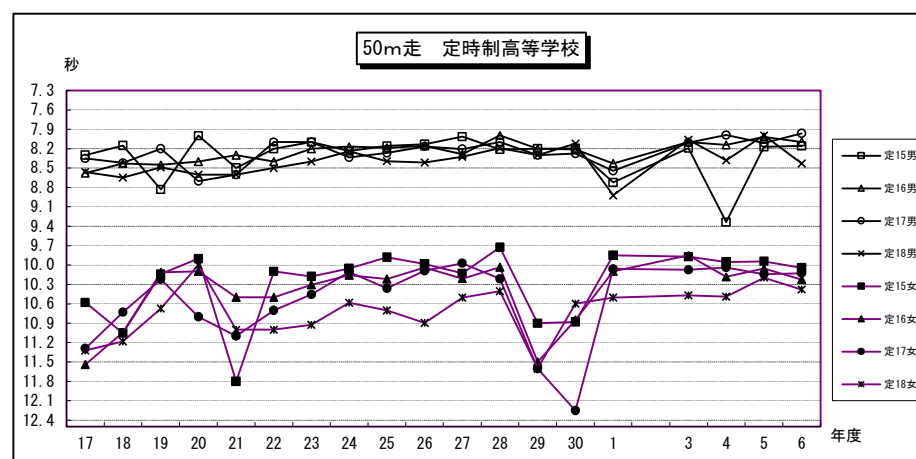
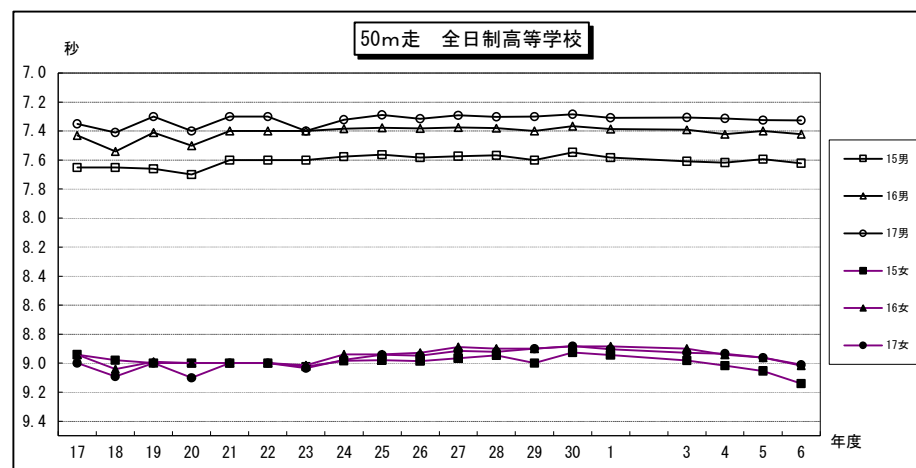
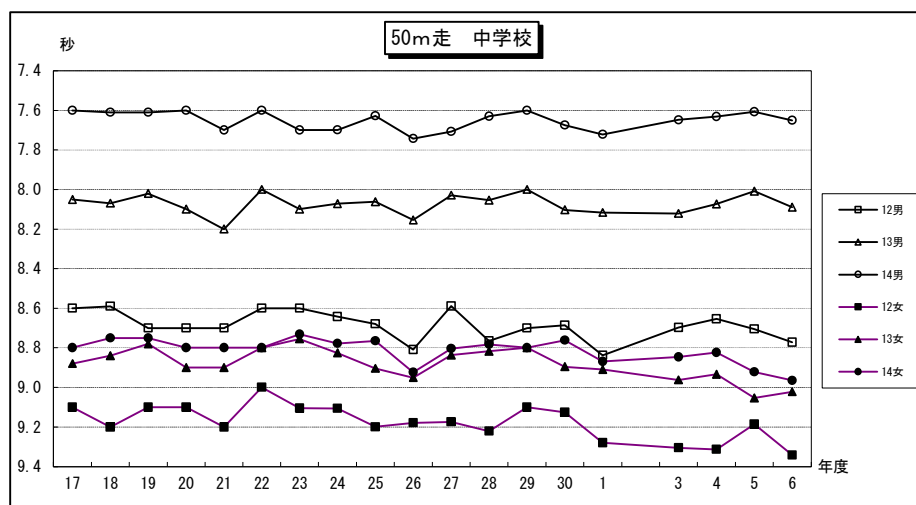
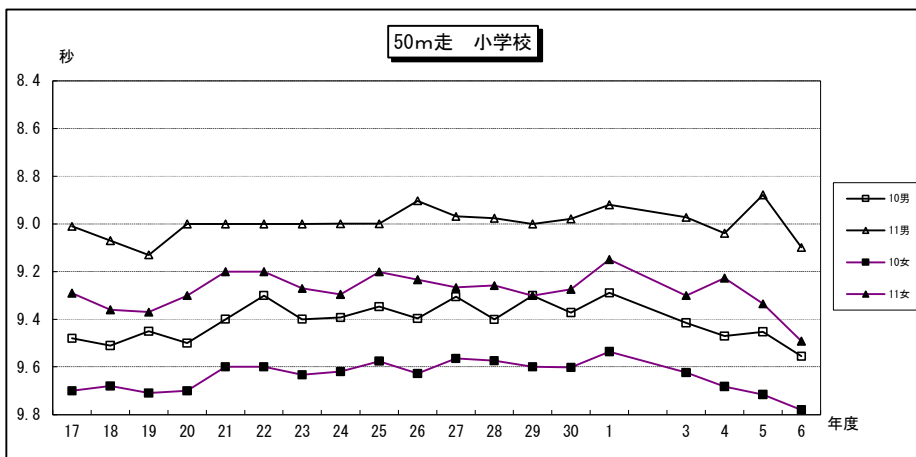
【20mシャトルラン】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



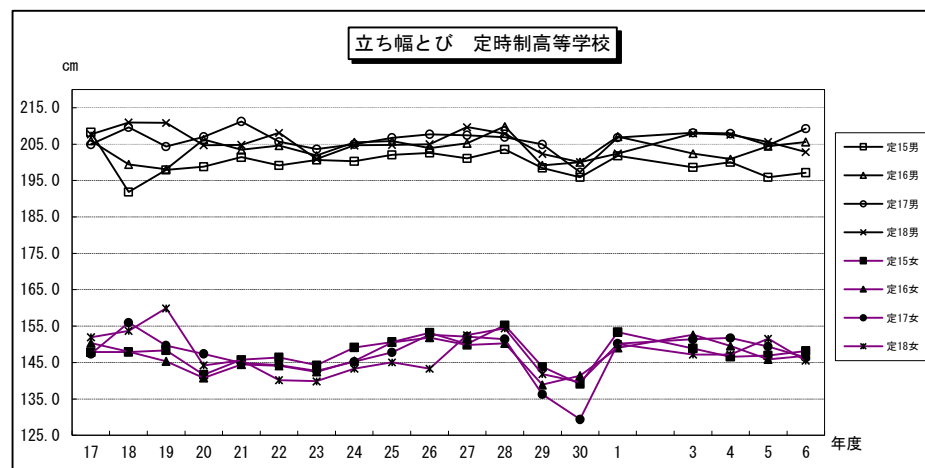
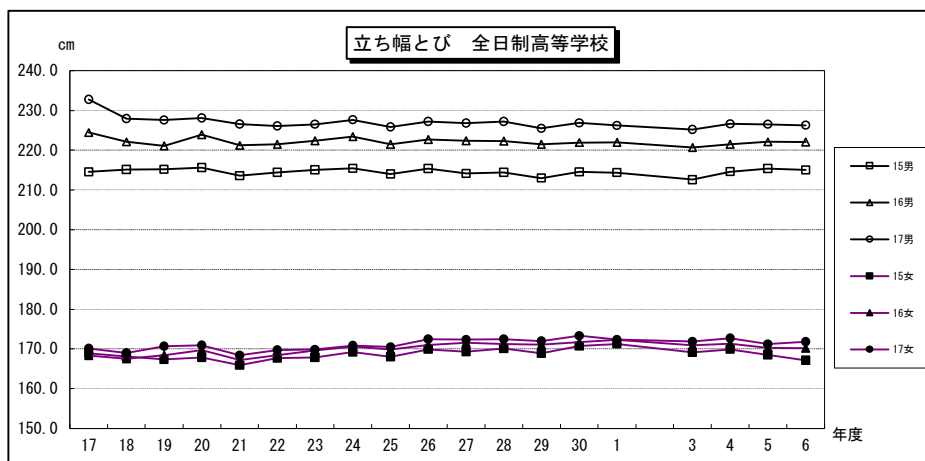
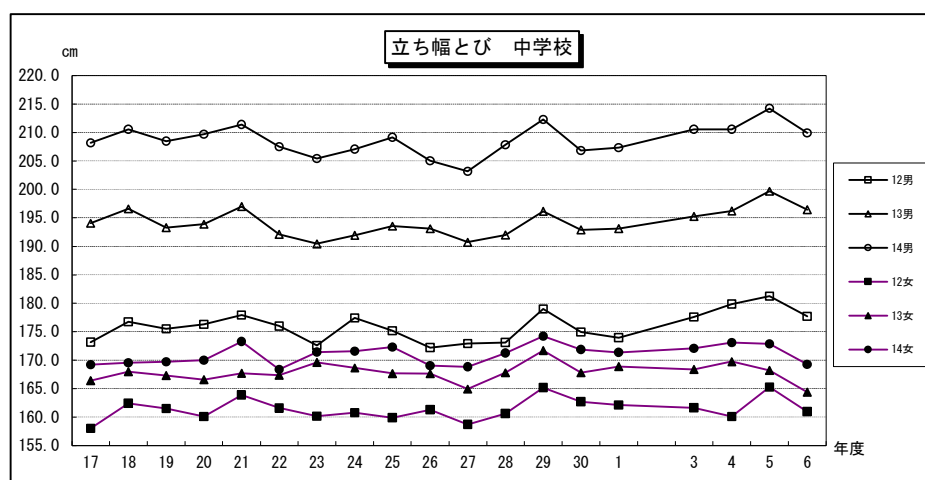
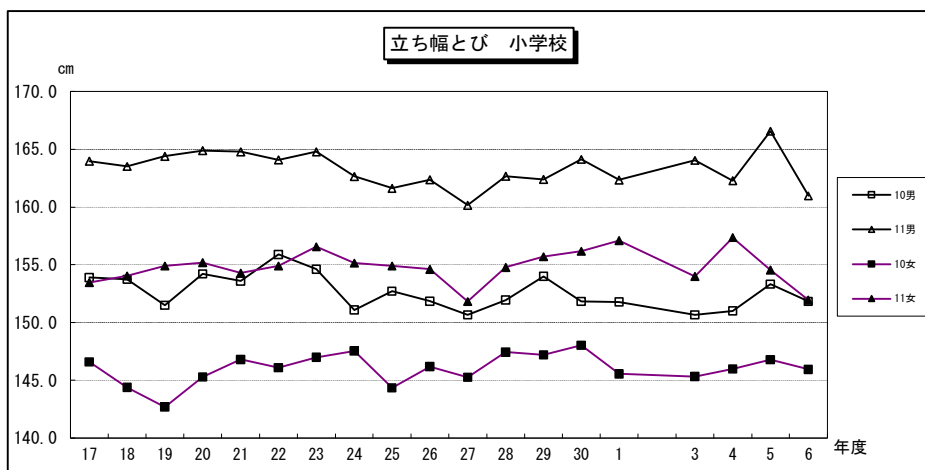
【持久走】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



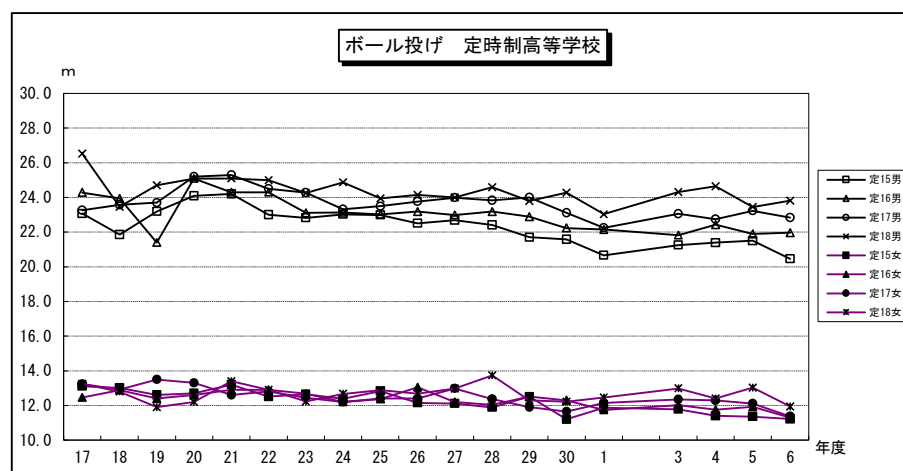
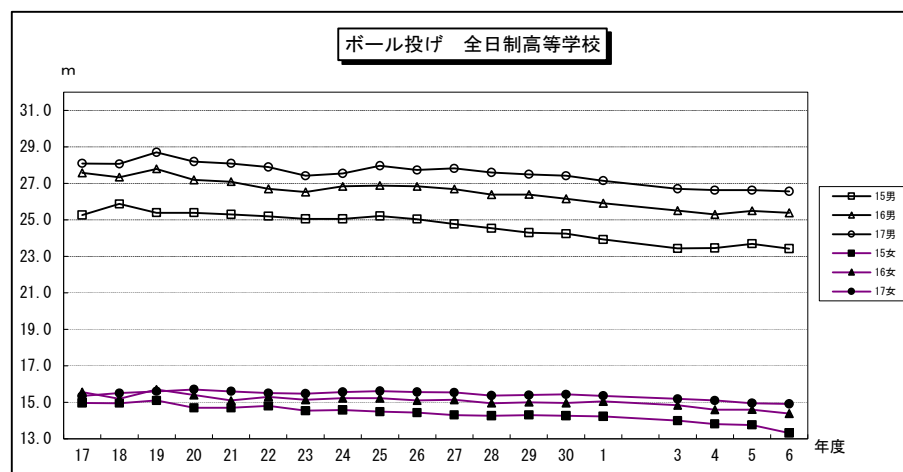
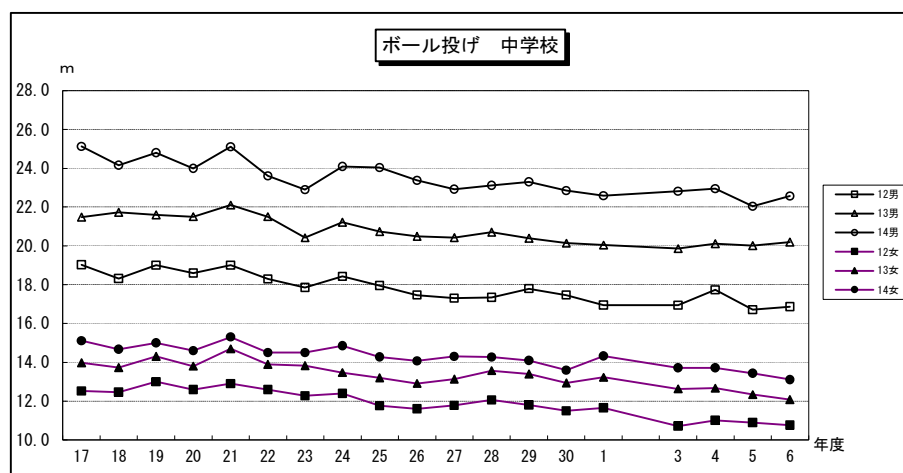
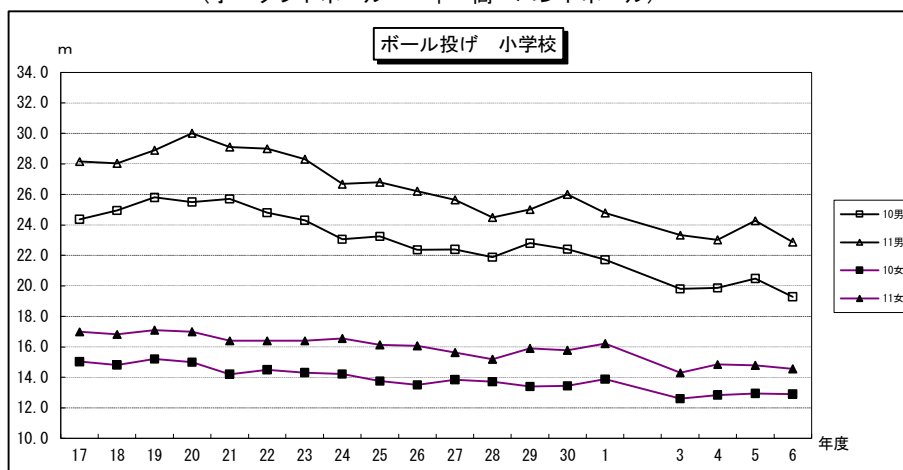
【50m走】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移



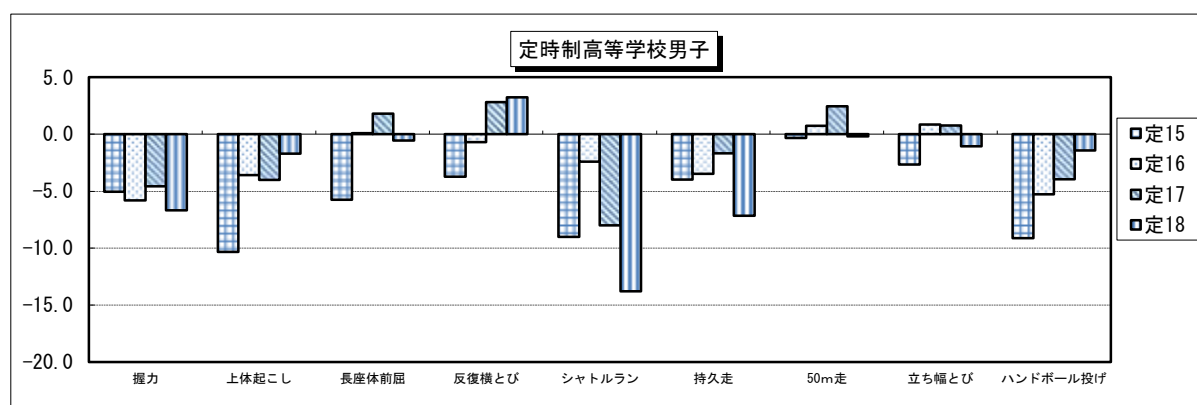
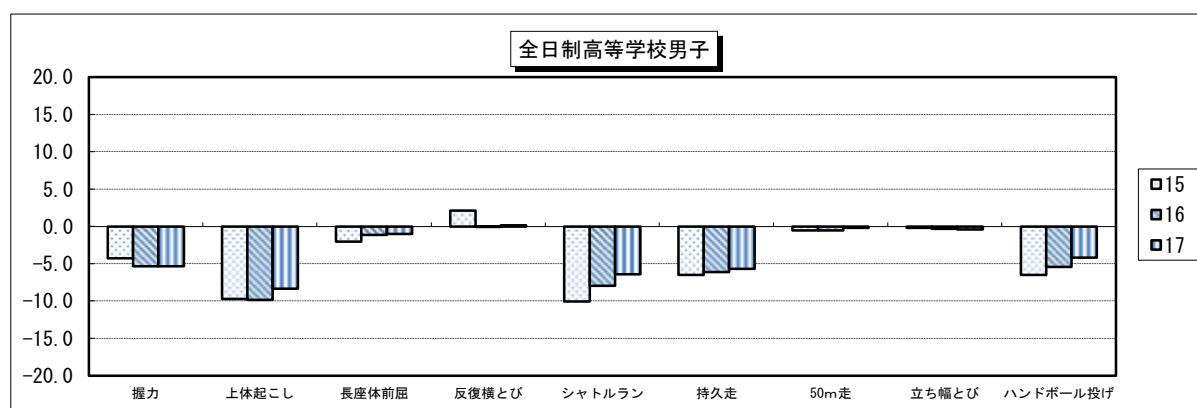
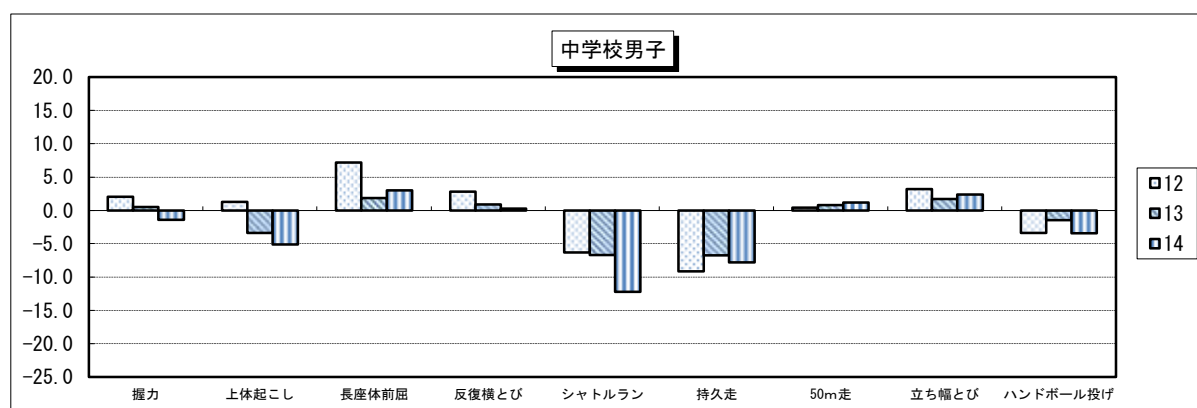
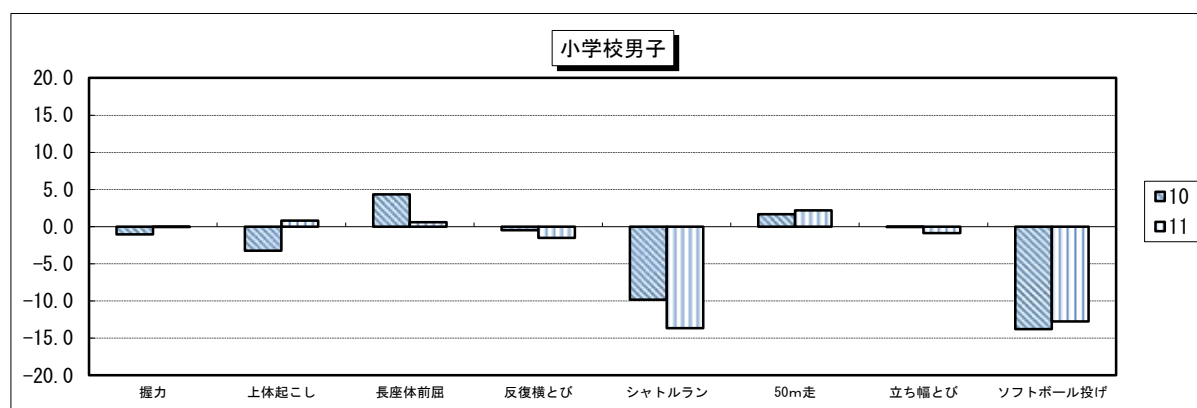
【立ち幅とび】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移

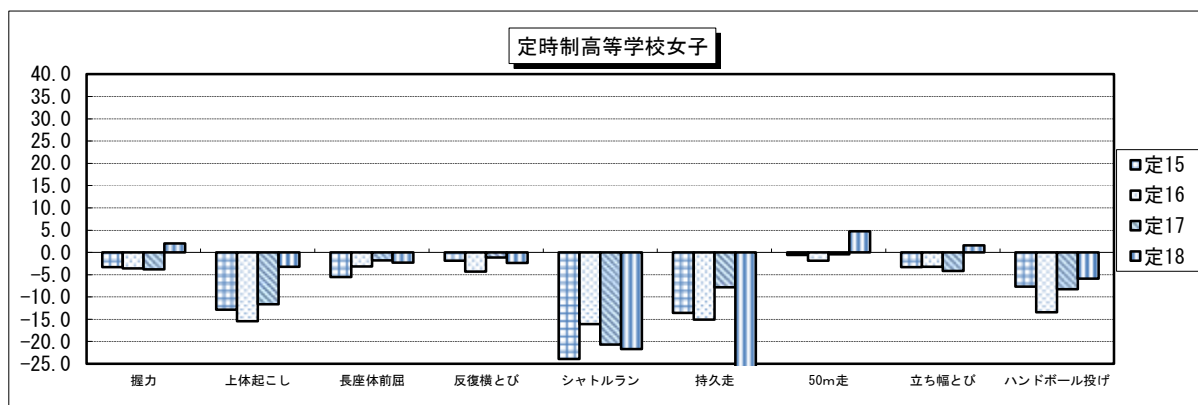
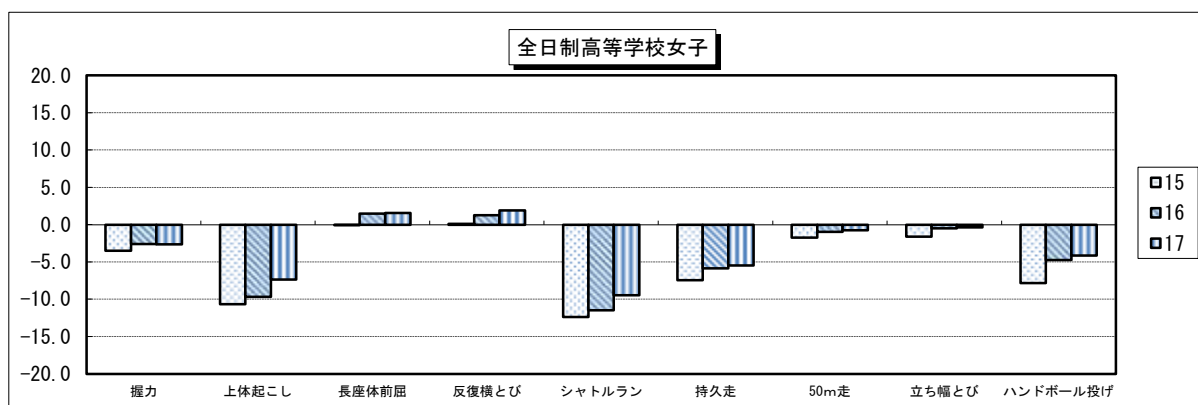
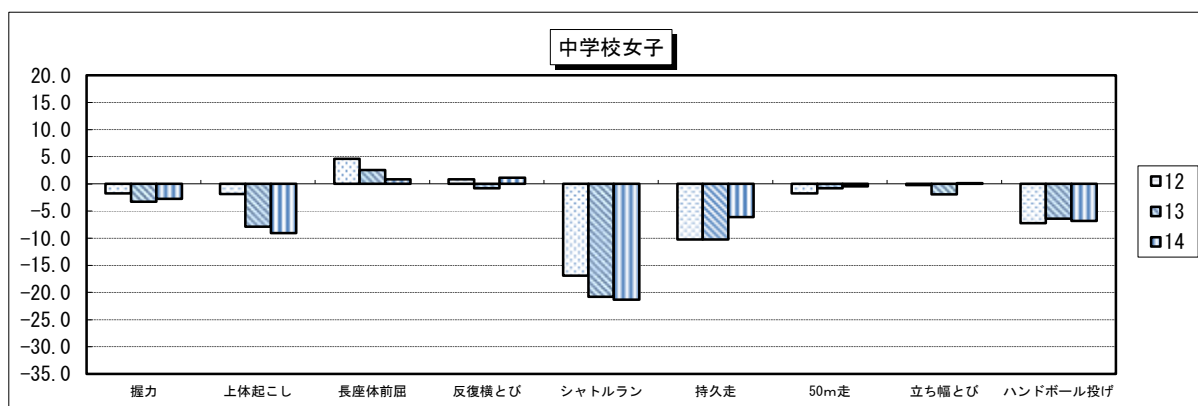
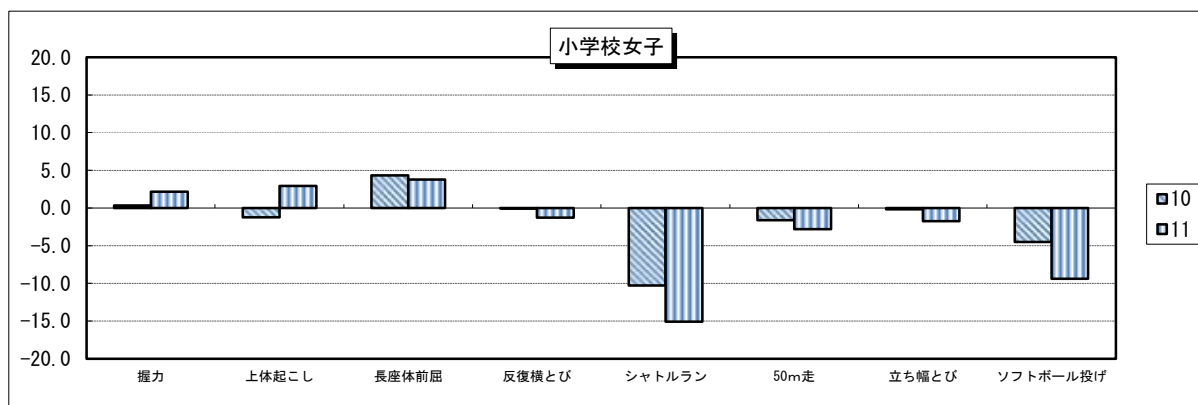


【ボール投げ】 平成17年度から令和6年度の県平均の推移
(小…ソフトボール 中・高…ハンドボール)



4 10年前との比較(平成26年度県平均を100としたときの指数【令和6年度県平均との差】)





5 令和6年度本県と令和5年度全国との合計点平均値比較

	区分	男子						女子					
		本県(R 6)			国(R 5)			本県(R 6)			国(R 5)		
		標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差	標本数	得点平均	標準偏差
小学校	10	1,247	51.58	9.80	1,047	54.74	8.73	1,169	53.40	8.80	1,037	56.32	8.38
	11	1,079	57.96	10.15	1,043	60.86	8.98	1,062	58.61	9.36	1,041	60.86	8.33
中学校	12	1,297	31.84	9.35	1,245	35.47	8.70	1,254	40.80	10.70	1,240	45.29	10.58
	13	1,199	40.92	10.88	1,267	43.75	9.89	1,184	46.01	11.82	1,274	49.87	10.75
	14	1,152	47.02	11.71	1,290	50.66	10.19	1,173	48.52	12.21	1,280	52.44	11.29
高等学校（全日制）	15	17,236	49.14	10.87	1,162	50.44	10.11	16,231	48.67	11.28	1,133	50.42	10.75
	16	16,535	53.56	11.27	1,176	54.42	11.10	15,705	51.86	11.73	1,169	52.32	11.11
	17	16,134	55.88	11.07	1,178	56.34	9.41	15,324	53.24	11.70	1,168	53.35	10.68
高等学校（定時制）	15	612	37.65	10.87	138	40.89	10.76	491	34.43	10.21	142	40.20	10.14
	16	468	40.56	11.43	146	45.11	10.66	361	35.07	11.52	135	42.60	10.17
	17	430	42.23	11.84	154	44.48	9.41	290	36.01	11.01	139	41.41	10.68
	18	268	40.90	11.37	139	43.72	10.21	144	35.18	10.86	118	41.12	9.89

6 結果のまとめ

(1) 本県（令和5年度）との差の検証

小学校 10 歳、11 歳男女では、ほとんどの項目の平均値において、昨年度を下回ったが、女子 11 歳「握力」「反復横とび」は、昨年度を上回った。小学校 10 歳男子歳では、「上体起こし」「長座体前屈」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」が、11 歳男子では「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」が、11 歳女子では「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」が昨年度を有意に下回る結果となった。

中学校 12 歳では、男女の「長座体前屈」において、昨年度の平均値を有意に上回ったが、男子の「持久走」、女子の「50m走」、男女の「立ち幅とび」は昨年度を有意に下回った。中学校 13 歳では、男子「上体起こし」、女子「長座体前屈」において昨年度の平均値を有意に上回ったが、男女の「立ち幅とび」、女子の「握力」において、昨年度を有意に下回った。中学校 14 歳では、男子の「上体起こし」において、昨年度の平均値を有意に上回ったが、男子の「握力」「20mシャトルラン」、女子「長座体前屈」、男女「立ち幅とび」においては、昨年度を有意に下回る結果となった。

高等学校（全日制）男子では全年齢において、「握力」「長座体前屈」「反復横とび」が昨年度の平均値を上回ったが、男子「立ち幅とび」、女子の「上体起こし」、男女「20mシャトルラン」「持久走」「50m走」「ボール投げ」で昨年度を下回る結果となった。女子は、低下した項目が多いものの、17 歳の「長座体前屈」「反復横とび」「立ち幅とび」は、昨年度の平均値を有意に上回る結果となった。

高等学校（定時制）では、15 歳男子の「持久走」、17 歳男子の「持久走」「立ち幅とび」が昨年度の平均値を有意に上回った。15 歳の男子の「ボール投げ」、16 歳男子の「長座体前屈」「反復横とび」、18 歳男子の「持久走」「50m走」、16 歳女子「上体起こし」「持久走」「ボール投げ」、17 歳女子の「ボール投げ」、18 歳女子の「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「持久走」「立ち幅とび」「ボール投げ」が昨年度の平均値を有意に下回る結果となった。

(2) 全国（令和5年度）との差の検証

小学校では、男子 10 歳の「長座体前屈」が、全国の昨年度の平均値と比較して有意に上回ったものの、多くの項目で有意に下回る結果となった。中学校男女は、全年齢の全項目において、全国の昨年度の平均値を下回る結果となり、ほとんどの項目で有意に下回る結果となった。

高等学校（全日制）では、男女「長座体前屈」が、全年齢で全国の昨年度の平均値を有意に上回る一方で、「持久走」「50m走」「立ち幅とび」は男女ともに全年齢で有意に下回る結果

となった。

高等学校（定時制）では、男子 17 歳、18 歳の「握力」「長座体前屈」「ボール投げ」が、全国の昨年度の平均値を上回る一方で、男子の「持久走」「50m 走」、女子の「上体起こし」「反復横とび」「20m シャトルラン」「持久走」「50m 走」「立ち幅とび」は全年齢で、全国の昨年度の平均値を有意に下回る結果となった。

(3) 平成 17 年度～令和 6 年度の県平均推移

「長座体前屈」「反復横とび」については、平成 17 年度から、年度によって多少の上下動はあるものの、上昇傾向にある。「握力」「20m シャトルラン」「持久走」「ボール投げ」は全校種にわたり低下傾向を示しており、特に、「ボール投げ」は全校種で平成 17 年度からの低下の度合いが大きく、「握力」は高等学校（全日制）男子、「20m シャトルラン」「持久走」は中学校男子で平成 17 年度からの低下の度合いが大きい。「上体起こし」「50m 走」「立ち幅とび」については、年度によって多少の上下動はあるものの、全体としては、ほぼ横ばいで推移している。

(4) 本県 10 年前（平成 26 年度）との比較

10 年前と比較すると、多くの校種で「長座体前屈」の記録が向上した。また、多くの校種の男子で「反復横とび」「50m 走」の記録が向上した。一方で、全ての校種で「20m シャトルラン」「持久走」「ボール投げ」の記録が低下しており、「握力」「上体起こし」についても、多くの校種で低下傾向を示している。

(5) 今後に向けて

全校種において、いくつかの項目は昨年度の県平均や国の平均値を上回ったものの、多くの項目で下回り、コロナ影響前の令和元年度調査の水準まで回復に至っていない。まずは、コロナ影響前の体力水準にまで回復させるとともに、学校においては、体育科・保健体育科の授業の改善・充実をさらに推進し、児童生徒の運動・スポーツに対する興味・関心や意欲を高め、運動に親しむ機会を増やす取組を充実させるなど、家庭や地域と連携・協力を図りながら、スポーツを通じて、運動好きな児童生徒の育成や健康の保持増進を図り、生涯にわたって豊かなスポーツライフを送るための基礎を培うことが重要であると考えます。

※資料

1 本県令和6年度と本県令和5年度の平均値比較

○…前年度を上回る ▼…前年度を下回る 塗りつぶしは5%水準で有意差あり

		男 子									女 子										
		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20メートルラン	シャトルラン	持久走	50メートル走	立ち幅とび	ボール投げ	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20メートルラン	シャトルラン	持久走	50メートル走	立ち幅とび	ボール投げ
小学校	6								▽	▽	○								▽	▽	○
	7								▽	▽	▽								▽	○	▽
	8								▽	▽	▽								▽	▽	○
	9			○	○				○	○	○			▽	○				▽	○	○
	10	▽	▽	▽	▽	▽			▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽			▽	▽	▽
	11	▽	▽	▽	▽	▽			▽	▽	▽	○	▽	▽	○	▽			▽	▽	▽
中学校	12	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	▽	○	▽			▽	▽	▽
	13	○	○	○	○	○	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	○	○	○	○	○	▽	▽
	14	▽	○	○	○	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	▽	▽	▽	○	○	○	▽	▽	▽
高等学校 (全日制)	15	○	○	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	16	○	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽
	17	○	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	○	▽	○	○	▽	▽	▽	○	○	○	▽
高等学校 (定時制)	15	○	▽	▽	○	○	○	○	○	▽	○	○	▽	▽	▽	○	○	○	○	○	▽
	16	○	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	○	▽	▽	○	○	○	▽
	17	○	▽	○	○	○	○	○	○	○	▽	▽	○	▽	▽	○	○	○	○	○	▽
	18	○	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	○	○	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽	▽

2 本県令和6年度と全国令和5年度の平均値比較

○…全国を上回る ▼…全国を下回る 塗りつぶしは5%水準で有意差あり

小学校	6								▼	▼	▼								▼	▼	○
	7								▼	▼	▼								▼	○	▼
	8								▼	▼	▼								▼	▼	▼
	9			▼	▼				▼	▼	▼			▼	▼				▼	▼	▼
	10	▼	▼	○	▼	▼			▼	▼	▼	▼	▼	○	▼	▼			▼	▼	▼
	11	▼	▼	▼	▼	▼			▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼			▼	▼	▼
中学校	12	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	13	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	14	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
高等学校 (全日制)	15	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	16	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○
	17	▼	○	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	○	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○
高等学校 (定時制)	15	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	16	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	17	○	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
	18	○	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

※ 全国のデータは令和5年度分(令和6年10月 スポーツ庁発表)

Ⅱ 特別支援学校児童生徒の体力テスト 調査結果

1 調査の概要

(1) 調査の実施期間

令和 6 年 5 月～ 7 月

(2) 調査の方法・内容・項目

ア 県立 31 校（校舎含む）、豊橋市立 1 校、瀬戸市立 1 校、刈谷市立 1 校、豊田市立 1 校、計 35 校の特別支援学校から提出された児童生徒の新体力テスト集計報告書を各部別・学年別に集計した。ただし、小学部については 5 年・6 年のみ集計した。平均値は、各校実施者数に各校平均値を乗じた数を合計し、これを総実施者数で除して算出した。

イ 調査項目

(ア) 盲学校

a 小学部 5 年・6 年

- | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20m シャトルラン | ⑥ 50m 走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部

- | | | | |
|--------------|---------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20m シャトルラン | 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m） | | |
| ⑥ 50m 走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(イ) 聾学校

a 小学部 5 年・6 年

- | | | | |
|--------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20m シャトルラン | ⑥ 50m 走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部・専攻科

- | | | | |
|--------------|---------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20m シャトルラン | 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m） | | |
| ⑥ 50m 走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(ウ) 知的障害特別支援学校

a 小学部 5 年・6 年

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部

- | | | | |
|-------------|---------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m） | | |
| ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(エ) 病弱特別支援学校

a 小学部 5 年・6 年

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | |
| ⑧ ソフトボール投げ | | | |

b 中学部・高等部

- | | | | |
|-------------|---------------------------|------------|---------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 20mシャトルラン | 又は 持久走（男子 1500m・女子 1000m） | | |
| ⑥ 50m走 | ⑦ 立ち幅とび | ⑧ ハンドボール投げ | |

(オ) 肢体不自由特別支援学校

小学部 5 年・6 年・中学部・高等部

- | | | | |
|-----------|---------|---------|------------|
| ① 握力（右・左） | ② 上体起こし | ③ 長座体前屈 | ④ 反復横とび |
| ⑤ 5 分間走 | ⑥ 30m走 | ⑦ スラローム | ⑧ ソフトボール投げ |

(3) 集計結果の見方

盲学校・聾学校・知的障害特別支援学校・病弱特別支援学校については、各学年男女別で在籍者合計、実施者合計及び各項目の平均値を記載した。

肢体不自由特別支援学校については、小学部 5 年・6 年・中学部・高等部それぞれ全体で在籍者合計、実施者合計及び各項目の平均値を記載した。

単位については、在籍者・実施者…人、握力…kg、上体起こし…回、長座体前屈…回、反復横とび…回、20mシャトルラン…回、持久走…秒、50m走…秒、立ち幅とび…cm、ボール投げ…m、5 分間走…m、30m走…秒である。

2 集計の結果

小学部 5 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	5	1	12.0	10.0	40.0	24.0	9.0	—	36.7	64.0	6.0
聾	16	16	14.7	17.2	34.1	36.8	31.1	—	10.6	142.4	16.4
知的障害	157	78	7.2	5.9	27.9	14.3	4.1	—	25.9	47.6	3.3
病弱	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	2	2	15.5	13.5	18.0	28.0	14.0	—	12.7	97.0	6.0
聾	11	10	13.1	14.2	31.4	31.7	15.2	—	11.0	119.5	11.1
知的障害	52	21	7.2	6.2	28.5	14.9	—	422.0	24.7	56.1	3.3
病弱	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

小学部 6 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	13.3	7.0	31.0	15.0	12.5	—	30.2	61.5	4.5
聾	12	12	17.2	19.2	33.4	35.3	24.6	—	10.6	130.1	18.0
知的障害	169	61	7.8	6.5	24.2	13.8	—	426.0	22.7	46.6	3.7
病弱	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	2	2	8.3	7.0	26.0	17.5	7.5	—	35.0	58.5	6.0
聾	10	10	16.4	15.3	32.7	34.1	18.9	—	11.7	123.8	11.9
知的障害	81	33	8.3	7.6	25.3	12.3	—	402.0	20.6	52.0	3.0
病弱	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

小学部 5・6 年男女

学校種別		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	5 分間走	30m走	ソフトボール 投げ	スラローム
肢体不自由	平均値	5.1	6.2	28.2	9.5	259.8	66.9	2.0	59.2
	実施者数	44	18	28	29	31	34	34	5
	在籍者数	119							

中学部 1 年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	3	3	17.0	16.7	42.3	39.0	26.7	—	10.9	148.0	8.0
聾	5	5	18.0	23.0	41.6	44.4	—	495.8	9.0	161.4	12.8
知的障害	257	141	10.1	9.1	26.5	18.1	7.7	861.7	20.5	88.6	5.2
病弱	2	0	11.0	—	—	—	—	—	—	—	6.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	16.0	17.5	35.8	37.0	24.5	—	11.2	132.0	8.5
聾	6	5	19.7	17.6	41.6	40.6	—	327.5	9.3	151.6	10.3
知的障害	97	53	10.2	8.8	32.6	18.5	6.9	702.0	20.5	72.5	4.6
病弱	2	0	15.0	—	—	—	—	—	—	—	4.0

中学部 2 年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	3	3	21.0	13.7	32.7	27.7	18.0	—	13.1	97.3	8.0
聾	20	18	24.2	21.2	34.3	40.5	—	509.6	11.2	159.7	12.1
知的障害	199	128	14.0	11.1	31.0	22.2	15.5	807.8	17.6	91.8	6.8
病弱	2	1	30.0	24.0	57.0	59.0	—	1229.0	8.8	225.0	28.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聾	14	13	17.7	16.8	37.1	37.7	—	415.1	13.7	136.1	10.7
知的障害	76	48	12.1	8.6	34.7	22.3	13.6	658.8	18.4	83.1	5.4
病弱	4	1	15.0	18.0	32.0	40.0	—	626.0	9.6	160.0	5.0

中学部 3 年
男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	5	4	25.7	21.8	39.8	44.5	47.8	—	9.0	162.3	9.3
聾	14	12	25.8	24.4	35.8	39.2	—	518.9	11.1	160.8	14.6
知的障害	188	120	15.3	11.5	31.2	21.6	25.2	824.4	16.7	101.4	7.2
病弱	2	1	31.0	24.0	56.0	50.0	—	610.0	8.2	225.0	30.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	15.0	11.8	36.8	20.5	12.0	—	25.5	53.3	3.8
聾	11	10	18.6	18.6	38.4	36.4	—	393.7	10.4	143.2	9.1
知的障害	89	49	10.9	8.9	35.5	19.0	11.8	661.0	19.7	75.7	5.0
病弱	3	1	15.0	15.0	26.0	31.0	—	538.0	9.8	166.0	9.0

中学部男女

学校種別		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	5分間走	30m走	ソフトボール 投げ	スローム
肢体不自由	平均値	11.2	10.0	32.3	12.3	291.5	30.1	3.7	44.2
	実施者数	100	45	75	84	79	86	96	10
	在籍者数	232							

高等部 1 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	5	5	29.2	21.8	41.0	37.4	33.2	—	12.6	158.0	12.0
聾	18	15	28.1	23.2	38.6	46.7	—	514.2	8.7	174.0	17.1
知的障害	493	324	24.9	16.6	34.3	33.6	32.6	606.0	11.7	143.3	12.5
病弱	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	5	5	17.6	13.8	42.4	29.4	17.4	—	20.5	109.0	6.6
聾	25	23	22.9	20.0	42.4	44.5	—	388.1	9.6	157.5	12.8
知的障害	199	126	17.7	11.8	35.8	29.2	15.7	495.9	12.8	114.9	8.2
病弱	3	0	22.0	7.0	38.0	—	—	—	—	—	5.0

高等部 2 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	7	6	29.3	24.0	39.2	39.9	32.9	—	17.1	131.9	13.7
聾	18	15	31.0	22.1	37.3	49.2	—	469.3	68.1	184.3	15.1
知的障害	516	392	27.0	17.4	34.0	35.9	39.3	554.0	10.5	157.1	14.9
病弱	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
聾	11	10	22.6	20.2	44.7	42.6	—	350.8	30.2	160.9	11.0
知的障害	227	149	17.8	11.6	34.5	28.8	19.8	461.5	13.8	110.1	8.6
病弱	1	0	—	—	—	—	—	—	—	—	—

高等部 3 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	4	4	23.8	20.0	40.0	27.5	24.5	—	21.2	127.3	12.3
聾	17	15	32.3	24.1	37.3	52.2	—	459.9	7.8	204.7	18.7
知的障害	466	340	26.2	17.7	34.2	35.3	56.4	590.4	12.3	150.6	14.0
病弱	3	1	28.5	19.0	35.5	44.0	—	716.0	10.0	182.5	10.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
盲	3	3	20.7	18.3	37.7	34.7	12.7	—	14.4	102.7	7.3
聾	11	10	25.0	24.3	41.2	41.7	—	378.8	11.5	151.8	13.8
知的障害	234	178	18.6	13.2	35.8	31.2	21.1	465.2	14.4	116.4	8.4
病弱	2	0	16.0	2.0	15.0	26.0	—	657.0	12.7	72.5	5.0

高等部男女

学校種別		握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復横 とび	5 分間走	30m走	ソフトボール 投げ	スラローム
肢体不自由	平均値	15.3	11.8	34.1	13.0	349.2	33.4	5.1	36.7
	実施者数	149	74	112	127	114	122	152	21
	在籍者数	284							

専攻科 1 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	4	4	42.8	31.8	55.0	59.5	—	353.3	6.7	205.0	27.0

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	5	3	20.6	18.2	33.0	43.3	—	335.0	9.0	143.5	11.8

専攻科 2 年

男子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	7	7	36.0	27.9	43.3	51.7	—	420.0	7.4	177.4	21.7

女子

学校種別	在籍者数	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

専攻科男女

学校種別	実施者数	握力	上体 起こし	長座 体前屈	反復 横とび	20m シャトルラン	持久走	50m走	立ち 幅とび	ボール 投げ
聾	15	32.4	25.2	41.5	48.7	—	357.3	7.1	166.2	19.8

Ⅲ 体力づくり優良校実践報告

運動大好き 上名の子の育成

名古屋市立上名古屋小学校

1 はじめに

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するためには、小学校期に「運動の楽しさや喜び」を味わうことが大切である。この時期に味わう「運動の楽しさや喜び」という経験は、運動好きな児童を育むだけでなく、成人になってからも運動を価値あるものとして位置付けられるようになると思えるからである。

スポーツ庁が発表した2023年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、小学校の体力合計点は令和元年度から連続する低下傾向が緩やかになった。新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和されたことにより若干の回復が見られるようになったが、蔓延以前の水準には戻っていないという結果であった。新型コロナウイルス感染症の影響で減少したと考えられる運動時間と運動習慣の回復や、その時期に低下した体力をいかに取り戻して、継続的な改善につなげていくことが課題となっている。そのため、本校が目指している「運動大好き 上名の子」を育んでいくことは極めて重要である。

2 実践の内容

(1) 実践のねらい

普段から運動する習慣が身に付いてない児童に、体を動かす機会を保障し、運動する楽しさを存分に味わわせていきたい。

学校教育で味わえる運動の楽しさとは、体育の授業を核として、技能を伸ばすことによる「できる喜び」や、それぞれの運動のもつ「特性に触れる喜び」を実感することにより実現できると考える。そこで、今年度は、「できる喜び」「特性に触れる喜び」に加え、「苦手意識の軽減」「意欲の向上」の4点をキーワードに「体育の授業」「業間の運動遊び」「外部講師の招へい」の三つの場面で実践を行い、運動好きな児童を育んでいく。

(2) 具体的な実践例

ア 体育の授業

5年生は、年間を通して「課題の解決に向かって、進んで運動に取り組むことができる」児童の育成を目指して実践を行った。

1学期、表現運動「イメージをふくらませて」の単元では、グループでの作品づくりを通して、体の使い方や、技能を習得する喜びを実感できるよう、課題や工夫を伝え合う活動を取り入れた。また、作品づくりに大切な「リズム」「ひねりや回転」「高低や前後」「仲間との関わり」の4つの視点を示し、思考ツールのイメージマップを使って色分けすることで、それぞれの要素が取り入れられているかをグループで考えさせる場を設けた。活動を通して、新たなイメージを膨らませ、友達と協力して表現活動する楽しさを感じることができるようにした。

2学期「マット運動」の単位では、伸膝後転の習得に向け、タブレット端末を活用して「正しい動きの映像」と「児童自身の動きを撮影した映像」を比較しながら活動した。また、自己の課題に対し、タイムシフト（自分の動きを確認）、コピー（手本動画や友達を見て練習）、レベルダウン（やさしい場での練習）、スモールステップ（ゆりかご、後転などで感覚をつかむ）の4つの活動の場を設定し、それらを選択させることで、主体的に技能の習得ができるように工夫した。



【写真1 マット運動の様子】

イ 業間の運動遊び

児童が日頃から楽しんで活動しているボール遊びについては、これまでの流れを継承し、ボールを新しいものに随時交換した。また、ダブルダッチのロープや鉄棒の補助具の貸し出しをすることで意欲を喚起した。11月末からは、「短縄選手権」というイベントを行い、縄跳びカードを配付したり、新技を紹介したりすることで、児童が達成感を感じながら、運動を楽しめるよう工夫した。この活動は、年度末に予定されている、クラス対抗での長縄選手権に向けた下地にもなっている。



【写真2 短縄選手権の様子】

ウ 外部講師の招へい

学校外から下記の講師や授業の補助者を招へいした。専門的な知識をもつ指導者や、専門的な技能を有する方々の来校が実現し、様々な指導等を受けることができた。

(ア) 体育指導員

1学期の早い段階で、名古屋市教育センターの体育指導員に来校を依頼し、「安全な授業」や「成長実感のある授業」「学習内容を明確にした授業」について学んだ。児童が主体的に学ぶための手立てや、学びに見通しをもち、振り返りながら学ぶ方法をその後の体育の授業に生かすことができた。

(イ) 大学生による授業補助

1学期より、中京大学の学生が体育の授業にT2の形で参加した。一人一人の児童に寄り添うように補助をすることで、苦手意識をもった児童が安心して活動することができていた。また、授業の準備を頼んだり、複数の指導者で体育の授業を行ったりしたことで、運動量の確保だけでなく、これまでよりも安全な活動につなげることができた。

(ウ) 障害者スポーツ体験

障害者スポーツ体験では、12月に4年生が体に障害がある方と一緒にボッチャを楽しんだ。活動を通して、児童は「体にハンディがあってもスポーツが楽しめる」と気付くことができた。このことは、児童の心に「誰もが運動を楽しめる」という確信をもたせることにつながる活動となった。

3 おわりに

上名古屋小学校の児童に身に付けさせたいこと、そして身に付けさせなければいけないことは従前と何ら変わっていない。今後も、運動好きな児童を育てるために、全職員で協働しながら進めていきたい。

進んで運動に取り組む正保っ子の育成

—なわ跳び運動で体力アップ—

名古屋市立正保小学校

1 はじめに

本校は、新型コロナウイルスへの感染対策やそれによる生活習慣の変化の影響により、休み時間になっても運動場で遊ばず、教室で過ごす子どもが増えていた。運動に取り組む子どもも、休み時間にボールを使った運動をする程度で、他の様々な運動に取り組む機会は少なかった。このような子どもたちの生活習慣の中に、少しでも運動に取り組む機会を増やし、体力の向上を図りたいと考え、実践を行うことにした。

実践では、昨年度から、個人で取り組みやすい短なわ跳びや集団で取り組み達成感を生み出しやすい長なわ跳びを中心に、運動を行う機会を意図的に設け、用具や学習カードも整備した。

今年度も、短なわ跳びと長なわ跳びを中心に、休み時間に進んで運動することを推奨するとともに、運動会での表現運動におけるリズムなわ跳びの発表や体育委員会の企画、外部人材の活用、様々な教職員や異学年の子どもが交流する長なわ跳びの遊びなどに取り組むことにした。

2 実践の内容

(1) 実践のねらい

ア 運動会におけるリズムなわ跳びの発表

本校の運動会では、競争遊戯の中に簡単な表現運動を取り入れ、保護者に向けて発表している。その表現運動の中にリズムなわ跳びを取り入れることにより、子どもが、日頃の取組の成果を発表することを目標として、主体的に短なわ跳びの練習に取り組むことができるようにする。



【写真1 リズムなわ跳びを披露する児童】

イ 体育委員会の企画

跳んだ回数に応じて、愛知県周辺の名所をめぐることができる「なわとびマラソンカード」を作成・配付し、自分のペースで短なわの前跳びに取り組むことができるようにする。前跳び以外の技にも取り組むことができるように、朝会時に、様々な技の跳び方を体育委員が紹介する。また、体育委員会が中心となって全校長なわ跳び大会を企画し、業前・業間に練習会を行ったり、低・中・高学年別に表彰したりする。この企画を行うことで、進んでなわ跳び運動に取り組む意欲を高める。

ウ 外部人材の活用

名古屋市教育委員会の「体力アップフレンド」を活用し、体育科の授業や休み時間に、大学生と一緒に運動することで、運動の楽しさを感じ、休み時間にも進んで運動に取り組むことができるようにする。

(2) 具体的な実践例

ア 運動会におけるなわ跳び運動の発表

3・4年生では、競争遊戯「レッツダンス！勝利の綱を引き寄せろ！」の中で、リズムなわ跳びを行った。子どもたちは音楽に合わせて、前跳びや後ろ跳び、かけ足跳びなど、日頃の取組の成果を楽しく、自信をもって披露した。当日に至るまでに、体育科の授業や休み時間において、子ども同士で声を掛け合いながら、技の練習に取り組む姿が見られた。

イ 体育委員会の企画

「なわとびマラソンカード」が配付された日から、短なわを持って運動場に出てくる子どもが多く見られた。また、「私は〇〇回跳べたよ。」や「もう名古屋市科学館まで行けたよ。」などという会話も聞かれた。カードの進み具合を、土間の掲示板に貼り出したことにより、一層、子どもたちの意欲を高めることができた。



【写真2 「なわとびマラソンカード」を活用する様子】

ウ 外部人材の活用

体育科の授業時には教師の指導の補助や子どもと運動を通してふれ合うことを、休み時間には運動場で子どもたちと一緒に運動をして遊ぶことを依頼した。特に、休み時間の活動では、子どもたちの中に入り、鬼遊びや短なわ跳びに取り組んでいた。休み時間になると、「体力アップフレンドのお兄さんやお姉さん、いますか？」と職員室に尋ねに来る子どもも見られ、体力アップフレンドと一緒に運動したいという子どもが増えてきている。



【写真3 体力アップフレンドと運動に親しむ児童】

3 おわりに

体育主任や教務主任を始め、多くの教職員が、休み時間に運動場に出て、「一緒に長なわ跳びをしましょう。」と呼び掛けると、様々な学年の子どもが集まってきた。まだ、長なわの8の字跳びに取り組んだことがない1年生に、教職員や上級生がなわに入るタイミングや跳ぶ場所を助言することで、跳ぶことができるようになったり、自然に連続で跳ぶことに挑戦するようになったりした。今では、休み時間になると、様々な学年の子どもが運動場で一列になって待っている様子が見られる。

教員の指導力向上を目的に、体育科の授業研究を行ったり、パラアスリートを招き、障害がありながらも、運動を通して夢を実現することの大切さを話していただいたりした。これらの取組は、必ず子どもたちの体力向上や、その先の豊かなスポーツライフをより有意義にする一助になると信じている。



【写真4 みんなで長なわ跳びに親しんでいる様子】

生涯にわたって運動に親しむ児童の育成

ー運動を楽しいと感じられる体育活動を目指してー

稲沢市立大里東小学校

1 はじめに

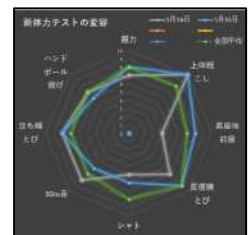
小学校学習指導要領における体育科の目標には、「体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指す」とある。

本校では「自他を大切にする子」、「互いのよさを認め合う子」、「考え行動する子」を目指す児童像として掲げ、体育授業や運動会などの体育的行事を工夫することで、体育科の目標に迫れるようにするとともに、児童の体力向上に努めている。しかし、本校の令和4年度の体力テストの結果では、5年生女子の体力合計点の平均値が全国平均に達していないなど、それぞれの学年・性別で体力に課題があることが分かった。そこで、令和5年度より体力向上のための取組を行ってきた。また、今年度は体力向上に加えて、児童が「運動が楽しい」と感じ、主体的、継続的に運動することを目指して、さまざまな取組を行った。

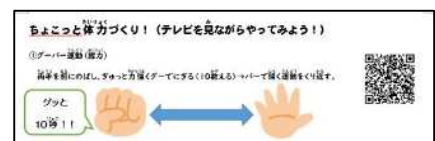
2 実践内容

(1) 体力ノートを活用した運動習慣づくり

児童自身が体力テストの結果を分析できるタブレット端末のアプリである「体力ノート」を活用した。このアプリはシートに自身の記録を入力すると、瞬時にレーダーチャートとなり、全国平均と比較することができる。このアプリを用いることで、自己の課題が視覚化でき、最も不足している体力要素も自動的に表示される。明確になった課題を解決するために、本校独自に作成したトレーニングマニュアル「ちょこっと体力づくり」や「あいち体育のページ」内の運動動画を活用して、継続的に運動に取り組めるようにした。その結果、児童が自分で課題を発見し、それに合った目標を立ててトレーニングを進め、進捗状況を分析するなど、その後に生かせるようになった。



【資料1 体力ノート】



【資料2 ちょこっと体力づくり】

(2) 体育の授業改善

体力テストの結果を踏まえ、今後どのように体育の授業を行っていくとよいかを学ぶために、中京大学の教授を講師に招き、教員対象の研修会を行った。「体力を高めるためのトレーニングではなく、子どもが運動遊びに夢中になることや、運動すると楽しいと感じさせられる授業にすることが必要である」ことを教わった。そこで、2学期からの体育の授業では、運動が苦手な児童でも楽しさを味わえる補強運動や、「なぜできないのか」を自分で考えた上で「できた!」と感じられる課題解決学習を行うことにした。加えて、アプリを継続的に活用し、常に自己の運動習慣に



【写真1 研修会の様子】

課題をもち、それらを解決できるよう工夫した。その結果、運動が苦手な児童も運動の楽しさ感じる
ことができ、積極的に体育の授業に参加するようになった。

(3) 家庭と連携した運動習慣づくり

本校では、保健指導の目標として「姿勢保持の体づくり」
を掲げている。児童は、よい姿勢とはどういうものか分かっ
ているものの、筋力不足のためによい姿勢を保つことはでき
ていない。そこで、体力テストに合わせて、目を閉じて足踏
みをすることによる姿勢のゆがみチェックを行ったり、雨天
時の休み時間に教室でできる体幹トレーニングを動画に合
わせて行ったりするなどの実践に取り組んでいる。また、子
どもの筋力不足を含めた体力低下の一因として、運動時間の減
少が考えられる。家庭における遊びの中で最も多いのはデジタルゲームであり、屋外で遊ぶ時間は大き
く減少している。そのため、家庭での運動時間は、意図的に設定しなければ確保できないと考え、夏休
み中に家庭で児童と保護者が一緒に取り組める体力づくりを紹介した保健だよりを、チェックカードと
ともに保護者に配付し、協力を依頼した。保護者からは「暑いので家の中で過ごすことが多かったが、
親子一緒に運動ができ楽しかった」などの声が寄せられ、大半の家庭でほぼ毎日体力づくりを続けても
らうことができ、家庭での運動習慣が少しずつ身に付いてきた。



【資料3 保健だより】

(4) 地域のトップアスリートを講師に招いた取組

本校のある稲沢市を拠点とするバレーボールチームのウルフドッグス名古屋や、ハンドボールチーム
の豊田合成ブルーファルコン名古屋から、選手やコーチを講師に招く取組を行っている。

ア ウルフドッグス名古屋のコーチによるバレーボール授業

今年度9月に、4年生でバレーボールの授業を行った。元プロ選
手であるコーチのスパイクを目の当たりにした児童は、歓声をあげ、
目を輝かせていた。「自分もそんなプレーをしてみたい！」とやる
気に溢れた児童は、正しい体の動かし方を学び、理想の動きがで
きるようになって運動を楽しんでいた。



【写真2 バレーボール授業】

イ 豊田合成ブルーファルコン名古屋の選手による講演会

同じく9月に、パリオリンピック日本代表選手を講師に招き、講
演会を行った。選手からオリンピックの様子や選手として普段から
努力していること、子どもの頃にどのような運動をしていたか、何
をすれば運動が上手くなったり、体力を高められたりするかなどの
話を聞き、児童は夢を抱き、運動への意欲を高めていた。



【写真3 ハンドボール選手講演会】

3 おわりに

児童の体力を向上させるためには、運動を継続的に行う必要がある。そのためには、児童が運動を楽し
いと感じ、自分から運動をしたいと思って、習慣化すれば体力が向上し、豊かなスポーツライフにつなが
ると考える。今後も学校、家庭、地域が連携し、よりよい運動環境を整えていきたい。

運動の楽しさを味わいながら、主体的に体力向上を目指す児童の育成

－楽しみながら思い切り体を動かすことができる体育活動の実践を通して－

長久手市立東小学校

1 はじめに

本校で例年実施している体力テストの結果を全職員で分析したところ、複数の学年で男女共に全国平均を下回る種目が多くあり、特に「50m走」と「上体起こし」に課題があることが分かった。この課題を解決するために、運動会前に「走」競技を重点的に練習したり、体力テスト測定前に児童一人一人が力を発揮できるように事前指導を行ったりした。

体力テストの結果を分析したことで、課題となる体力の要素は見えてきたが、体育の授業や休み時間の運動遊びでの児童の様子を観察すると、基本的な体の動かし方がうまくできていない児童が多くいることが分かった。体力向上のために様々な取組を実施しても、基本的な体の動かし方がうまくできないとそれ以上の体力向上は見込めないと考えられる。

そこで、本実践では、バランスをとる動きと体を移動する動きに重点を置き、楽しみながら思い切り体を動かす活動を通して、運動の楽しさを味わいながら、児童が主体的に体力向上を目指すことができる体育活動の取組を模索し、実践することとした。

2 実践の内容

(1) 体育の授業の導入における実践

ア 様々な体の動かし方を自然に身に付けながら体力の向上を目指すために、体育の授業の導入で、毎回、いろいろな動きを取り入れたランニングを実施した。10mの幅をジョギング、スキップ、両足跳び、バックステップ、切り返し走、後ろを向いた状態から振り向いてのダッシュ、寝転んだ状態からのスタートなどの移動系の動きやバランス系の動きをバリエーションを変えて行った。また、二人組でじゃんけんをして勝ち負けで追いかっこをしたり、全体で競走したりするなど、ゲーム性を持たせて楽しく取り組めるように工夫した。

イ 器械運動の授業の導入時には、主運動につながる補助運動を毎回取り入れた。跳び箱運動の「開脚跳び」の前には、両腕で跳び箱（床）をしっかり押す補助運動を取り入れて、跳び箱を跳び越す具体的なイメージを持たせるようにした。「頭はね跳び」に挑戦する前には、ステージと床の段差を利用して、体の動きを具体的にイメージできるようにした。バランスをとる動きと体を移動する動きを具体的にイメージして実際に体を動かすことで、自信をもって、運動に挑戦する姿が見られた。



【写真1 頭はね跳びの補助運動】

(2) 長久手市の取組を活用した実践

長久手市は、令和6年度より、愛知県テニス協会の協力を得て市内6小学校の3・4年生のゲーム「ネット型ゲーム」、5・6年生のボール運動「ネット型」の領域において、テニスを基にした種目「テニピン」（テニス+ピンポン）を扱うことにした。ネット型の種目として、ソフトバレーボールを採用している学校が多いが、「テニピン」はソフトバレーボールと比べて運動量が多い。また、プレーに慣れてくるとラリーが続き、白熱した試合展開になるため、児童は楽しみながら、意欲的に取り組むことができた。



【写真2 テニピンのプレーの様子】

(3) 外部講師による特別授業

スポーツ庁の「アスリート全国学校派遣プロジェクト（アスリーチ）」事業を活用し、シドニー五輪競泳女子200m背泳ぎ銅メダリスト中尾美樹さんによる特別授業を実施した。「全力をつくす」「仲間と共に楽しむ」「創意工夫する」の3つをめあてとし、体を動かす大切さや全力で取り組む楽しさ、仲間と共に取り組む楽しさを感じられる運動を、一緒に活動しながら教えていただいた。1つ目の運動は、二人組でじゃんけんに勝った人が、すごろくのように次のエリアに進み、ゴールを目指すゲームで、2つ目の運動は、一列に並んだグループの最後尾の人をボールでタッチする鬼ごっこであった。どちらの運動も、道具をほぼ使わず、体育館の半面程度の広さでできる運動で、児童は全力で友達と関わり合いながら、とても楽しそうに取り組んでいた。全身を動かすことができ、作戦を立てるなど創意工夫する場面があり、とても盛り上がった。



【写真3 中尾さんの特別授業】

特別授業では、中尾さん自身の体験談を通して、夢や目標に向かって、チャレンジすることの大切さについても教えていただいた。

3 おわりに

楽しみながら思い切り体を動かすことができる体育活動の実践として、体育授業の導入の工夫と継続、手軽に楽しむスポーツ（テニピン）への取組、外部講師による特別授業に取り組んだ。特に、体育の授業の導入で、バランスをとる動きと体を移動する動きに重点を置き、継続して実践したことで、児童の動きに変化が見られるようになってきた。以前はスキップもままならない児童が、隣の友達と手を繋いでスキップすることでリズムを掴むコツを習得し、一人でできるようになった。また、運動中の反応やスピードが明らかに速くなり、体の動かし方が向上した児童もいた。様々な変化がある中でも、一番の変化は持久力の向上だと感じる。以前は軽微な運動でも非常に苦しそうな様子も見られたが、体育の授業の導入で様々な動きを継続して取り組むことで、連続して主体的に運動に取り組む姿が見られるようになった。

今後も、運動の楽しさを味わわせる活動を工夫しながら、主体的に体力の向上を図ろうとする児童の育成を目指して実践を積み重ねていきたい。

運動する楽しさや喜びを味わい、自ら学びを深めていく子の育成

—主体性と多様性を大切にした活動を通して—

安城市立明和小学校

1 はじめに

本校では、『みんながわかる みんなで考える』を研究テーマに、「主体性」と「多様性」を大切にした授業や活動を目指している。体力向上に向けた取組においても、子どもたちが「もっとやりたい」「こんなことに挑戦してみたい」と思えるような授業づくりをしたり、環境を整えたりすることを重視している。子どもの思いを捉え、それらに寄り添った支援をすることで、主体性や多様性を大切に、全員が運動する楽しさや喜びを味わいながら、体力づくりへの意識を高められるようにしたいと考えている。

ここでは、研究テーマに迫るために、本校が継続して取り組んできた活動と、本年度より新しく取り組んだ活動の実践について紹介したい。

2 実践の内容

(1) 子どもの実態に合わせたオリジナル種目「コロコロバレー」の実践

4年生から6年生の体育科の授業において、4月下旬から「コロコロバレー」という単元に取り組んだ。コロコロバレーとは、本校教諭が4年前に考案したネット型ボール運動のオリジナル競技である【資料1】。この競技は、ボールを相手コートに転がして対戦することで、競技に対する不安を軽減し、誰もが躊躇なくゲームに取り組めるようになっていく【写真1】。考案した理由は、二次元（平面）で動くボールは、三次元（空間）を飛ぶボールと違い、操作が容易なため、運動が不得意な子どもでも抵抗なく積極的にボールを取ることができるからである。また、運動が得意な少数の子どもだけでゲームが進まないよう、チーム全員が参加するほど有利となるルールに設定し、一人一人が自己有用感を感じながら動くことができるようにした。この単元を通して、体力や技能の程度に関わらず、一人一人が素早く動いたり、腕を大きく振ってボールを打ったりする動作を仲間と共に行い、集団スポーツの楽しさを味わうことができた。



【資料1 ルール説明】



【写真1 コロコロバレーの授業の様子】

(2) 体育科授業における教科担任制の導入

令和5年度より、高学年の体育科の授業において教科担任制を導入している。体育科免許をもつ教員を中心とした専門性の高い指導を行うことで、子どもたちが運動の楽しさを味わい、学びを深めていく体育の学習を目指した。また、5・6年生の体育科担当教員間でも連携を取り、教材研究や実践した内容を情報共有することで授業の質を高めている。複数の教員で、試行錯誤しながら教材研究を進めることで、より良い授業づくりに向けて工夫や手立てを考えることができている。

(3) 体づくり運動「明和サーキット」の実施

令和4年度より、5・6年生は、体づくり運動の一環として「明和サーキット」という体力向上のための活動に取り組んでいる【写真2】。体育館内を九つのエリアに分け、それぞれのエリアに、「跳び乗る」「跳び降りる」「引っ張る」「投げる」「取る」「跳ぶ」「回る」「タイミングを合わせる」「バランスをとる」などの異なる運動種目を準備し、巡回しながら挑戦できるようにした。子どもたちは、4人一組で各エリアを回りながら、力加



【写真2 明和サーキットの様子】

減や踏み切り位置の相談をしたり、各自で目標を決めたりしながら、積極的に運動に取り組むことができた。多様な動きを繰り返し行う中で、試行錯誤をしながらより良い動き方を工夫したり、新たな動きに挑戦したりする子どもたちの姿が見られた。このような活動を通して、子どもたちは運動の楽しさを味わいながら、目標をもって自らの能力・技能を高めることを意識できるようになった。

(4) 体育委員会による「体力テストチャレンジ」の実施

令和3年度から、体育委員会が毎年2月に「体力テストチャレンジ」を企画し、各自の体力テストを実施している。体力テストの種目から週ごとに実施する種目を決め、自由に児童が挑戦できるこの企画は、どの学年にも好評であり、子どもたちの楽しみの一つでもある。多くの種目に挑戦して、自分の得意な種目を見付けようとする子どもが多く見られた。また、体育委員会が学年ごとに具体的な目標スコアを提示したり、毎週の測定記録を蓄積していくスコアシートを作成したりすることで、よりよい記録を目指して何度も挑戦する姿が見られた。さらに、低学年の子どもたちにとっても、体力テストで挑戦したことのない種目（20mシャトルランなど）を体験する機会にもなり、各自が目標をもって様々な体力テストの種目に取り組み、自分の能力を振り返ったり、目標を設定したりする場となった。

(5) 子どもたち発案の教員チームとのスポーツ対決の企画

近隣の地域では、サッカークラブが盛んであり、本校でも多くの子が休み時間にサッカーを楽しんでいる。そのような状況の中、6年生を中心とした子どもたちから「本校教員とサッカー対決をしたい」という企画が提案された。子どもたちは実施に向け、対戦日程を決めたり、運動場の使用許可を取ったり、全校に宣伝して観客を集めたりした。試合当日は、全校児童が応援にかけつけ、一生懸命プレーする子、友達や担任の先生を応援する子、審判として試合をサポートする子など様々な形でスポーツを楽しむ姿が見られた。この企画をきっかけに、体育の授業で取り組んだバスケットボールの対決も企画された。このような子どもたち主体の活動を認め、取り入れることで、子どもたちがスポーツに親しみ、「やってみよう」という気持ちを育てている。

3 おわりに

体育の授業や委員会の企画、スポーツ対決等を通して、子どもたちの「もっとやりたい」「やってみよう」という思いを引き出すことができた。特に授業では、単元構想やルールを工夫することで、体力や技能の程度に関わらず、子どもたちが自ら動き出そうとする意識を育むことができた。今後も、一人一人が主体的に運動に取り組み、考え続ける授業づくりを目指したい。そのためには、子どもたちの「やってみよう」を実現できる場を設定し、「いろいろなことに挑戦してみよう」という意欲を高めていかなければならないと考えている。

自ら動きだし、運動に取り組む子の育成

ー外遊びの充実と授業実践を通してー

豊川市立御津北部小学校

1 はじめに

本校では、校訓「本気デアレ」のもと、重点目標である「夢をもって社会をたくましく生き抜く～自己有用感をもてる子の育成～」を目指して教育活動を行っている。令和元年より4年間、健康づくり推進学校として児童の体・心に視点をおき、体や心の健康増進を目指した活動に取り組み、令和4年度には、全国健康づくり推進学校優良校として表彰を受けた。睡眠やメディアとの付き合い方を中心に活動を行ったが、同時に児童の体力維持・向上を目指し、体力づくりに関する取組も実践している。

全校児童は180名の小規模校で、単学級のためクラス替えがなく、同じ仲間で生活をしているため、優しく穏やかな児童も多く、落ち着いているが、ひとたび友人関係が崩れると回復が難しいという点も見られる。ペア学年との活動を通して、思いやりや責任感を育むとともに、誰かに喜んでくれた、必要とされたという自己有用感をもてる子の育成を目指した取り組みを行ってきた。

2 実践の内容

(1) 休み時間における外遊びの充実

「体を動かすのは体育の授業だけ」ではない子どもたちを増やすために、外遊びしたくなるような活動を目指して働きかけを行ってきた。第2時限と第3時限の間の長い休み時間を「太陽の時間」とし、外遊びを推奨する時間とした。また、昼休み時間には、ペア学年で一緒に遊ぶ「なかよし遊び」の時間も設定してきた。「なかよし遊び」では、上学年が体を使って遊ぶゲームを企画し運営も行った。ペアで一緒になって体を動かし、大いに盛り上がる時間である【写真1】。上学年は、下学年を楽しませることができたという思いや、下学年からの感謝の気持ちから自己有用感を感じる子どもも現れ、より充実した「なかよし遊び」を企画するエネルギーにもなった。また、今年度最後の「なかよし遊び」は、今までのお礼に下学年が企画した遊びを行う予定である。さらには、企画のない時間には、担任も子どもたちと一緒に外で遊ぶことで、学級の子を自然に教室から連れ出すようにしている。春の暖かい季節には、担任が一緒になって力いっぱい走る姿も見られた。



【写真1 なかよし遊び】

外遊びに楽しさを感じた子どもの多くは、登校後に朝遊びをしたり、下校後に運動場を開放することで来校し、きまりを守って遊んだりしている。この活動が、体力づくりにどれほど関係するかは不明だが、「体を動かすのは体育の授業だけ」ではない子の育成につながっている。一人一人の子どもに目が行き届く、小規模校のよさが表れていると感じるため、今後も継続していきたい。

(2) 教科としての取り組み

体力テスト測定前には、「あいち体育のページ」の動画をいつでも見られるように、子どもたちのタブレットにショートカットを作った。技能を高めるための動画を参考に、体育の授業に取り入れた。紹

介されているコンテンツが児童にとって親しみやすく、生き生きと活動する姿が見られた。さらに、より難易度の高い種目に取り組んでみようという意識も高まり、楽しく体力づくりの実践ができた。

今年度、MLBの大谷選手の活躍により、野球熱は増しているため、体育の授業でTボールの単元を行った。授業では、昨年度、大谷選手から寄贈されたグローブも使用し、加えて新しいボールやグローブを用意したことで、授業への意欲をより高めることができた。新しいグローブは、まだ扱いにくく、捕球が難しくなる場面もあったが、「投げる」、「捕る」の動きを楽しみ、意欲的に活動する姿が見られた。手に取って使ってみたくなる道具を準備することも、子どもが主体的に運動に取り組もうとするための一助になるものと考えられる。

Tボールの学習では、本校教諭の専門性を生かしたポイント指導を行った【写真2】。学生時代に女子ソフトボール部に所属し、エースピッチャーとして活躍した教諭に協力をしてもらい、T2として、ボールの投げ方や打ち方のポイントを指導してもらうようにした。経験者からの的確で丁寧な指導により、児童も真剣にアドバイスを聞き、自分の動きを何度も確認する姿が見られた。また、体育に苦手意識を持ち、積極的に取り組めなかった児童も、笑顔でいきいきと練習やゲームに取り組む姿が見られた。今後、様々な種目の経験者、専門家を講師として招き、指導を仰げるように人材バンクの活用を図っていきたい。



【写真2 球技経験教師による
ポイント指導】

(3) 跳び箱チャレンジ期間の設定

10月上旬に跳び箱チャレンジ期間を設定し、全校で同時期に跳び箱運動に取り組んだ。跳び箱運動の単元では、準備や片付けに時間がかかり、練習時間が少なくなってしまうたり、低学年では、跳び箱の運搬に危険が生じることを解消するために、2週間程度の期間を定めて、常時体育館に跳び箱やマット等を配置した。また、跳び箱チャレンジ期間を設定することで、どの学年も跳び箱運動に取り組むことから、職員間で指導方法や安全への配慮などの情報を共有しやすくなり、より安全で、効果的な指導ができた。

じっくりと跳び箱運動に取り組む時間を確保したことで、子どもたちはより多くの練習を重ねることができ、発展技に挑戦したり、より美しく跳ぼうとしたりするなど、技能面の向上が見られた。また、跳び箱運動が楽しいと考える子どもが増え、効果的な取組であったと言える。

また、練習では、タブレット（タイムシフトカメラ）を利用した学習を行うことで、自分の姿を確認することができるように工夫した。これにより、踏み切る位置や手をつく位置を確認したり、台上前転では背中丸め方を意識したりすることができ、より美しい演技のためにアドバイスをし合う姿が見られた。演技後、直ちに自分の演技を確認させることで、繰り返し挑戦する意識も高まったと感じた。

3 おわりに

今後も、自ら動き出す児童を増やすためのきっかけづくりを大切にしたいと考えている。新年度に教師がどのように子どもたちと関わるかで、体力づくりへの意識は変わると考えているため、積極的に子供たちが自ら動き出すよう働きかけたい。また、仲間とともに体を動かすことで、友達や下級生の役に立ったという経験を多く積み、高い自己有用感をもたせながら、挑戦や努力の過程を大切にできる、明るく元気な子の育成に努めていきたい。

判断力を高める体育学習の実践

－ I C T 機器の活用を通して－

名古屋市立高杉中学校

1 はじめに

本校では、判断力を高めることで運動の技能向上を目指す生徒を育てたいと考えている。本校が考える判断力とは、運動をしているときに状況を把握して動き方を決定する力や自己の課題に応じた適切な練習方法を選択する力である。その中でも、運動をしているときに状況を把握して動き方を決定する力を高めることが、技能の高まりにつながるようにしたいと考える。

本校の球技において、ゲームの中でつまずきを感じている生徒の多くは、味方や相手、ボールの状況を把握することができずにいるため、動き方を決定することができないと思われる。状況を把握することができない原因は、二つあると考えており、一つは、球技では刻一刻と状況が変化するため、瞬時に状況を把握できないことである。もう一つは、ゲームの中で守備者が接近することやボールを操作することに不安を感じているため、落ち着いて状況を把握できないことである。このようなことが原因となり、状況を把握して動き方を決定することができず、技能が高まらなかったと考える。

以上のことから、本校では、体育学習において、運動をしているときに状況を把握して動き方を決定する力を高めることができる生徒を育てたいと考える。

2 実践の内容

(1) 実践のねらい

運動しているときに、状況を把握して動き方を決定する力を高めるためには、状況把握の方法やタイミングを知識として学ぶことが大切である。これらの知識を基にして、味方や相手、ボールの位置を見る経験を積み重ねることで、状況を把握することができるようになり、動き方を決定することができるようになると思う。しかし、球技におけるゲームでは、守備者が接近することやボールを操作することに不安を感じているため、落ち着いて状況を把握することができず、動き方を決定できないことがある。そこで、判断させたい場面の映像を教師が用意し、生徒に視聴させて動き方を確認した後、実際のゲームに取り組むことで判断力を向上させることができると考える。このような学習過程にすることで、動いているときに早く正確に判断できる生徒を育てていきたい。

昨年度は、ゴール型球技において、空いている空間と守備者の位置からショートパス、ロングパスの判断をする実践に取り組んだ。その結果、生徒のパスミスが減り、ロングパスから速攻型のゲーム様相とショートパスからコートを広く使ったゲーム様相が見られるようになった。そこで、今年度は、簡単な2択の判断ではなく、ゴール型球技の特性である「人数のかけひき」が適切に判断することができるようにしていきたいと考えた。そのために、空いている空間がどこにあるのか理解して動けるようにしていきたい。また、ゲームで必要となる基礎基本の技能を身に付けられるように、映像から動き方を決定し、ゲームで必要な技能を使うことができるウォーミングアップにも取り組ませていくこととした。

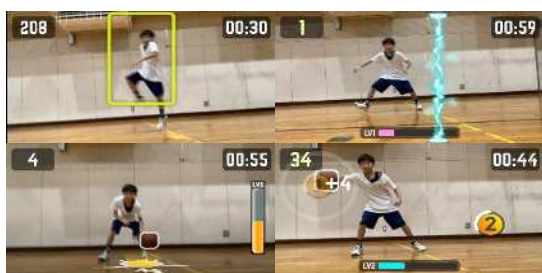
このように映像から動き方を決定する活動を行い、ゲームに取り組ませることで、学んで得た知識を活かしてゲーム場面で動き方を決定することができ、技能の高まりにつながると考える。

(2) 具体的な実践例

本実践では、映像から動き方を決定できるようにする教材の工夫と、ゲーム場面で動き方を決定することができる学習過程の工夫をすることで、ゴール型球技の単元において判断力を高めることを目指した。

ア 視覚の情報から動き方を決定できるようにする教材の工夫（手立て1）

まず、早く正確に動き方を決定することと、基礎・基本的な技能を向上させることを目的に、練習をサポートしてくれるアプリケーションを用いてウォーミングアップに取り組んだ。資料1は、基礎・基本的な技能を使うコーディネーションである。ゲーム感覚でできるため、どの生徒も楽しそうに取り組んでいた。その後、ゲームにおいて空いた空間を素早く見付けて攻撃できるように、平面と俯瞰の映像を同時に見せ、ボール保持者と非ボール保持者に分けて、どのように動くかを決める活動に取り組ませた。



【資料1 アプリを使ったコーディネーション】



【資料2 平面と俯瞰の映像の活用】

空いている空間を見付け、走り込む

イ ゲーム場面で動き方を決定することができる学習過程の工夫（手立て2）

手立て1の後にゲームに取り組ませる学習過程にすることで、動き方を早く決定することができるようにした。そして、ゲーム中は俯瞰映像を録画し、振り返り活動において空いた空間を活用して攻撃できていたかを振り返るようにした。振り返りでは、ゴール型球技の特性である人数のかけひきを意識して、「空いた所（空間）から攻めることはできているが、1対1になっている。

ここでもう一人走り込んでもほしい」と仲間に伝える姿が見られた。

3 おわりに

資料3は、ゲーム場面における生徒の変容を表したものである。

第3時は、空いた空間から守備者より多い人数で攻撃を展開し、シュートが成功した割合は34%であったが、第8時には、シュート回数も増え、割合も55%に増えた。このことから、手立て1の後にゲームに取り組むことは、周りを見るタイミングや位置が明確になり、視野を広げることにつながり、生徒の判断力が向上したと考える。また、生徒の感想の記述から、昨年度身に付けた動き方もゲームに取り入れ、技能面でのミスも減ったことがわかる。今後も、判断力を高めることで技能を向上させる生徒の育成に力を注いでいきたい。

	第3時	第8時
シュート回数	10本	15.4本
成功した割合	34%	55%
失敗した割合	66%	45%
※ 1試合6分のデータ（平均）		

【資料3 生徒の変容（判断力）】

自らを知ること、自己の変容に気づき、 次への学びにつなげる生徒の育成

－見通しをもち課題を追究する単元計画を通して－

東浦町立東浦中学校

1 はじめに

運動習慣の二極化が問題視されているが、本校でも授業や部活動などでの生徒の様子から、運動をする習慣が定着していない生徒が増えてきている。部活動は全員参加制から自由参加制になり、部活動時間の見直しも行われていることから、二極化がさらに深刻化すると推測される。今後は、保健体育科の授業での運動経験がより重要な役割を担うことになると考えている。そこで、本校では生徒自身が見通しをもてる単元計画に力を入れた実践や、教材・教具などの充実、授業形態を工夫した保健体育科の授業を通して、課題に向き合い、自己の学びや変容に気付ける生徒を育てていきたい。

2 保健体育科の授業実践

(1) 生徒との単元計画の共有

各単元の初めに単元計画を生徒に配付し、単元の目標や見通しをもたせるようにしている。単元計画には、自由進度学習の手法を盛り込み、以下の工夫をしながら一人一人の学びにあった授業を展開した。

- ・生徒が目標を自己設定することで、粘り強く学習課題に取り組ませる。
- ・級友や教員・教材等との関わりを通して、自ら学びを調整できるよう学習支援の充実を図る。
- ・学習段階に応じた練習方法を提示し、生徒が選択して主体的に取り組める学習環境や資料を整える。
- ・教師が単元を通して「身に付けたい力」を1つ提示し、生徒が授業で追究し続ける。
- ・生徒自身のタイミングで振り返りを行い、気付いたことや学んだことを書き溜めることで、自分の変容に気づき、次のステップで生かせるようにする。

(2) 教具の活用

水泳では、教具の充実を図ることで授業形態を多様化させ、体力や技能の程度に関係なく泳ぐことを楽しむ生徒の育成を目指した。

水泳を苦手としている生徒は、脱力して浮力を受けることができなかったり、推進力の弱い泳ぎになったりするため、その補助として、フィンを活用することとした。フィンを活用して泳ぐ【写真1】



【写真1 フィンを活用して泳ぐ生徒】

と、推進力が高まり揚力が増すことや、ストリームラインの改善などにつながり、よい姿勢維持に効果的であり、動きを修正することで、スムーズに効率的な息継ぎを身に付けさせることができた。また、フィンなしでは実現が難しい横向きキックや片手ストロークなどのドリル練習を行うことで、泳ぐ楽しさを味わわせるとともにクロールの泳力向上を図り、1年生では、8割以上の生徒がフィンを使わずに25mを泳ぎ切ることができた。さらに、速く泳いだり、長く泳いだりするために、プルブイやパドルも活用した。プルブイを使用し下腿を力強く締め付けることで下半身が安定し、上半身のプルの動きに集中させた。また、パドルを使用することで、手のひらで水の抵抗を感じながら、上肢のどの位置で水を捉えられるかに気付くことができた。教具を活用することで、自己の動きの変容に気づきやすく、少な

いストローク数で速く、長く泳ぐなどの技能を高めることができた。

(3) 授業形態の工夫

ア 3年生の授業実践

中学校学習指導要領解説保健体育編において、「第3学年では、第1学年及び第2学年での全ての領域の学習の経験を踏まえ、更に追究したい領域、新たに挑戦したい領域、課題を克服したい領域など、選択した領域に応じて運動の



【写真2 球技（ゴール型）種目選択の様子】

楽しさや喜びを味わうことが大切である」と示されている。そこで、球技（ゴール型）において、バスケットボール、ハンドボール、フットサルから種目選択を行い、自己の興味や関心の高い種目の学習に取り組んだ。生徒は、自分の得意な種目を選択することが多いことから、通常の授業よりも技能差が少なく、バスケットボールやハンドボールではキャッチからのスロー、フットサルではトラップからのキックが素早いなど、パス展開の速いゲームや攻守の切り替えの速いゲームを行うことができた。また、攻守が切り替わった瞬間に相手をマークしたり、そのマークを振り払おうとスペースに走り込んだりするなど新たな課題に直面し、それを解決しようと練習に取り組むことで技能が上達した。

また、陸上競技と体づくり運動を関連させ、2クラス合同で4種目（走り幅跳び、ジャベボール投げ、30m走、800m走）を実施した。1・2年生で学んだことを生かし、過去の自分を振り返ることで課題を設定し、課題解決のためにタブレットを活用した。具体的には、自分の跳躍や投擲のフォーム、スターティングブロックの使い方などを撮影して見本の動画と比較し、客観的に分析することで、動きの修正点を明確にした。試技を繰り返し、体の動かし方について課題を追究し続けた結果、記録が向上した。

イ 1年生の授業実践

走り幅跳びの授業を行う際に、砂場が狭いことから、待つ時間が長くなり、運動量が減ることが課題となっていた。また、体力テストの結果をから、投力に課題があることが分かったため、陸上競技の授業において、走り幅跳びとジャベボール投げ【写真3】を行った。2種目を行うことで、「走る」「跳ぶ」及び「投げる」の陸上運動に求められる基本的な動きや効率のよい動きを身に付けさせることができた。特に、普段扱うことの少ない「投げる」技能が向上することで、球技におけるパスやシュートのスピードが強く速くなるなど、ボール操作の上達が見られた。



【写真3 ジャベボール投げ】

3 まとめ

単元計画を共有し、見通しをもって自己決定をする場や、スモールステップで「できた」を体感できる環境を整えることで、生徒が主体的に課題解決し続けるようになった。「できた」という体験が次の学びへつながり、自己の学びを調整する姿が見られ、授業形態を工夫する重要性を改めて実感した。一方で、設定した課題と技能レベルが乖離し、課題を解決できずに次の学びにつなげられなかったり、解決に時間がかかったりする生徒もいた。今後は、生徒が自らを的確に認識し、自己に合った課題を設定できるようにするための手立てを考え、常に「できる」の連続となり、自己の変容をより気付きやすくするための単元計画を追究していきたい。

心と体を一体としてとらえ、 豊かなスポーツライフの実現を目指す生徒の育成

西尾市立福地中学校

1 はじめに

本校の生徒は、保健体育科の授業において、活動時間を十分に確保するためにすばやく準備をしたり、仲間と協力して技能を高めようとしたりする姿が多く見られる。また、運動に取り組んだことによる気づきを文章や言葉で仲間に伝え、学び合う姿も見られる。このように、授業で意欲的に運動に取り組む姿が見られる一方で、苦手な種目になると、「できない」が先行してしまい、消極的になる場面も見られる。そこで、ICT機器を活用し、できるイメージがもてない運動に対しても、自己の課題を理解させ、他者との情報共有の中で自分に必要な技能を取捨選択することで、より意欲的に活動することができるのではないかと考える。また、生徒一人一人が、課題解決に向けて自らの学びを調整しながら運動に取り組むことで、課題となる技能も向上し、粘り強く挑戦する姿に変わると考える。そして、自ら運動に親しむことで、体力の向上とともに、豊かなスポーツライフの実現につながることを期待したい。

2 実践の内容

(1) 授業における「課題解決への取組」

ア 目的に応じたチーム編成の工夫

課題を解決しやすくするためには、仲間の考えや情報を有効活用することが必要である。そこで、どの単位においてもチーム編成をし、仲間同士で課題解決に向けたアドバイスをし合えるようにした。チーム競技では、チームや個人の課題について、個人競技であれば、個人の課題について自分の視点だけではなく、他者の視点を取り入れることで、視野が広がり、練習や試合に主体的に取り組めるようになった。特に、運動に苦手意識をもつ生徒は、どのように動いてよいかわからない場面に遭遇したときに、仲間の視点があると、自分の課題に気づき、課題解決に向けて、仲間と努力する姿が見られた。

イ ICT 機器の活用について

タブレットを活用して、自己の考えを基に、仲間の考えや情報の中から自分に必要なものを取捨選択し、新たな考えをもたせることに取り組んだ。例えば、球技（ゴール型）においては、得点をとるためにどのような動きをすればよいか考える中で、タブレットで撮影した自分たちの動きを仲間と一緒に確認し話し合うことで、新たな考えをもたせ



【写真1 仲間へアドバイスの様子】



【写真2 タブレットを使って動きの確認をする様子】

ることができた。このような活動を繰り返すことで、新たな解決方法を見いだすことができ、課題解決にむけて粘り強く挑戦する姿に変容した。

ウ マラソン大会の実施

12月に1・2年生で持久走の授業を行った。普段の授業は、クラスごとに行っているが、単元のまとめとして、1・2年生合同マラソン大会を実施することにした。【写真3】初めは走ることに消極的だった生徒も、マラソン大会が企画されたことで、タイムや順位などの目標を決めて、授業に主体的に取り組むようになった。生徒自ら目標を設定し、主体的に授業に取り組むことで、タイムを向上させることができ、結果として体力向上につながった。



【写真3 マラソン大会の様子】

(2) 保健分野の授業の充実

心と体の一体感を実感できるように、体育分野と保健分野の授業をより関連させながら授業を実践した。保健分野にある「心身の発達と心の健康」の単元において、養護教諭による授業を実践した【写真4】。生徒は、心と体が密接に関係していることを実感するとともに、運動する心地よさを味わうことが心にもよい影響があることを学ぶことができ、心と体の繋がりを大切にしていこうという気持ちの高まりが見られた。



【写真4 保健分野の授業で話し合う様子】

今後も、体育分野と保健分野の授業のつながりを充実させながら、生徒が主体的に運動したいと思える授業方法を展開していきたい。

(3) 委員会での取組

給食委員会が2学期に「9分間チャレンジ」を行った。これは、4時間目終了後9分以内に給食の配膳を終わらせることを目指すものである。この取組により配膳にかかる時間が短縮され、余裕のある食事時間を確保できるようになった。その結果、和やかな雰囲気会で食できたり、自然とおかわりの量が増えたりして、体づくりに欠かせない食事に対する意識の変化が見られた。

	12月1日	12月2日	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日	12月8日	12月9日	12月10日	12月11日	12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	12月17日	12月18日	12月19日	12月20日	合計
101	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
102	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
103	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
201	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
202	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
203	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
301	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
302	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...
303	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

【写真5 9分間チャレンジの集計表】

3 おわりに

学校生活を通じた実践を行い、授業や各委員会の取組で体力づくりに励む生徒の姿が見られた。どの活動に対しても積極的に参加することで、心身の健康の保持増進につながったと考える。今後も、生徒が運動に親しみ、体力づくりに励むことができるような実践をするために、場の工夫や単元の導入の工夫などをして、主体的に体力を高め、豊かなスポーツライフの実現を目指す生徒を育成していきたい。

体を動かすことに喜びを感じる生徒の育成

—仲間とともに運動に親しむ行事を通して—

新城市立八名中学校

1 はじめに

本校は新城市の南部に位置している全校児童 125 名の小規模校である。1 学年 30 名～50 名であり、学年の壁を越えて生徒同士の仲が良く、協力して活動ができる。また、縦割り班活動の機会を多く取り入れることで、上級生が下級生に教える姿をいたるところで見ることができる。しかし、近年、新型コロナウイルス感染症の影響や、部活動の活動時間が短縮されたこともあり、運動する時間が減少し、体力の低下が懸念される。教育活動においても、自身の運動能力に自信がなく、運動に消極的な生徒も少なからずいる。

そこで、「団結力がある」「競争心が強い」という生徒たちの長所を生かした行事を設定し、体育の授業だけでなく、全校で運動に親しむ時間を作り出すことに心がけた。また、運動を通して主体的に活動に取り組む生徒の姿を引き出し、本校の教育目標「感動・創造・貢献の喜びを共に」を目指す生徒の育成につなげたいと考えた。

2 実践の内容

(1) 体育的行事における実践

ア 八名中駅伝フェスティバル

本校では、12 月上旬に駅伝フェスティバルを開催しており、各チーム 8～10 人程度の縦割りチームで、学校周辺の道路約 1.6 km を走る。区間は 6 区とし、複数人で一緒に走る区間を設けることで、苦手な生徒も自信をもって走り切ることができるようにした。3 年生が中心となり、チームごとに走順を話し合いで決め、本番の 2 週間前からは授業後に 15 分間、グラウンドやランニングコースで練習を行った。チーム別で練習することにより仲間意識が芽生え、みんなで挑戦するという意欲が高まった。また、時間走にすることで、個人のペースで走ることができ、持久走に消極的な生徒も最後まで走り続けることができるよう工夫した。



【写真 1 駅伝フェスティバルの様子】

イ 体育大会での長縄跳び

体育大会の種目の一つである長縄跳びは、学級対抗で連続して跳んだ回数を競う。夢中になって跳び続ける姿から、優勝や学級のベスト記録更新などの目標に向けた真剣な思いが伝わってきた。また、体育の授業や学級活動だけではなく、休み時間を利用して練習する姿も多く見られた。各学級で声を出し合い、タイミングを合わせてなるべく長く跳び続けられるよう練習に励み、体育大会当日は、ベスト記録を更新する学級がほとんどであった。



【写真 2 学級対抗長縄跳びの様子】

(2) 授業における実践

ア 授業の学びを生かす

体育のダンスの単元では、学年ダンスコンテストを単元の終わりに設定した。練習では、コンテストへ向けて、ダンスが得意な生徒が中心となって、振付や立ち位置を考えながら、完成度を高めていく姿が見られた。ダンスを始めたばかりの頃は、表現することに消極的になっている生徒も見られたが、コンテストが近づくにつれ、積極的に取り組んだり、振付について意見を伝えたりするようになった。このように、発表場面を設けたことで、よりよい表現をしたいという思いをもたせ、生徒の主体的な活動につながったのではないかと考えている。コンテスト当日は、笑顔でダンスをしたり、手拍子をして盛り上げたりする姿が見られ、良い機会となった。また、学年の全員が祈るように審査結果を待っている姿からは、コンテストに向けて必死にダンスの練習に取り組んだ思いが伝わってきた。



【写真3 学年ダンスコンテストの様子】

イ タブレット端末の活用

授業において、タブレット端末を活用して動画を撮影し、手本と比べたり、改善点を発見させたりしている。動画は、途中で止めたり、スローで再生したりすることができ、自分の体の動きが可視化できる。器械運動の単元では、動画を見ながら動きのイメージを共有し、互いにアドバイスし合う姿が見られた。生徒は、動画を途中で止めて動きを確認しながら、改善点や意識するポイントを共有するなど、活発に学び合っていた。タブレット端末を活用した学習を通して、できなかった技を習得した生徒が、仲間とともに喜び合う姿が印象的であった。



【写真4 生徒が撮影した動画の様子】

(3) 学校環境における実践

校庭にランニングコースを設置しており、授業前や部活動で利用するなど、体力づくりを継続的に行っている。ランニングコースは、コンクリートの上に滑り止め塗装されており、天候の影響を受けにくい。また、1周450mと距離が長いので、1周走るだけでも十分なウォーミングアップになる。本校では、休日にも運動場やランニングコースを開放しており、生徒が自由に運動する姿が見られる。



【写真5 ランニングコースを走る様子】

3 おわりに

体育の授業や体育的行事、部活動において、仲間とともに運動に親しめるような機会を設けたことで、互いに励まし合い、声を掛け合いながら、積極的に取り組む生徒が増え、技能向上につながった。また、できた喜びを仲間と共有する中で、生徒たちは達成感を感じ、仲間のために貢献することの喜びにつながった。

今後は、部活動の時間が減っていく中、体育的行事の少ない時期に、生徒がいかに自主的に運動をすることができるかを課題として考えていきたい。また、習い事や部活動がなくなっても、将来的に日常生活の中に運動を自ら取り入れられる生徒を育てるために、楽しんで主体的に運動に取り組もうとする意識づくりに尽力していきたい。

生涯スポーツや体力の向上を目指した活動

ー体育授業の充実、体育的行事などを通してー

愛知県立熱田高等学校

1 はじめに

本校は、1953 年（昭和 28 年）に熱田空襲で攻撃対象となった愛知時計電機の跡地に第二次世界大戦後初の愛知県立高等学校として開校した。そのため、校庭には空襲で損壊したがれきなどが埋まっており、開校当初は雨などが降ると運動場にがれきが露出し、除去する必要が生じたが、令和 4 年には創立 70 周年を迎え、創立記念事業としてグラウンドが人工芝に生まれ変わった。現在は、全日制普通科 24 学級、定時制普通科 4 学級が設置され、文武両道を掲げ、生徒は勉学のみならず部活動にも熱心に励んでいる。部活動では、昨年度に続き、陸上競技部から 2 名の全国大会出場者を輩出することができた。また、サッカー部などは、県の上位を目指して多くの部員が活躍している。生徒会活動も活発で、体育祭や年 2 回の球技大会など様々な学校行事を通して充実した日々を送れているとともに、これらの行事が体力向上に寄与しているとも考えている。

2 授業カリキュラムについて

本校は、火・水・金曜日が「50 分授業×6 時限」で、月・木曜日は「50 分授業×7 時限」の授業を展開している。科目「体育」の単位数は 1 年生が 3 単位で、2、3 年生が 2 単位である。また、総合的な探究の時間でも、健康（スポーツ）に関する講座を開講しており、様々な場面で運動の機会を確保している。

3 実践の内容

(1) 体育授業の充実

年間を通じて各種目の主運動の前に、ランニング、準備運動、補強運動に加え、種目の特性に応じたストレッチや補強運動を追加して行うことで、安全面への配慮や体力向上を目指している。

選択種目の陸上競技では、すべての陸上運動の基盤である「走り方」を重点的に取り扱うことで、球技等の他の運動種目のパフォーマンス向上にもつなげる工夫をした。例えば、陸上競技の準備運動の後には、鬼ごっこなどを行い、体力や技能の程度に関わらず、男女共習で楽しみながら走ることを取り入れた。**【写真 1】**また、スタンディングスタートやクラウチングスタートの学習では、頭を前方に傾けスムーズに重心移動をし、よりよいスタートを切ることができるようにするとともに、他の種目でも生かせることがないか考えさせた。**【写真 2】**さらに、ミニハードルを用いた練習では、地面からの反発を意識させ、膝を上げストライドを伸ばし、リズムの良い中間走につなげることで、50m 走の記録向上を目指すとともに、動画を撮影し、走るフォームと記録の相関について、分析や考察を行った。**【写真 3】**

雨天時には、コーディネーショントレーニング（バランス崩し、人間メトロノームなど）を実施し、体育館においてバドミントンコートを利用したソフトバレーボールや長縄跳びを活用した八の字跳び、全員跳びなどを行うことで運動の楽しさや喜びを味わわせるとともに、体力や運動能力が低下しないよう心がけている。



【写真1 鬼ごっこ】



【写真2 スタート練習】



【写真3 ストライドを伸ばす練習】



(2) 体育的行事

5月に全校生徒による球技大会、10月に体育祭、3月には1、2年生対象の球技大会を2日間開催している。各行事の運営は生徒会執行部や各クラスの運動委員が中心に行い、当日の審判や係を運動部活動に所属する生徒が行うことで、体育的行事を生徒が主体的に運営している。

(3) ホームルーム活動の体育施設利用や昼休み時間における体育施設の開放

ホームルーム活動の時間に、年間数回ではあるが体育施設を活用し、各クラスがレクリエーションを企画、実施している。今年度の主な企画は、ミニ体育祭、ソフトバレーボール、ドッジボール、サッカー、バレーボール、長縄、鬼ごっこなどで、運動やスポーツを通してクラスの親睦を深める機会としている。また、昼休みの時間帯に体育施設を開放し生徒が自由に使えるようにしている。【写真4】人工芝グラウンドではサッカー、外の多目的コートではバスケットボール、体育館ではレクリエーションバレーボールやバスケットボールを楽しむ姿が数多く見受けられる。



【写真4 昼休みの風景】



【写真5 総合的な探究の時間のテニス講座とサッカー講座】

4 総合的な探究の時間

総合的な探究の時間では、国際理解や情報などの内容に加えて、健康（スポーツ）に関する内容（硬式テニス、バドミントン、ソフトバレーボール、ヨガ、サッカー、ソフトボールなど）の講座を全学年で開講しており、毎年、健康（スポーツ）に関する講座は定員を大きく超える希望がある。【写真5】総合的な探究の時間で開講している健康（スポーツ）の講座は、科目「体育」の授業内容と比較すると、健康との関連が深く、より主体的に課題解決させるような授業展開となっており、スポーツの楽しさや喜びを深く味わい、体力や技能等の向上を目指しながら、健康を保持増進するための資質・能力を育む内容となっている。

5 おわりに

本校では、体育の授業や運動部活動が運動機会の中心であるが、他の学校と比較すると、昼休みやホームルーム活動、総合的な探究の時間などにおいて運動機会をより多く確保できているのではないかと考えている。今後も、様々な運動機会と通じて、体力向上や生涯スポーツへ繋げることを目指していきたい。

体力の向上を目指した体育的活動

— 工科高校の特色を活かした体力づくり —

愛知県立一宮工科高等学校

1 はじめに

本校は、昭和 38 年に創立された全日制工業科の高校であり、令和 5 年度には創立 60 周年を迎えた。「この手を信ず」を校訓に、地域の産業に貢献する人材を輩出し続けてきたため、地域からの信頼は厚い。令和 3 年 4 月からは、校名を愛知県立一宮工科高等学校へ変更し、学科も再編成した。現在は、IT 工学科、機械科、電気科、建築デザイン科、都市工学科の 5 学科を設置しており、どの学科の生徒も、ものづくりの楽しさ、厳しさを学ぶなど充実した日々を送っている。

卒業後の進路は、7～8 割程度の生徒が就職し、就職先の多くは工業関係の企業となっている。多くの生徒が工業関係の仕事に就くことを考えると、学校には、専門的な知識や技能の習得のみならず、健康の維持管理や体力などの資質・能力をしっかりと身に付けさせることが求められているのではないかと考えている。これらのことから、本校では、日々の教育活動において、心身ともに健康で、豊かな教養と人間性を持ち、調和のとれた有能な工業人の育成を目指している。

2 科目「体育」の授業の取組

(1) 準備運動

体育授業開始時には、安全面への配慮や基礎体力の向上を目的に、ラジオ体操と補強運動（腕立て伏せ、腹筋運動、背筋運動、スクワットなど）、ランニングを実施している。教員の指示がなくても、集合が完了すれば生徒の担当者（リーダー）を中心に自発的に準備運動を開始している。【写真 1・2】



【写真 1 ランニングの様子】



【写真 2 補強運動（腕立て伏せ）】

(2) リーダーシップ教育と自発的活動

各講座でリーダーを指名し、リーダーが他の生徒をまとめ、授業を進めることで、自発的な活動となるよう工夫している。一定の期間でリーダーを交代し、多くの生徒がリーダーを務めることで、コミュニケーションスキルや集団行動についての意識を高め、学校生活や授業の規範意識を根付かせている。リーダーが効率的に授業を展開することで、運動機会や運動量が確保され、その結果、体力向上に寄与しているのではないかと考えている。【写真 3・4】また、リーダーシップ教育を推進することで、生徒同士のコミュニケーションが充実し、思考力、判断力、表現力等が活発となり、生徒自身が次の行動を考え、自ら積極的に行動するなどの様子がうかがえる。



【写真3 リーダーの号令でラジオ体操】



【写真4 リーダーの指示で集合】

(3) その他

工業高校として、学校生活のあらゆる場面で社会生活に適した規範を身に付けさせるための工夫をしており、体育の授業においても、挨拶や器具の扱いに配慮させることに加えて、5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）や役割を果たす責任などを理解させる指導の徹底を図っている。【写真5～7】



【写真5 器具の整理整頓】



【写真6 器具の整理整頓】



【写真7 器具の整理整頓】

3 令和4年度入学生（現3年生）男子生徒の体力テスト結果の経年比較

令和4年度入学生（男子）における体力テスト各項目の平均値の経年比較を行ったところ、全ての項目において記録の向上が見られた。【表1】このことは、入学年次から上記2の(1)～(3)の取組を継続してきた成果だと考えている。次年度以降も経年比較を継続することで、体力の変化に注視していきたい。

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	総合評価
1年次	36.76	27.47	46.20	51.84	67.49	7.76	206.30	22.09	44.64
2年次	39.68 ○	29.35 ○	49.84 ○	55.51 ○	78.29 ○	7.46 ○	219.12 ○	24.78 ○	51.48 ○
3年次	41.94 ○	30.40 ○	52.62 ○	58.27 ○	85.85 ○	7.38 ○	229.18 ○	26.80 ○	56.05 ○

【表1 令和4年度入学生（男子）における体力テスト各項目の平均値の経年比較】※○が向上（前年比）

4 部活動

本校には12の運動部があり、生徒は授業や資格取得のための学習等に加え、部活動にも非常に熱心に取り組んでいる。その中でも、近年は、レスリング部が全国大会や東海大会で活躍し、バレーボール部、バスケットボール部、サッカー部、卓球部、弓道部が県大会に出場するなどの成果を上げている。

5 おわりに

本校では、体育の授業や運動部活動への取り組み状況から、運動意欲の高い生徒が多いと考えている。結果として、体力テストの記録が向上したり、運動部活動で成果を上げていることは、望ましい姿であり、今後も継続できるよう努めていきたい。しかし、近年、体育の授業や運動部活動でのけがが多くみられるようになり、強い危機感を抱いている。今後は、体力の向上や健康の保持増進に加えて、安全に十分配慮した活動や事故、けがの防止に対しても生徒の意識を変化させ、高めていくような働きかけをしたい。このことについては、保健体育の枠組みにとらわれず、安全教育が充実している工業高校としての強みを生かした教科横断的な取組を検討していきたい。

本校生徒の体力づくりの取組

ーさまざまな活動を通してー

愛知県立半田商業高等学校

1 はじめに

本校は、大正 15 年に創立された愛知県立半田商業専修学校を創始とした県立商業高等学校である。歴史が深く、実社会に送り出した卒業生は 2 万 4 千人に及び、知多半島における産業界の中核的な役割を担っている。現在、全日制課程では各学年 6 クラスを有し、男子 241 名、女子 400 名の全校生徒 641 名が在籍しており、商業の専門分野を深く学びながら多くの運動部が県大会に出場するなどの活躍をしている。

2 体育授業の取組

年度末頃に、次年度の体力テストの持久走、20mシャトルランに向けて体力強化をするために、1500m走の目標タイムを決め、1 周当たりのタイムを算出してインターバル走を行っている。【表 1】周数を徐々に増やしていくことで、体力の向上を実感させながら、さらなる心肺機能の向上を図っている。また、令和 5 年度入学生からは、体力テストで 20mシャトルランを実施しているため、体育館でタッチ走などを行って体力の向上を図っている。

点数	1 周 タイム	1/2	1 周目	2 周目	3 周目	4 周目	5 周目	6 周目	7 周目
10	39 秒	0'19	0'58	1'37	2'16	2'55	3'34	4'13	4'52
9	42 秒	0'21	1'03	1'45	2'27	3'09	3'51	4'33	5'15
8	44 秒	0'22	1'06	1'50	2'34	3'18	4'02	4'46	5'30
7	47 秒	0'23	1'10	1'57	2'44	3'31	4'18	5'05	5'52
6	50 秒	0'25	1'15	2'05	2'55	3'45	4'35	5'25	6'15
5	54 秒	0'27	1'21	2'15	3'09	4'03	4'57	5'51	6'45
4	60 秒	0'30	1'30	2'30	3'30	4'30	5'30	6'30	7'30

【表 1 インターバルトレーニングタイム表】

3 体育的行事の取組

(1) 球技大会

令和 5 年度までは 12 月に実施していたが、令和 6 年度からは 3 月に実施することになった。運営は、生徒会や運動部の生徒を中心に行い、選手として出場しながら準備や審判を務めるなど一生懸命活動する姿が印象的である。【写真 1】クラス対抗の行事として大いに盛り上がり、体力向上を図るだけでなく、クラスの絆を深める大切な行事となっている。実施種目は、バレーボール・卓球・サッカー（女子はドッジボール）である。



【写真 1 球技大会】

(2) 学校祭（10 月）

学校祭を「白山祭」と称して文化祭 2 日、体育祭 1 日の計 3 日間行っている。体育祭はクラス対抗とブロック対抗を設け、クラスの連帯感を涵養するだけでなく、異学年と交流することで、社会性や公共心を育てている。実施種目はリレーや綱引き、台風の日などで、生徒は熱心に取り組んでいる。中でも、クラス対抗全員リレーは本校の伝統的な種目であり、体育祭で最も盛り上がりを見せる種目である。【写真 2】



【写真 2 体育祭】

4 部活動

全日制課程には 13 の運動部があり、どの部活動もパフォーマンス向上のために、創意工夫をこらしなが

ら一生懸命活動を継続している。運動部への加入率は、男子が 54%、女子が 40%となっており、近年では、ソフトボール部や陸上部、ハンドボール部、剣道部、卓球部など多くの運動部が県大会出場を果たしている。生徒は、日々の授業や各種検定などの資格取得のための学習をおろそかにせず、部活動にも励むことで文武両道を実践しており、部活動が体力向上へ大きく寄与していると考えている。

5 体力テスト結果について

全日制課程の「反復横とび」、「立ち幅とび」、「ハンドボール投げ」の平均値は複数の学年の男女で全国及び県の平均値を上回る結果であったが、「シャトルラン」、「持久走」においては全学年で全国及び県の平均値を下回る結果であった。また、「握力」、「上体起こし」、「長座体前屈」、「50m走」においては、若干、国及び県の平均値を上回る学年、性別はみられたが、多くの学年の男女で下回る結果となった。これらの結果から、生徒は敏捷性

学年	性	本校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン持久走	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ
		全国								
		県								
1	男	本校	35.45	28.11	46.87	56.56	74.12	7.57	224.04	24.38
		全国	36.54	27.63	47.41	54.86	77.56	7.54	217.30	23.17
		県	36.40	27.90	50.00	56.10	81.10	7.60	215.40	23.70
	女	本校	25.67	20.85	52.22	47.39	40.71	9.14	173.46	14.11
		全国	25.05	21.84	47.32	47.12	45.69	9.00	176.01	13.39
		県	25.30	22.30	49.70	48.00	47.60	9.10	168.50	13.80
2	男	本校	36.23	30.00	51.26	57.35	83.39	7.44	222.73	25.14
		全国	38.58	29.22	48.56	56.35	84.87	7.34	217.42	24.65
		県	38.70	29.90	52.70	57.70	87.70	7.40	222.10	25.50
	女	本校	25.39	23.11	51.37	48.85	45.81	8.88	175.64	14.92
		全国	26.18	23.21	48.99	48.05	47.81	8.89	170.46	14.20
		県	26.20	24.00	51.40	48.70	50.30	9.00	170.30	14.60
3	男	本校	38.57	30.63	51.19	58.57	400.29	7.27	229.87	27.13
		全国	40.66	30.38	50.65	57.50	371.95	7.27	223.91	25.63
		県	40.20	31.10	54.30	58.50	385.20	7.30	226.50	26.60
	女	本校	26.23	24.40	53.55	49.56	317.23	8.89	176.57	15.48
		全国	26.40	23.68	49.82	48.09	305.61	8.95	171.63	14.26
		県	26.60	24.70	52.50	49.10	308.50	9.00	171.20	15.00

【表2 体力テスト各項目の平均値の比較】

※網掛: 全国及び県の平均値より上回っている項目(全て今年度の平均値)

高く、全身持久力や筋持久力、筋力、柔軟性については課題があることが明らかとなったため、今後は、インターバルトレーニングやタッチ走の取組を続け、持久力の向上を図るとともに、筋力や柔軟性を高めるための運動を意図的に取り入れていかなければならないと考えている。

6 まとめ

本校全日制課程の生徒は、体を動かすことが好きな生徒が多く、体育の授業、運動部活動、体育的行事でも積極的かつ一生懸命に取り組む姿が多く見られる。体力向上の取組については、体育の授業内で実施しているインターバルトレーニングやタッチ走を行うことで、引き続き全身持久力や筋持久力の向上を目指していきたい。また、課題である筋力や柔軟性などについては、これらの向上の必要性や重要性を生徒に周知するとともに、効果的な補強運動やストレッチを授業内容に意図的に組み込むことで向上を図っていきたい。

今後も、体育の授業や学校行事、運動部活動などを通して体力の向上を目指しながら、運動の楽しさや喜びを深く味わわせ、生涯にわたって運動を豊かに継続することができる資質・能力を身に付けさせていきたい。

生徒が主体的に取り組む体育活動の実践

—体育授業の実践と体育的行事—

愛知県立岡崎北高等学校

1 はじめに

本校は、創立 117 年目を迎える伝統校であり、教育目標「高い知性と豊かな情操、たくましい気力・体力の養成」のもと生徒は有意義な学校生活を送っている。令和 4 年度から、新たな価値を創造できる国際科学人の育成を目標とした理数科を開設し、普通科とともに、それぞれの目標の実現に向けて切磋琢磨しながら学習や学校行事、部活動に取り組んでいる。校内の敷地は広く、体育館、武道場、400mトラックを備えた陸上競技場がある。陸上競技場のトラック内にはサッカーコート 1 面やハンドボールコートを 3 面確保することができ、トラック外にはバレーボールコートが 4 面、バスケットボールコートが 2 面設置されている。さらに、陸上競技場と隣接した場所にはテニスコート 5 面、25m×9 レーンのプール、県内では数少ない単独の野球場があり、体育施設が充実していることは大きな特色である。

2 実践内容

(1) 体育授業の工夫

ア 器械運動

器械運動の授業では、ICT を効果的に活用した授業を実践している。具体的には、タブレット端末を用いて、グループ内でお互いの技を動画撮影し、自他の動画を視聴しながら意見交換することで、個人の技能の習得やグループ練習に役立てるよう指導している。生徒は、動画で自身の技を確認したり、他者の技とを比較することで、課題や改善点、技能の向上を視覚的に把握、実感することができ、効率よく学習させることができているのではないかと思う。また、他者と対話することで、楽しみながら学び合うことができるので、生徒たちは主体的に学習活動に取り組むことができていると考えている。

動画を用いて学習させる場面では、「遅延再生カメラ」（アプリ）を活用することがある。このアプリを用いると、設定した時間だけ遅延させて動画を再生することが可能となるため、動画をスクリーンに映写することで、自身で動画の撮影と視聴ができ、主体的に練習に取り組むようになった。

イ ソフトボール

ソフトボールの授業では、「壁あて」と「的あて」を組み合わせたボール操作の学習で、生徒が楽しく意欲的に練習に取り組むことができるよう工夫し、練習と同じ内容で実技テストも実施した。具体的には、ねらった方向へステップを踏みながら、一連の動きでボールを投げることができるよう、一定の距離からステップを踏ませ、体育器具庫の壁面の的を狙って何度も練習し、技能を上達させた上で実技テスト実施した。【写真 1・2】求められる技能の程度はそれほど高くなく、ボール操作の技能の程度を測る上では妥当性の高い学習内容であり、練習では、相互にアドバイスをするなど技能の向上を目指して熱心に取り組む様子が見られた。ボールをコントロールよく投げることが苦手な生徒にとっては、ステップを踏みながら一連の動きで



【写真1 体育器具庫壁面の的】



【写真2 練習、実技テストの様子】

ボールを投げ、的にあてることは難しそうだったが、他者と対話したり、徐々に的にあたるようになることを実感しながら楽しそうに取り組んでいた。

(2) 体育的行事

ア 球技大会

毎年6月上旬に開催している球技大会では、「ドッジボール(男女)」、「バレーボール(男女)」、「ミニサッカー(男女)」、「バドミントン(男女)」、「キックベース(女)」の5種目を実施している。その中でも、花形競技であるバレーボールは、決勝戦になるとコートに大勢の観戦者が集まり、大きな声援を受けながら競技が進められるなど熱戦が繰り広げられる。体育的行事に対して意欲的な生徒が多く、大会前には昼休みの時間に練習をするなど、体育の授業や部活動以外の運動機会となっている。

イ 体育大会

毎年9月上旬には、合唱コンクール(1日)、文化祭(1日)、体育大会(1日)の3日間で「北高祭」が開催される。体育大会の競技は「60m走(男女)」、「200m走(男女)」、「400m走(男)」、「リレー(男女・混合)」、「玉入れ」、「綱引き」、「長縄跳び」が実施され、どの競技も大変盛り上がり、アンケート結果では生徒の満足度が極めて高い。競技以外にも、応援部門では生徒によるパフォーマンスが行われ、よく練習された完成度の高いパフォーマンスは体育大会の目玉企画となっている。今年度は、熱中症予防対策のため、比較的WBGT値の低い午前中だけの開催とし、内容を2日間に分けて実施した。

(3) 部活動

本校は、部活動が盛んであり、運動部は23(男12、女11)、文化部は16の部活動が設置されている。運動部においては、毎年多くの部活動が県大会に出場しており、今年度は陸上競技部と卓球部(女子)で東海大会に出場するなど、県内外でもトップレベルの成績を収める部活動がある。広大な敷地を余すことなく使い、活動する上で場所の制限が少ないことも運動部の活発化を支えており、体力向上に寄与していると考えている。

3 おわりに

近年、子供の体力や運動能力の低下が社会の大きな課題となっているが、本校では充実した施設・設備の中で、体育の授業や体育的行事、運動部活動に主体的に取り組ませていることが、体力づくりの基盤になっていると考えている。体育の授業や体育的行事、運動部活動については、今後も生徒の実態に応じて学習内容や学習活動を工夫し、運動やスポーツの楽しさや喜びを深く味わわせながら体力向上を図っていきたい。

長距離走における持久力の向上を目指して

－知的障害のある生徒への効果的な支援・手立てについて－

愛知県立大府もちのき特別支援学校桃花校舎

1 はじめに

本校は、軽度の知的障害生徒を対象とした高等部のみの特別支援学校である。各学年3学級が設置され、今年度は計75名の生徒が在籍している。校舎は、愛知県立桃陵高等学校に併設されているため、グラウンドや体育館、武道場などの施設を共用しており、文化祭や体育祭などは合同で実施している。

本校の生徒は、卒業後に一般就労を目指している。そのため、就職または社会生活に向けて力をつけられるよう、学校生活全般を通して職業自立に必要な知識や技能、態度を養うことを目標に掲げて指導している。保健体育科では、日々の活動の中で体力向上や健康の保持増進に注力し、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の育成を目指した指導を行っている。

2 実践内容

本校では、3年間を通して長距離走の単元を計画している。このことは、持久力の向上を図るとともに生涯スポーツへつなげることをねらいとしており、毎年12月には、長距離走の取組の成果を発表する場として、あいち健康の森公園において持久走大会を開催している。

体育の授業では、男子は400mコース【写真1】10周（4km）、女子は200mトラック【写真2】15周（3km）の走運動を取り入れている。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて生徒間の距離の確保が必要となったため、グラウンドに隣接するテニスコートを活用して400mコースを新設し、男女でコースを分けて効率よく走ることができるよう工夫した。また、持久走大会を開催するあいち健康の森公園は、走路がアスファルトであるため、事前の練習として校舎を離れ、近隣の鞍流瀬川緑道で男女ともに3km走にも取り組んだ。雨天時には体育館で男女別に20mシャトルランを実施し、折り返し回数から現在の体力を把握できるよう手立てした。

しかし、長距離走に対して苦手意識をもっている生徒は多く、単調に走るだけの活動ではモチベーションを保つことが難しい状況であったため、自己記録カード【写真3】を作成し、単元の最初の授業において前年のベストタイムを参考に目標を設定し、授業毎にその日のタイムを自己記録カードに記入さ



【写真1 長距離走コース（400m）】



【写真2 長距離走コース（200m）】

せることにした。目標タイムが高すぎる生徒もいるため、適宜教師が助言して適切な目標タイムとなるように支援した。また、設定した目標を達成した場合は、その都度、目標タイムを更新させるとともに、再度、目標タイムから1週のラップタイムを算出してペース配分を考えさせた。さらに、電子タイマーを生徒から見やすい位置に設置し、教師が1周ごとにタイムを読み上げてラップタイムを確認しやすい環境を整え、教師は周回チェックと同時に1週のラップタイムを記録表【写真4】に記入して授業後に振り返ることができるよう工夫した。

これらの実践の中で、生徒は、授業終盤に自己記録カードへトータルタイムと1週のラップタイムを記入し、振り返りとして、ペース配分やトータルタイムについての成果や課題をまとめることができた。また、実践の中では、自身の目標タイムに近い仲間を意識し、競い合いながら走ったり、目標タイムに少しでも近づくためにペース配分やタイムの詳細を意識して練習に取り組んだりするなど、望ましい姿が見られた。

持久走大会当日は、ラップタイムを意識して走る生徒、ベストタイムを出せた生徒、ベストタイムではないが最後まで走り切った生徒など練習の成果を発揮できた生徒がほとんどであった。【写真5】何人かの生徒は、思うようなタイムを出せず悔しさを表出する場面もあったが、走り切ったことへの達成感は味わっている様子が見られた。大会中は、生徒同士で応援したり、ゴール近くから伴走したりするなど協力して苦しい状況を乗り越えようとする姿も見られ、長距離走を通して学級の団結力を高めることができたように思う。

3 おわりに

長距離走を通して持久力を向上させるためには、生徒の活動への意欲を保持することが重要となることを本実践から改めて感じた。自己記録カードを作成して目標となるラップタイムを設定することは、地道な努力で目標をクリア

できる経験を積み重ねることへとつながり、結果的に長距離走が苦手な生徒にも前向きな気持ちを持たせることができたと考えている。これらのことが、持久走大会へ臨む姿勢に表れ、生徒たちは練習の成果を十分発揮し、走り切った後の達成感や喜びを感じさせることができたと思う。当日、思い通りの記録を出せた生徒と出せなかった生徒はいたが、どちらの生徒も走っている最中の苦しさを乗り越え、走り切ることができた達成感は何にも変えがたい経験であり、生徒の心に深く残るはずである。ぜひ、これらの経験を今後の学校生活や卒業後の社会生活に活かしてほしいと願う。今後も、授業や体育的行事、部活動を通して、生徒の体力向上に努めるとともに運動の楽しさや喜びを味わえる経験を重ねられるようにしていきたい。

【写真3 自己記録カード】

【写真4 ラップタイム記録表】



【写真5 持久走大会の様子】

東海学園高校における体育的活動

－共生を踏まえた切磋琢磨し合う姿－

東海学園高等学校

1 はじめに

本校は、全日制普通科 33 学級の学校である。本校の建学の精神は、浄土宗の教理に基づく仏教精神によって学校教育を行うことであり、「共生（ともいき）」の精神のもと、すべてのものが共に生き、生かされていることを自覚しながら、自他ともに大切にする人材を育てることを目標としている。具体的には、毎朝、四弘誓願・三綱領を唱えること、宗教の時間に自分を振り返ったり、見直したりすることなど、生きる力の醸成に重点を置き、しなやかな知性と豊かな感性をそなえた人間の教育に努めている。

2 授業カリキュラムについて

本校は「50 分授業×6 限」の時間割で授業を展開している。体育の単位数は 1 年生 3 単位、2 年生 2 単位、3 年生 2 単位で、2・3 年生は各種学校行事に伴う時間割変更の関係上、週に 1 時間のみの体育授業となることもあるため、授業づくりを工夫し、活動時間の確保に努めている。1 年生は単位数が多いため、種目のルールの説明や基礎練習を増やしている。全学年、実技試験の練習を中心に授業を進めていくが、生徒の様子を見て各担当教員で判断し、ゲーム形式を取り入れる場合もある。また、「体育ファイル」を 1 人 1 冊用意し、種目のルールや留意点をまとめたプリントを挟んだり、振り返りシートから思考力・判断力・表現力を評価している。

3 体育の授業実践

(1) 授業の導入

ラジオ体操第 2、準備運動（屈伸、伸脚（浅・深）、アキレス腱、手首足首）、補強運動（馬跳び、跳躍）を行っている。また、種目に応じてストレッチ、補強運動を追加して行っている。1 年生は入学後 1 ヶ月程度、集団行動やコーディネーショントレーニングを行うことで体力向上、協調性の育成を目指している。その後、各種目に分かれて授業を展開している。

(2) 特色ある実践【写真 1】

1 年生女子は「なぎなた」を実施している。なぎなたに初めて触れる生徒も多く、長さや重さに驚いている。部位の名前や、「構え」「振り」「演技」ができるようになることを目標に主体的に授業に参加する生徒が多い。授業を行うにつれ礼儀作法や姿勢に変化が見られるようになり、学校生活の基礎となっている。実技試験後には「リズムなぎなた」を行い、他者と協働しながら 1 つの作品を創りあげることに取り組んでいる。発表後は達成感に溢れる生徒達の穏やかな表情が印象深い。



【写真 1 なぎなたの授業】

4 体育的行事

(1) レクリエーション大会【写真2】

生徒会や体育委員が中心となってタイムテーブルを決定し、2・3年生で4月下旬に行われる行事である。種目はフットサル、ドッジボール、オセロ、長縄跳びである。新しい学年、新しいクラスになったばかりでコミュニケーション不足から苦勞する面も多くあるが、レクリエーション大会後はクラスに対して前向きな発言が増えること



【写真2 レクリエーション大会】

から、親睦を図るための大切な時間となっているようである。大会のルールや運営方法に関しては、反省と改善を繰り返し、年々盛り上がりが増しているように感じる。

(2) 新体力テスト

毎年5月下旬に学校行事として行っている。展開を体育科で会議し、測定を行う教員配置を考えて円滑に実施できるよう工夫している。行事として行っていることや1学期の成績に結果が反映されることもあり、生徒が張り切って取り組んでいるように感じる。しかし、5月下旬となると暑くなり、熱中症が心配されるため十分な配慮が必要となる。

(3) 体育祭

9月中旬ドルフィンズアリーナで体育祭を実施している。天候に左右されることなく、大変盛り上がる行事となっている。3学年を「赤・青・黄・緑」の4団に縦割りで分け、各団で団長、副団長を決め、学年関係なく関わる機会となっている、リレー、綱引き、20人21脚、むかでリレー、玉入れなどの種目の他に、団対抗のパフォーマンスが行われる。練習は夏休み前から始まり、テーマや曲決めから生徒主体で行い、全員参加で作りをあげるものとなっている。毎年、迫力ある作品を作りあげる生徒の姿に感動を覚える。体育祭の最後には団長から団員に向けての挨拶が行われ、教員への感謝の気持ち、次年度を担う1・2年生に向けてのメッセージなどを伝える機会を設けている。

5 部活動

本校は男子7、女子7、合計14の運動部があり、多くの生徒が入部している。近年、なぎなた部、サッカー部は全国大会に出場しており、県大会に出場する部活動も多くある。運動部の活動場所は、体育館やグラウンド、ダンス場やテニスコートがあり、活動場所が重複した場合は、他の場所で筋力トレーニングを行ったり、外周でランニングトレーニングを行っている部活動もある。顧問は、自身の競技経験の有無にかかわらず熱心に指導するが、生徒主体で練習内容や戦術、戦略を考えて取り組んでいる部活動が多い。部活動を通して、生徒が多くの経験をし、様々な力を身に付け大きく成長する機会となっている。

6 おわりに

新型コロナウイルス感染症も5類へ移行し、授業や学校行事も以前の活気ある様子に戻りつつある。様々なことが制限なくできることは嬉しいことであり、生徒の成長の機会に大きく繋がると実感している。今後は本校に通う全ての生徒がスポーツの楽しさに触れ、興味を持つ機会を増やせるよう授業や行事をより工夫していきたいと考えている。そのためには生徒の声を大事にし、体育科で話し合いながら時代に応じた指導を心掛けていきたい。そして、卒業後も高校での活動の経験から生涯にわたってスポーツに親しむ態度を育めるよう、教師自身がスポーツを楽しむ態度で授業や行事に臨んでいきたい。

体力づくり優良校一覧

●昭和53年度

名古屋市立幅下小学校
名古屋市立浮野小学校
名古屋市立村雲小学校
名古屋市立野立小学校
稲沢市立稲沢東小学校
一宮市立貴船小学校
犬山市立犬山北小学校
西春日井郡西枇杷島町立西枇杷島小学校
東海市立横須賀小学校
知多郡南知多町立豊丘小学校
海部郡弥富町立白鳥小学校
東加茂郡下山村立花山小学校
西加茂郡三好町立北部小学校
岡崎市立連尺小学校
岡崎市立岩津小学校
西尾市立矢田小学校
北設楽郡東栄町立粟代小学校
南設楽郡作手村立開成小学校
豊橋市立吉田方小学校
豊川市立天王小学校
蒲郡市立三谷東小学校
名古屋市立鳴海中学校
愛知郡東郷町立東郷中学校
常滑市立常滑中学校
海部郡弥富町立弥富中学校
東加茂郡下山村立下山中学校
豊田市立松平中学校
岡崎市立甲山中学校
北設楽郡稲武町立稲武中学校
新城市立東郷中学校
蒲郡市立三谷中学校
県立安城東高等学校
県立千種高等学校
県立三好高等学校
県立豊橋東高等学校
県立一宮高等学校
県立東郷高等学校
県立半田商業高等学校定時制課程
名古屋市立桜台高等学校
私立名城大学付属高等学校

●昭和54年度

名古屋市立千種小学校
名古屋市立富士見台小学校
名古屋市立伝馬小学校
名古屋市立太白小学校
一宮市立千秋小学校
中島郡祖父江町立長岡小学校
丹羽郡大口町立大口西小学校
春日井市立篠木小学校
知多市立岡田小学校
海部郡美和町立正則小学校
東加茂郡下山村立羽布小学校
東加茂郡足助町立足助小学校
豊田市立元城小学校
安城市立志貴小学校
刈谷市立亀城小学校
額田郡額田町立宮崎小学校
北設楽郡東栄町立中央小学校
南設楽郡作手村立協和小学校
宝飯郡音羽町立長沢小学校
渥美郡渥美町立清田小学校
名古屋市立日比野中学校
丹羽郡大口町立大口中学校

知多郡美浜町立野間中学校
海部郡甚目寺町立甚目寺中学校
豊田市立朝日丘中学校
知立市立竜北中学校
北設楽郡設楽町立田口中学校
南設楽郡作手村立作手中学校
豊川市立南部中学校
豊橋市立高豊中学校
県立三好高等学校
県立一宮高等学校
県立小坂井高等学校
県立天白高等学校
県立豊橋東高等学校
県立一宮商業高等学校
県立熱田高等学校定時制課程
名古屋市立若宮商業高等学校
私立中京高等学校

●昭和55年度

名古屋市立旗屋小学校
名古屋市立松原小学校
名古屋市立西味碗小学校
名古屋市立高木小学校
中島郡平和町立三宅小学校
一宮市立丹陽西小学校
岩倉市立岩倉東小学校
瀬戸市立古瀬戸小学校
春日市立高森台小学校
知多市立旭南小学校
海部郡弥富町立弥生小学校
東加茂郡旭町立敷島小学校
豊田市立市木小学校
岡崎市立梅園小学校
北設楽郡豊根村立豊根小学校
南設楽郡鳳来町立中部小学校
豊橋市立鷹丘小学校
名古屋市立宝神中学校
一宮市立奥中学校
愛知郡日進町立日進中学校
知多郡美浜町立河和中学校
東海市立加木屋中学校
海部郡佐織町立佐織中学校
東加茂郡足助町立足助中学校
豊田市立狼投中学校
岡崎市立矢作中学校
北設楽郡津具村立津具中学校
新城市立八名中学校
蒲郡市立中部中学校
豊川市立代田中学校
県立安城東高等学校
県立西尾東高等学校
県立一宮北高等学校
県立惟進高等学校
県立岡崎商業高等学校
県立天白高等学校
県立岡崎高等学校定時制課程
名古屋市立向陽高等学校
私立名古屋短期大学附属高等学校

●昭和56年度

名古屋市立矢田小学校
名古屋市立山吹小学校
名古屋市立千代田橋小学校
名古屋市立八事小学校
中島郡祖父江町立山崎小学校

海部郡蟹江町立学戸小学校
東加茂郡旭町立小渡小学校
豊田市立畝部小学校
岡崎市立城南小学校
北設楽郡設楽町立田口小学校
一宮市立富士小学校
丹羽郡扶桑町立山名小学校
西春日井郡師勝町立師勝東小学校
小牧市立桃ヶ丘小学校
大府市立大府小学校
知多郡阿久比町立草木小学校
新城市立八名小学校
宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校
渥美郡渥美町立神戸小学校
春日井市立松原中学校
常滑市立鬼崎中学校
海部郡立田村立立田中学校
東加茂郡旭町立旭中学校
豊田市立逢妻中学校
幡豆郡幡豆町立幡豆中学校
豊橋市立南部中学校
蒲郡市立蒲郡中学校
名古屋市立笹島中学校
名古屋市立南光中学校
尾西市立第一中学校
県立瀬戸高等学校
県立春日井東高等学校
県立犬山南高等学校
県立碧南高等学校
県立豊橋南高等学校
県立豊丘高等学校
県立新城高等学校
県立第二愛知工業高等学校
名古屋市立西陵商業高等学校
県立春日台養護学校

●昭和57年度

名古屋市立上野小学校
名古屋市立御園小学校
名古屋市立しまだ小学校
名古屋市立神の倉小学校
名古屋市立千鳥小学校
瀬戸市立東明小学校
愛知郡日進町立西小学校
春日井市立鳥居松小学校
江南市立古知野南小学校
稲沢市立坂田小学校
知多郡南知多町立日間賀小学校
知多郡東浦町立生路小学校
海部郡七宝町立伊福小学校
東加茂郡足助町立萩野小学校
西加茂郡三好町立中部小学校
碧南市立大浜小学校
北設楽郡津具村立津具小学校
渥美郡渥美町立和地小学校
豊川市立東部小学校
豊橋市立東田小学校
名古屋市立御幸山中学校
名古屋市立城山中学校
名古屋市立猪高中学校
尾張旭市立西中学校
葉栗郡木曽川町立木曽川中学校
一宮市立萩原中学校
半田市立青山中学校
西加茂郡藤岡町立藤岡中学校

安城市立安城北中学校
宝飯郡音羽町立音羽中学校
県立千種高等学校
県立西春高等学校
県立常滑北高等学校
県立安城東高等学校
県立西尾東高等学校
県立三好高等学校
県立東海商業高等学校
県立稲沢高等学校定時制課程
県立名古屋雙学校

●昭和58年度

名古屋市立戸笠小学校
名古屋市立梅森坂小学校
名古屋市立砂田橋小学校
名古屋市立伊勝小学校
名古屋市立本郷小学校
豊明市立大宮小学校
小牧市立三ツ洲小学校
豊田市立土橋小学校
東加茂郡旭町立築羽小学校
新城市立庭野小学校
蒲郡市立竹島小学校
豊橋市立下地小学校
西春日井郡西春町立西春小学校
丹羽郡扶桑町立扶桑東小学校
海部郡甚目寺町立西小学校
知多市立佐布里小学校
幡豆郡吉良町立吉田小学校
名古屋市立桜田中学校
名古屋市立明豊中学校
名古屋市立守山中学校
春日井市立坂下中学校
中島郡祖父江町立祖父江中学校
海部郡蟹江町立蟹江北中学校
東海市立上野中学校
西尾市立福地中学校
一宮市立浅井中学校
北設楽郡東栄町立東栄中学校
豊川市立西部中学校
県立東郷高等学校
県立旭野高等学校
県立一宮高等学校
県立横須賀高等学校
県立豊田北高等学校
県立豊橋東高等学校
県立半田農業高等学校
県立東山工業高等学校
県立岡崎高等学校定時制課程
県立岡崎養護学校

●昭和59年度

瀬戸市立深川小学校
一宮市立末広小学校
海部郡立田村立南部小学校
東海市立加木屋南小学校
安城市立里町小学校
豊田市立滝脇小学校
渥美郡赤羽根町立高松小学校
名古屋市立昭和橋小学校
名古屋市立平和が丘小学校
名古屋市立東山小学校
海部郡七宝町立北中学校
知多郡東浦町立北部中学校

刈谷市立雁が音中学校
宝飯郡一宮町立一宮中学校
名古屋市立北山中学校
県立豊明高等学校
県立江南高等学校
県立安城高等学校
県立半田商業高等学校
県立小牧養護学校

●昭和60年度

春日井市立勝川小学校
西春日井郡清洲町立清洲小学校
江南市立宮田小学校
東海市立加木屋小学校
高浜市立港小学校
額田郡額田町立大雨河小学校
東加茂郡足助町立御蔵小学校
南設楽郡鳳来町立鳳来小学校
名古屋市立正色小学校
名古屋市立正保小学校
小牧市立小牧中学校
中島郡平和町立平和中学校
豊田市立若園中学校
豊橋市立羽田中学校
名古屋市立東陵中学校
県立高蔵寺高等学校
県立五条高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊川工業高等学校
県立一宮養護学校

●昭和61年度

一宮市立西成東小学校
尾張旭市立城山小学校
海部郡佐屋町立佐屋西小学校
西尾市立西野町小学校
豊田市立童子山小学校
北設楽郡東栄町立下川小学校
豊川市立御油小学校
名古屋市立大須小学校
名古屋市立鶴舞小学校
名古屋市立吹上小学校
瀬戸市立東中学校
東海市立富木島中学校
碧南市立東中学校
名古屋市立八王子中学校
名古屋市立本城中学校
県立春日井高等学校
県立佐屋高等学校
県立半田東高等学校
県立刈谷東高等学校
県立豊橋西高等学校

●昭和62年度

尾西市立開明小学校
春日井市立玉川小学校
豊明市立三崎小学校
岩倉市立五条川小学校
刈谷市立東刈谷小学校
豊田市立青木小学校
蒲郡市立西浦小学校
宝飯郡音羽町立赤坂小学校
名古屋市立東白壁小学校
名古屋市立中川小学校
犬山市立城東中学校
海部郡佐屋町立佐屋中学校

岡崎市立竜南中学校
渥美郡渥美町立福江中学校
名古屋市立港明中学校
県立桃陵高等学校
県立豊田南高等学校
県立作手高等学校
県立豊川養護学校
名古屋市立名東高等学校

●昭和63年度

稲沢市立大塚小学校
小牧市立一色小学校
海部郡甚目寺町立甚目寺小学校
知多郡武豊町立緑丘小学校
安城市立桜井小学校
豊田市立寿恵野小学校
豊橋市立飯村小学校
名古屋市立大野木小学校
名古屋市立味鋤小学校
名古屋市立愛知小学校
一宮市立北方中学校
愛知郡日進町立日進中学校
額田郡幸田町立幸田中学校
新城市立新城中学校
名古屋市立神丘中学校
県立津島高等学校
県立岡崎北高等学校
県立愛知商業高等学校
県立国府高等学校
県立武豊高等学校

●平成元年度

一宮市立今伊勢小学校
春日井市立神領小学校
半田市立雁宿小学校
岡崎市立竜谷小学校
幡豆郡一色町立一色南部小学校
渥美郡渥美町立中山小学校
北設楽郡設楽町立名倉小学校
名古屋市立西山小学校
名古屋市立滝川小学校
名古屋市立福田小学校
東海市立平洲中学校
豊田市立高岡中学校
豊橋市立石巻中学校
名古屋市立川名中学校
名古屋市立はとり中学校
県立昭和高等学校
県立一宮西高等学校
県立半田高等学校
県立西尾高等学校
県立成章高等学校

●平成2年度

西春日井郡豊山町立新栄小学校
岩倉市立曽野小学校
愛知郡日進町立東小学校
海部郡弥富町立栄南小学校
岡崎市立六ツ美南部小学校
東加茂郡足助町立大河原小学校
豊川市立国府小学校
豊橋市立天伯小学校
名古屋市立東桜小学校
名古屋市立大磯小学校
瀬戸市立光陵中学校
知多郡阿久比町立阿久比中学校

西尾市立東部中学校
豊橋市立南稜中学校
名古屋市立南陽東中学校
県立名古屋南高等学校
県立五条高等学校
県立常滑北高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊橋工業高等学校

●平成3年度

豊川市立金屋小学校
豊橋市立植田小学校
安城市立桜林小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立八社小学校
名古屋市立鳴海東部小学校
名古屋市立石ヶ瀬小学校
海部郡蟹江町立蟹江小学校
一宮市立今伊勢西小学校
尾張旭市立端鳳小学校
渥美郡田原町立田原中学校
刈谷市立刈谷東中学校
名古屋市立扇台中学校
春日井市立岩成台中学校
海部郡佐屋町立永和中学校
県立一宮高等学校
県立武豊高等学校
県立岡崎北高等学校
県立豊丘高等学校
県立春日台養護学校

●平成4年度

名古屋市立御器所小学校
名古屋市立表山小学校
名古屋市立前山小学校
稲沢市立小正小学校
西春日井郡新川町立新川小学校
知多市立八幡小学校
豊田市立東山小学校
安城市立作野小学校
蒲郡市立三谷小学校
豊橋市立大崎小学校
名古屋市立原中学校
名古屋市立八幡中学校
犬山市立南部中学校
瀬戸市立水無瀬中学校
岡崎市立新香山中学校
県立美和高等学校
県立岡崎西高等学校
県立時習館高等学校
県立桃陵高等学校定時制課程
私立栄徳高等学校

●平成5年度

知多郡美浜町立奥田小学校
愛知郡東郷町立東郷小学校
岩倉市立岩倉北小学校
小牧市立篠岡小学校
碧南市立日進小学校
豊田市立五ヶ丘小学校
南設楽郡鳳来町立連谷小学校
豊橋市立多米小学校
名古屋市立植田北小学校
名古屋市立枇杷島小学校
知多市立旭南中学校
稲沢市立稲沢西中学校
岡崎市立葵中学校

豊橋市立豊城中学校
名古屋市立東星中学校
県立瑞陵高等学校
県立横須賀高等学校
県立刈谷北高等学校
県立豊橋商業高等学校
県立名古屋盲学校

●平成6年度

尾西市立起小学校
豊明市立豊明小学校
海部郡弥富町立弥生小学校
半田市立雁宿小学校
宝飯郡一宮町立一宮南部小学校
安城市立新田小学校
岡崎市立細川小学校
名古屋市立鳴海小学校
名古屋市立南押切小学校
名古屋市立神宮寺小学校
一宮市立大和南中学校
瀬戸市立祖東中学校
豊川市立西部中学校
額田郡額田町立額田中学校
名古屋市立天神山中学校
県立日進西高等学校
県立丹羽高等学校
県立岡崎東高等学校
県立新城東高等学校
県立一宮東養護学校

●平成7年度

一宮市立神山小学校
尾張旭市立城山小学校
知多郡阿久比町立東部小学校
額田郡幸田町立中央小学校
東加茂郡足助町立大蔵小学校
豊田市立上鷹見小学校
豊橋市立二川南小学校
名古屋市立榎小学校
名古屋市立御園小学校
名古屋市立大清水小学校
海部郡蟹江町立蟹江中学校
幡豆郡一色町立一色中学校
豊橋市立豊岡中学校
名古屋市立御田中学校
名古屋市立鳴海中学校
県立春日井南高等学校
県立新川高等学校
県立阿久比高等学校
県立知立東高等学校
県立豊田工業高等学校

●平成8年度

渥美郡渥美町立福江小学校
岡崎市立六ツ美中部小学校
豊橋市立賀茂小学校
幡豆郡吉良町立白浜小学校
稲沢市立稲沢西小学校
西春日井郡西春町立栗島小学校
犬山市立大山西小学校
海部郡佐織町立北河田小学校
名古屋市立港楽小学校
名古屋市立那古野小学校
豊田市立末野原中学校
南設楽郡鳳来町立鳳来中学校
日進市立日進東中学校
東海市立横須賀中学校

名古屋市立山王中学校
県立天白高等学校
県立木曽川高等学校
県立刈谷高等学校
県立御津高等学校
県立一宮豊学校

●平成9年度

小牧市立桃ヶ丘小学校
瀬戸市立八幡小学校
中島郡祖父江町立領内小学校
常滑市立大野小学校
西尾市立寺津小学校
豊田市立五ヶ丘東小学校
蒲郡市立形原小学校
名古屋市立瀬古小学校
名古屋市立平田小学校
名古屋市立中島中学校
一宮市立今伊勢中学校
海部郡美和町立美和中学校
知立市立知立南中学校
豊橋市立石巻中学校
名古屋市立一柳中学校
県立明和高等学校
県立半田高等学校
県立成章高等学校
県立岡崎商業高等学校
県立春日井高等養護学校

●平成10年度

名古屋市立白金小学校
名古屋市立楠小学校
名古屋市立小幡北小学校
西春日井郡西春町立栗島小学校
一宮市立葉栗小学校
知多郡武豊町立富貴小学校
刈谷市立小垣江東小学校
岡崎市立矢作南小学校
豊田市立寺部小学校
豊川市立豊小学校
名古屋市立南光中学校
名古屋市立白山中学校
愛知郡長久手町立長久手中学校
丹羽郡扶桑町立扶桑中学校
宝飯郡一宮町立一宮中学校
県立旭野高等学校
県立一宮興道高等学校
県立東海南高等学校
県立豊田西高等学校
県立豊橋商業高等学校

●平成11年度

名古屋市立稲生小学校
名古屋市立楠小学校
豊明市立唐竹小学校
知多郡東浦町立藤江小学校
岡崎市立常磐小学校
北設楽郡津具村立津具小学校
名古屋市立有松中学校
海部郡蟹江町立蟹江中学校
岡崎市立六ツ美中学校
蒲郡市立塩津中学校
県立昭和高等学校
県立津島高等学校
県立安城東高等学校
県立国府高等学校
県立安城養護学校

●平成12年度

稲沢市立稲沢東小学校
海部郡大治町立大治小学校
西加茂郡三好町立緑丘小学校
豊橋市立大崎小学校
名古屋市立本郷小学校
名古屋市立笠寺小学校
瀬戸市立南山中学校
知多郡美浜町立河和中学校
刈谷市立富士松中学校
名古屋市立沢上中学校
県立松蔭高等学校
県立丹羽高等学校
県立東海商業高等学校
県立岡崎高等学校
県立豊川工業高等学校

●平成13年度

高浜市立高浜小学校
蒲郡市立三谷東小学校
名古屋市立野立小学校
名古屋市立八熊小学校
尾張旭市立本地原小学校
一宮市立丹陽南小学校
西加茂郡三好町立南中学校
渥美郡渥美町立福江中学校
名古屋市立振甫中学校
江南市立古知野中学校
県立千種高等学校
県立一宮西高等学校
県立西尾高等学校
県立時習館高等学校
県立三好養護学校

●平成14年度

名古屋市立諏訪小学校
名古屋市立小碓小学校
愛知郡東郷町立高嶺小学校
大府市立共長小学校
東加茂郡足助町立萩野小学校
新城市立舟着小学校
名古屋市立原中学校
中島郡祖父江町立祖父江中学校
西春日井郡西枇杷島町立西枇杷島中学校
豊川市立中部中学校
県立明和高等学校
県立一宮興道高等学校
県立半田高等学校
県立刈谷高等学校
県立豊橋東高等学校

●平成15年度

江南市立古知野北小学校
半田市立有脇小学校
豊田市立根川小学校
宝飯郡一宮町立一宮南部小学校
名古屋市立筒井小学校
名古屋市立守山小学校
豊明市立豊明中学校
岡崎市立甲山中学校
北設楽郡豊根村立豊根中学校
名古屋市立浄心中学校
県立天白高等学校
県立木曽川高等学校
県立知多東高等学校
県立豊田北高等学校
県立小坂井高等学校

●平成16年度

刈谷市立亀城小学校
豊橋市立高師小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立東丘小学校
海部郡甚目寺町立南小学校
瀬戸市立品野台小学校
碧南市立新川中学校
名古屋市立鳴海中学校
一宮市立中部中学校
知多郡南知多町日間賀中学校
県立瑞陵高等学校
県立一宮高等学校
県立岡崎高等学校
県立新城東高等学校
県立佐織養護学校

●平成17年度

名古屋市立篠原小学校
名古屋市立長根台小学校
稲沢市立牧川小学校
清須市立星の宮小学校
額田郡幸田町立豊坂小学校
田原市立若戸小学校
名古屋市立宮中学校
犬山市立東部中学校
豊田市立竜神中学校
豊橋市立羽田中学校
県立愛知商業高等学校
県立五条高等学校
県立横須賀高等学校
県立刈谷北高等学校
県立豊橋南高等学校
私立東邦高等学校

●平成18年度

豊田市立加納小学校
豊川市立千両小学校
名古屋市立成章小学校
名古屋市立明德小学校
丹羽郡扶桑町立山名小学校
知多市立新知小学校
新城市立千郷中学校
名古屋市立名南中学校
津島市立神守中学校
日進市立日進西中学校
県立東郷高等学校
県立西春高等学校
県立豊田高等学校
県立成章高等学校
県立豊橋豊学校

●平成19年度

名古屋市立正木小学校
名古屋市立春日野小学校
美和町立美和小学校
小牧市立北里小学校
知立市立八ツ田小学校
蒲郡市立竹島小学校
名古屋市立山田東中学校
美浜町立野間中学校
岡崎市立福岡中学校
小坂井町立小坂井中学校
県立豊明高等学校
県立津島東高等学校
県立阿久比高等学校
県立岡崎西高等学校
県立国府高等学校

●平成20年度

江南市立門弟山小学校
東海市立平洲小学校
西尾市立鶴城小学校
豊橋市立下池小学校
名古屋市立杉村小学校
名古屋市立天白小学校
東郷町立春木中学校
稲沢市立大里東中学校
豊田市立前橋中学校
名古屋市立川名中学校
県立旭丘高等学校
県立一宮南高等学校
県立半田養護学校
県立豊田西高等学校
県立蒲郡東高等学校
私立杜若高等学校

●平成21年度

名古屋市立大須小学校
名古屋市立呼続小学校
一宮市立浅井南小学校
豊明市立沓掛小学校
一色町立一色南部小学校
新城市立八名小学校
名古屋市立あずま中学校
愛西市立佐織西中学校
岡崎市立北中学校
田原市立野田中学校
県立旭野高等学校
県立一宮工業高等学校
県立常滑高等学校
県立豊田東高等学校
県立豊橋工業高等学校
私立至学館高等学校

●平成22年度

名古屋市立笠寺小学校
名古屋市立大森小学校
あま市立七宝小学校
東海市立大田小学校
岡崎市立矢作北小学校
豊川市立御津南部小学校
名古屋市立南陽東中学校
犬山市立犬山中学校
瀬戸市立水野中学校
蒲郡市立大塚中学校
県立春日井高等学校
県立津島高等学校
県立岡崎北高等学校
県立三谷水産高等学校
県立名古屋養護学校
私立名城大学附属高等学校

●平成23年度

稲沢市立六輪小学校
春日井市立小野小学校
豊田市立野見小学校
田原市立衣笠小学校
名古屋市立西城小学校
名古屋市立猪高小学校
名古屋市立御田中学校
知多市立知多中学校
安城市立安城西中学校
設楽町立設楽中学校
県立昭和高等学校
県立尾北高等学校
県立半田商業高等学校
県立三好高等学校
県立みあい養護学校
私立大成高等学校

●平成24年度

岡崎市立岡崎小学校
蒲郡市立蒲郡南部小学校
名古屋市立栄生小学校
名古屋市立天白小学校
岩倉市立五条川小学校
津島市立高台寺小学校
幸田町立北部中学校
名古屋市立扇台中学校
一宮市立尾西第一中学校
豊明市立栄中学校
愛知県立松蔭高等学校
愛知県立一宮西高等学校
愛知県立西尾高等学校
愛知県立時習館高等学校
愛知県立名古屋豊学校
私立愛知啓成高等学校

●平成25年度

名古屋市立清水学校
名古屋市立植田東小学校
一宮市立千秋南小学校
美浜町立河和小学校
みよし市立緑丘小学校
設楽町立清嶺小学校
名古屋宝神中学校
江南市立布袋中学校
豊田市立猿投中学校
新城市立作手中学校
愛知県立明和高等学校
愛知県立一宮工業高等学校
愛知県立大府高等学校
愛知県立知立東高等学校
愛知県立岡崎養護学校
私立豊田大谷高等学校

●平成26年度

名古屋市立高見小学校
名古屋市立西築地小学校
江南市立藤里小学校
尾張旭市立瑞鳳小学校
刈谷市立平成小学校
豊橋市立豊小学校
名古屋市立桜田中学校
あま市立七宝北中学校
南知多町立師崎中学校
豊川市立東部中学校
愛知県立名古屋西高等学校
愛知県立一宮興道高等学校
愛知県立大府東高等学校
愛知県立岡崎東高等学校
愛知県立豊川工業高等学校
愛知県立豊川特別支援学校本宮校舎

●平成27年度

名古屋市立平子小学校
名古屋市立野田小学校
稲沢市立稲沢北小学校
あま市立伊福小学校
西尾市立中畑小学校
新城市立東郷西小学校
名古屋市立山王中学校
豊山町立豊山中学校
岡崎市立美川中学校
豊橋市立高師台中学校
愛知県立天白高等学校
愛知県立一宮北高等学校
愛知県立安城東高等学校
愛知県立豊橋商業高等学校
愛知県立千種豊学校
私立中京大学附属中京高等学校

●平成28年度

名古屋市立桶狭間小学校
名古屋市立下志段味小学校
春日井市立西山小学校
東海市立船島小学校
知立市立知立小学校
豊川市立荻小学校
名古屋市立原中学校
江南市立古知野中学校
一宮市立南部中学校
刈谷市立刈谷南中学校
愛知県立愛知商業高等学校
愛知県立木曽川高等学校
愛知県立横須賀高等学校
愛知県立鶴城丘高等学校
豊田市立豊田特別支援学校
名古屋大谷高等学校

●平成29年度

名古屋市立千石小学校
名古屋市立旭丘小学校
大山市立犬山南小学校
津島市立蛭間小学校
幸田町立坂崎小学校
豊橋市立八町小学校
名古屋市立志段味中学校
小牧市立味岡中学校
常滑市立青海中学校
西尾市立吉良中学校
愛知県立日進西高等学校
愛知県立一宮高等学校
愛知県立刈谷北高等学校
愛知県立豊橋東高等学校
愛知県立いなざわ特別支援学校
星城高等学校

●平成30年度

名古屋市立砂田橋小学校
名古屋市立正保小学校
一宮市立北方小学校
東郷町立兵庫小学校
豊田市立東広瀬小学校
田原市立田原東部小学校
名古屋市立桜丘中学校
あま市立甚目寺中学校
蒲郡市立大塚中学校
田原市立泉中学校
愛知県立中村高等学校
愛知県立西春高等学校
愛知県立知多翔洋高等学校
愛知県立豊田北高等学校
愛知県立小坂井高等学校
愛知県立岡崎豊学校

●令和元年度

名古屋市立小坂小学校
名古屋市立蓬来小学校
大山市立犬山西小学校
愛西市立草平小学校
豊田市立岩倉小学校
蒲郡市立蒲郡北部小学校
名古屋市立鳴海中学校
美浜町立野間中学校
岡崎市立北中学校
豊橋市立吉田方中学校
愛知県立旭丘高等学校
愛知県立一宮南高等学校
愛知県立阿久比高等学校
愛知県立知立高等学校
愛知県立ひいらぎ特別支援学校
私立岡崎城西高等学校

●令和2年度

新型コロナウイルス感染症の影響により実施せず。

●令和3年度

名古屋市立浦里小学校
名古屋市立六郷小学校
瀬戸市立幡山西小学校
東浦町立森岡小学校
刈谷市立小高原小学校
設楽町立田口小学校
名古屋市立名塚中学校
稲沢市立治郎丸中学校
愛西市立佐織中学校
岡崎市立額田中学校
愛知県立千種高等学校
愛知県立尾北高等学校
愛知県立刈谷高等学校
愛知県立宝陵高等学校
愛知県立豊田高等特別支援学校
私立滝高等学校

●令和4年度

名古屋市立楠小学校
名古屋市立本郷小学校
一宮市立起小学校
扶桑町立扶桑東小学校
みよし市立黒笹小学校
豊橋市立汐田小学校
名古屋市立長良中学校
北名古屋市立西春中学校
刈谷市立依佐美中学校
東栄町立東栄中学校
愛知県立瑞陵高等学校
愛知県立津島高等学校
愛知県立半田東高等学校
愛知県立三好高等学校
愛知県立岡崎盲学校
私立豊川高等学校

●令和5年度

名古屋市立御器所小学校
名古屋市立前山小学校
日進市立香久山小学校
南知多町立内海小学校
豊田市立浄水小学校
新城市立東陽小学校
名古屋市立高針台中学校
江南市立宮田中学校
津島市立神守中学校
豊川市立一宮中学校
愛知県立春日井高等学校
愛知県立一宮西高等学校
愛知県立西尾高等学校
愛知県立新城有教館高等学校
愛知県立豊橋特別支援学校
私立東邦高等学校

●令和6年度

名古屋市立上名古屋小学校
名古屋市立正保小学校
稲沢市立大里東小学校
長久手市立東小学校
安城市立明和小学校
豊川市立御津北部小学校
名古屋市立高杉中学校
東浦町立東浦中学校
西尾市立福地中学校
新城市立八名中学校
愛知県立熱田高等学校
愛知県立一宮工科高等学校
愛知県立半田商業高等学校
愛知県立岡崎北高等学校
愛知県立大府もちのき特別支援学校
私立東海学園高等学校

愛知県教育委員会学校体育研究委嘱校の研究主題一覧

(小・中学校)

昭和33年度

- ・愛知郡長久手村立長久手小学校
- ・望ましい体育環境における学習指導
- ・額田郡幸田町立坂崎小学校
- ・体育学習における段階指導
- ・知多郡大府町立大府中学校
- ・パーソナリティーと技術向上をめざした体育教育
- ・蒲郡市立蒲郡中学校
- ・体育管理10年のあゆみ

昭和34年度

- ・知多郡美浜町立布土小学校
- ・基礎的運動技能向上をめざしての体育学習指導
- ・渥美郡田原町立北部小学校
- ・器械運動における系統的段階指導
- ・一宮市立中部中学校
- ・体育活動への意欲的参加
- ・豊田市立朝日丘中学校
- ・基礎的技術の養成

昭和35年度

- ・中島郡祖父江町立丸甲小学校
- ・せまい運動場での体育学習
- ・岡崎市立男川小学校
- ・基礎到達をめざしての体育学習指導
- ・愛知郡日進町立日進中学校
- ・特別教育活動における科学的な体育クラブ活動
- ・渥美郡田原町立田原中学校
- ・器械運動における基礎的技術向上をめざしての学習指導

昭和36年度

- ・一宮市立大和西小学校
- ・学習効果を高めるための指導法並びに施設について
- ・豊川市立牛久保小学校
- ・学習意欲を高めるための体育指導
- ・常滑市立鬼崎中学校
- ・望ましい体育の体験をめざす学習指導
- ・西尾市立平坂中学校
- ・学習効果を高めるための体育指導法
- ーバレーボールの学習指導法ー

昭和37年度

- ・西春日井郡春日村立春日小学校
- ・器械運動の効果的指導のための問題点について
- ・幡豆郡吉良町立横須賀小学校
- ・基礎運動能力を伸ばす学習指導はいかにあるべきか
- ・丹羽郡岩倉町立岩倉中学校
- ・学習指導要領にそくした指導はいかにしたらよいか
- ーバスケットボールをととしてー
- ・南設楽郡鳳来町立長篠中学校
- ・球技（バスケットボール）の評価はどのようにしたらよいか

昭和38年度

- ・豊橋市立福岡小学校
- ・認識を深める体育学習
- ー水泳の初心者指導についてー
- ・海部郡大治村立大治小学校
- ・体育学習における効果的指導の一考察
- ー陸上運動を中心としてー
- ・小牧市立味岡中学校
- ・器械運動と格技（相撲）の効果的指導について
- ・碧海郡高浜町立高浜中学校
- ・サッカーの効果的指導について

昭和39年度

- ・知多郡大高町立大高小学校
- ・体育科における集団行動の指導
- ー生涯化をめざしてー
- ・刈谷市立富士松南小学校
- ・基礎到達をめざしての体育指導
- ー器械運動の学習を深めるための効果的指導ー
- ・海部郡弥富町立弥富中学校
- ・陸上競技における評価を通しての学習指導
- ー運動技能を中心としてー

- ・蒲郡市立三谷中学校

- ・中学校における格技（剣道）の効果的指導法

昭和40年度

- ・丹羽郡大口町立大口北小学校
- ・学習効果を高めるための諸施設の管理と活用
- ・宝飯郡小坂井町立小坂井西小学校
- ・器械運動の効果的指導
- ー特に鉄棒運動を中心としてー
- ・知多郡知多町立知多中学校
- ・器械運動の効果的指導
- ・岡崎市立葵中学校
- ・体力増強をめざした体育教育
- ー陸上・器械運動を中心としてー

昭和41年度

- ・春日井市立篠木小学校
- ・器械運動の技能を伸ばすための体育指導
- ・西加茂郡三好町立北部小学校
- ・体力増強をめざした体育指導
- ー器械運動をととしてー
- ・中島郡祖父江町立祖父江中学校
- ・能力差に応じた体育指導
- ー器械運動・バスケットボールを中心としてー
- ・北設楽郡津具村立津具中学校
- ・到達基準に関する研究
- ー学習の動機づけについて（陸上競技）ー

昭和42・43年度

- ・尾西市立三条小学校
- ・リズム運動の効果的指導について
- ー表現を主体としてー
- ・渥美郡渥美町立中山小学校
- ・体育的学校行事の効果的な指導管理について
- ー運動会を中心としてー
- ・東春日井郡旭町立旭中学校
- ・体育クラブにおける運営と管理
- ・安城市立安城南中学校
- ・徒手体操における体力づくり

昭和44・45年度

- ・知多郡東浦町立緒川小学校
- ・体操をととしての体力づくり
- ・碧南市立大浜小学校
- ・進んで体力づくりのできる子
- ー陸上運動の指導を中心に体育の生活化をめざしてー
- ・江南市立古知野中学校
- ・基礎体力を養成するためには如何にしたらよいか
- ・豊川市立東部中学校
- ・体操による体力づくり
- ー主体的な学習活動をととしてー

昭和46・47年度

- ・一宮市立浅井南小学校
- ・個々の体力向上をめざす体育指導
- ・豊橋市立高師小学校
- ・豊かな活動力をめざして
- ー自主性を育てる体育学習ー
- ・知多郡美浜町立河和中学校
- ・自発性をもった体育学習
- ー自分の力を知り、自ら努める姿を求めてー
- ・豊田市立上郷中学校
- ・技能向上をめざす体育学習
- ー自主性の開発をめざして（陸上・器械）ー

昭和48・49年度

- ・岡崎市立岩津小学校
- ・活動力あるからだづくり
- ーボール運動ー
- ・一宮市立奥中学校
- ・体育的行事の望ましいあり方

昭和50・51年度

- ・海部郡弥富町立白鳥小学校
- ・ねばり強くたくましいからだづくり
- ースポーツ領域を通してー
- ・北設楽郡稲武町立稲武中学校
- ・ひとりひとりの技能を高める体育学習

昭和52・53年度

- ・蒲郡市立三谷東小学校
- ・いきいきとした活動をめざす体育指導
- ・春日井市立西部中学校
- ・心身ともにたくましい生徒の育成をめざして
- ―体育的諸活動を通して―

昭和54・55年度

- ・大府市立大府小学校
- ・心身ともにたくましく、生き生きと活動する児童の育成をめざして
- ・安城市立安城北中学校
- ・たくましい心とからだを育成する学校教育のあり方
- ―生活化をめざし生徒と教師がともに実現する体育活動―

昭和56・57年度

- ・豊川市立東部小学校
- ・体育の生活化とたくましい子どもづくり
- ―自らとりくみ、確かめ、伸びる活動を通して―
- ・海部郡蟹江町立蟹江北中学校
- ・たくましく、さとく、明るい生徒の育成をめざして
- ―教育活動全体をとおしての体力づくり―

昭和58・59年度

- ・葉栗郡木曽川町立黒田小学校
- ・たくましく、生き生きとした黒田っ子の育成
- ―わかる、できる、創造する喜びを旨とした体育の授業―
- ・豊田市立衣丘小学校
- ・ひとりひとりが、運動の楽しさを味わい、意欲的に取り組む体育学習
- ―指導方法の工夫を通して―
- ・豊田市立若園中学校
- ・一人ひとりが運動の楽しさや喜びを知る体育学習を求めて

昭和60・61年度

- ・宝飯郡音羽町立赤坂小学校
- ・自己学習能力を育てる体育学習をめざして
- ―指導と評価の一本化―
- ・豊田市立杏掛中学校
- ・能力開発のための指導過程のあり方
- ―適切な課題・適度な負荷の研究―

昭和62・63年度

- ・岡崎市立小豆坂小学校
- ・健やかで、活力あふれる子どもの育成をめざして
- ―一人ひとりが生き生きと取り組む体育学習―
- ・東海市立平洲中学校
- ・生徒が意欲的・主体的に活動する授業の展開をめざして
- ―体育学習メニューの活用を通して―

平成元・2年度

- ・瀬戸市立水野小学校
- ・健やかな心身を自らつくりあげる児童の育成
- ―主として体育活動をとおして―
- ・知立市立竜北中学校
- ・自ら学ぶ力を育てる授業をめざして
- ―自主選択を取り入れた体育学習―

平成3・4年度

- ・蒲郡市立三谷小学校
- ・自ら学ぶ力を育てる指導
- ―一人ひとりができる喜びを味わえる体育学習をめざして―
- ・稲沢市立大里東中学校
- ・個性を発揮し、主体的にとりくむ生徒の育成
- ―一人一人が学習課題を選択・設定し、自らの力を伸ばし、発揮できる授業の創造を中心として―

平成5・6年度

- ・岩倉市立岩倉北小学校
- ・運動の楽しさや喜びを味わえる子を育てる学校教育
- ―一個が生きる、ひびきあう場の設定を通して―

- ・豊田市立高岡中学校
- ・主体的に問題を解決し、高め合う生徒をめざして
- ―集団とのかかわりを通して、個を生かし、伸ばす学校教育―

平成7・8年度

- ・刈谷市立かりがね小学校
- ・運動の楽しさや喜びを味わい、進んで運動に親しむ子を育てる学校体育
- ・知多郡南知多町立豊浜中学校
- ・意欲的に学び、学ぶことの楽しさを味わう生徒の育成
- ―とらえる、かかわる、高め合う学校体育―

平成9・10年度

- ・海部郡佐織町立北河田小学校
- ・運動の楽しさや喜びを味わい、めあてをもって運動に親しむ子を育てる学校体育
- ―集団の中で教え合ったり学び合ったりする活動を通して―
- ・宝飯郡一宮町立一宮中学校
- ・生きる力をはぐくむ学校体育
- ―生き生きした眼・生き生きした顔・生き生きした動きをめざして―

平成11・12年度

- ・尾張旭市立旭中学校
- ・生き生きと活動できる生徒の育成
- ―自己を見つめ、互いに高め合う活動を通して―

平成13・14年度

- ・新城市立舟着小学校
- ・やったるで！
- ―体が動く　心が動く―

平成15・16年度

- ・一宮市立大和東小学校
- ・豊かな心を育み、未来に向けて、たくましく生きる児童の育成
- ―心と体、一体となって成長する体育学習をめざして―

平成17・18年度

- ・碧南市立南中学校
- ・仲間とともに学び合い、生き生きと活動できる生徒の育成
- ―運動生活習慣づくりを目指して―

平成19・20年度

- ・江南市立北部中学校
- ・心と体を鍛え、たくましく生きぬく生徒の育成
- ―一人とのかかわりを大切にする「みずまる教育活動」を通して―

平成21・22年度

- ・安城市立梨の里小学校
- ・運動大好き！たくましい梨っ子の育成
- ―できる・わかる・かかわる体育学習を通して―

平成23・24年度

- ・大府市立神田小学校
- ・進んで運動　みんなで健康　神田っ子
- ―わかる・できる・かかわる体育の授業を通して―

平成25・26年度

- ・田原市立泉中学校
- ・楽しみながら、進んで体を動かそうとする生徒の育成
- ―『チーム泉』を活用した学校体育の充実―

平成27・28年度

- ・あま市立美和中学校
- ・「やってみたい　高めたい　続けたい」と自ら学ぶようとする生徒の育成
- ―自他を大切にする「あまっ子」をめざして―

平成29・30年度

- ・豊橋市立吉田方小学校
- ・心と体の健康に関心をもち、運動やスポーツに親しむ子どもを育成する体育活動
- 授業改善・運動施設の有効活用・学校独自の体育的行事を柱に据えた取り組みを通して-

令和元年度以降指定なし

(高等学校)			
昭和32・33年度		昭和56・57年度	
・県立名古屋西高等学校	・体育の学習活動と集団行動 ・学校教育の評価 ・地域及び学校の現状に即した体育科年間指導計画の樹立	・県立犬山南高等学校 ・県立天白高等学校	・選択制導入に伴う評価について
<協力校> ・渥美農，岡崎商，小牧，猿投農，新城，津島商工，豊川工，西尾実，碧南，津島		昭和58・59年度	
昭和34・35年度		・県立豊田北高等学校	・生徒が主体的・意欲的に取り組む体育授業のあり方
・県立松蔭高等学校	・基礎体力を向上させるための方策	昭和60・61年度	
<協力校> ・豊橋工，刈谷，昭和稲沢		・県立知多高等学校	・生徒が意欲的に取り組む体力づくりのあり方について ー体育授業の中で自ら進んでおこなう体力づくりー
昭和36・37年度		平成元・2年度	
・県立端陵高等学校	・高等学校教育課程改訂に伴う諸問題	・県立半田東高等学校	・本校における体育的行事の実践について ー教育目標の具現化を目指してー
昭和38・39年度		平成3・4年度	
・県立熱田高等学校	・高等学校体育の運動技能到達目標設定について	・県立美和高等学校	・新指導要領における「体育の選択制授業」のあり方について ー選択制授業の導入実践ー
<協力校> ・尾北，一宮商，半田東山工，足助，猿投農，碧南，蒲郡，豊橋商		平成5・6年度	
昭和40・41年度		・県立岡崎東高等学校	・選択制授業の展開について ーより進んだ生徒選択による授業の展開及びそれに伴う新しい評価の考え方ー
・県立時習館高等学校	・高等学校体育の運動技能到達目標の設定について	平成7・8年度	
・県立明和高等学校		・県立半田高等学校	・選択制授業の充実を目指して ー選択制授業における男女共習の展開とその評価についてー
・県立瀬戸窯業高等学校		平成9・10年度	
・県立横須賀高等学校	・高等学校体育の運動技能到達目標の設定について	・県立小坂井高等学校	・男女共習授業における指導法の改善と評価
昭和42・43年度		平成11年度以後指定なし	
・県立愛知商業高等学校			
・県立刈谷高等学校			
・県立西尾高等学校			
<協力校> ・安城農，西尾実			
昭和44・45年度			
・県立豊橋東高等学校	・体力の向上はどのようにしたらよいか		
・県立木曽川高等学校			
・県立名古屋西高等学校			
昭和46・47年度			
・県立東郷高等学校	・体育的クラブ活動の指導はどのようにしたらよいか		
・県立半田農業高等学校			
・県立古知野高等学校			
昭和48・49年度			
・県立中村高等学校	・体育施設の効果的利用と安全管理について		
・県立岡崎北高等学校			
昭和50・51年度			
・県立豊橋工業高等学校	・職業課程高等学校生徒の体力・運動能力と普通課程高等学校生徒の体力・運動能力との比較考察 ・職業課程高等学校における女子生徒の体力向上をめざす指導はどのようにしたらよいか		
・県立緑丘商業高等学校			
昭和52・53年度			
・県立第二愛知工業高等学校	・多様化してきている定時制の体育はいかにあるべきか		
・県立刈谷東高等学校			
昭和54・55年度			
・県立春日井西高等学校	・保健体育授業における生徒選択について		
・県立衣台高等学校			

令和6年度

学 校 体 育 報 告 書

発行 愛知県教育委員会

(担当 保健体育課)